

【人文学】

研究論文

中華人民共和国の道徳教科書にみる自己肯定感の育て方と 愛国心への集約

上 藺 恒太郎*1・蒲池 文恵*2

Enhancing self-affirmative consciousness in textbooks for moral education of the
People's Republic of China and the integration to patriotism

KAMIZONO Kohtaro and KAMACHI Fumie

Summary

Moral education is integrated with history, geography and politics, and so to the worldview of children in textbooks of PRC. In Chinese moral textbooks, four dimensions are found to enhance self-affirmative consciousness, namely, efforts: 1) to emphasize acceptance by others, parents, friends and society, 2) to realize a dream as a member of the Sino-centric society of China, 3) to assess self-affirmative consciousness by contribution to groups, class society, community and state, and 4) to recommend a method of portfolio management and autosuggestion. We can say that self-affirmative consciousness in Chinese moral textbooks is integrated to form the point of view of the communist party to patriotism. Compared to this integrated and strong moral education, the Japanese system has a character of reticence, where moral values are taught separately in each lesson. Japanese moral education allows individual integration of moral values to self-affirmative consciousness, which is a base of democracy.

Keywords : Morality and life, Morality and Society, Thought and value, identity, values education

キーワード：品徳と生活、品徳と社会、思想品徳、アイデンティティ、価値教育

<目次>

はじめに

第1章 中国の道徳教育と教科書の現状

第2章 中国の道徳教科書にみる自己肯定感の育て方

第1節 自分を受け入れること（自己受容）

1. 他者からの受容の自覚と他者受容

(1) 他者からの受容を自覚する

(2) 他者受容の広がり

2. 自己評価、他者評価を通して、自己を受容する

第2節 何かになれる・夢の強調

1. 小学段階：中国人としての誇りと責任を自覚し、
努力する(1) 中国の子ども（少年先鋒隊員）としての自覚と
責任

(2) 中華民族の偉大な復興のために努力する

2. 中学段階：国情を理解し、祖国に奉仕する志を打ち

*1 教職課程教授

*2 中華人民共和国煙台南山学院 講師

2016年10月24日受付

2017年1月18日受理

立てる

第3節 自己肯定感の評価

1. 自己評価と他者評価：自分と他者のよいところを評価し、評価してもらおう
2. 集団への貢献による評価
 - (1) 集団に貢献することを通して、自己を評価する
 - (2) 集団や国家の榮譽を守り、価値向上に貢献することで自己を評価し肯定する
 - (3) 互いに競争し協力する中で、自己を評価し価値を高める
3. 成長の記録をつける

第4節 自己肯定感に至る方法

1. 私はできると信じる
2. 明確な目標を持つ
3. 自己暗示をかける

第5節 愛国心育成のための国情教育

1. 科学技術や教育による国家振興
2. 奮闘目標と共同理想

第3章 中国の道德教育の実情と教育の現場

第1節 中国の道德教育の実情

第2節 教育の現場

1. 遼寧省瀋陽市の事例
 - (1) S 私立学校
 - (2) K 公立学校
2. 上海市の事例
 - (1) 小学校の授業と連想調査結果
 - (2) 中学校の授業と連想調査結果
3. 山東省煙台市の事例
4. 河南省洛陽市の事例

第3節 大学における実態調査

おわりに

註

参考文献

はじめに

本論は、中華人民共和国（以下、中国と略記）の道德教科書を取り上げて、日本で課題となっている自己肯定感の育成が中国においてどのように扱われているかを見ながら、翻って日本の道德教育と教科書の意味について考えようとする。第二次世界大戦後の日本の道德教育は、

21世紀に入ってから中華人民共和国や大韓民国の道德教育に比べて控えめであり、この姿勢は、日本が名称を領域から教科書に変えて、教科書を編纂することになっても続いている。すなわち、1. 価値を並べて教える（values education）価値教育の形をとり、2. 道德科の教員を置かず、3. 評価が進学や就職に響かない。徳目を並べる形は、1890年の日本の「教育に関する勅語」以来同じであるが、第二次世界大戦までは天皇制に統合され、地理、歴史、宗教と道德とが統合されて扱われ、修身科の成績が進学に影響した。これに対して第二次世界大戦後の控えめな道德教育は、世界観とアイデンティティへの価値の統合を子どもの自由に任せている。換言すると、考えと心情の自由と多様性を認めた教科書編成と授業者のとるべき態度とを示している。日本の道德教育は、国民教育として、愛国心を強調する声を受けながらも、価値を統合する主体を子ども個人に置く形によって、自由と民主主義の正当性を示していると理解できる。

中国の1997年の課程標準¹（日本の学習指導要領にあたる）に基づく道德教科書『九年義務教育六年制小学教科書 思想品德』の人民教育出版社版は、values education という意味で日本の道德資料・教科書と同じく、徳目を並べて教える形をとっていた。1-2年生では10種類の徳目が掲げられ、具体的な日常行為規範の養成を基本目標とした。3-5年生では14種類の徳目が掲げられ、典型的な事例や物語を通して、道德上の是非を理解し正しい行為を選択できるようにすることを基本目標としていた。1-5年生で、毎学年登場する徳目は「祖国を熱愛する」であった。6年生では26の項目が掲げられ、社会生活に必要な道德規範を系統立てて理解し、生活の中で遭遇する道德上の課題を比較し、正しい道德行為を選択できることを目標とし、個人生活から出発して家庭・学校・公共・国家民族生活へと生活領域を同心円状に拡大する記述の形式をとっていた。

2001年になると基礎教育課程改革が行われ、小学低学年で『思想品德』と『自然』が合科され『品德と生活』が、また中高学年で『思想品德』と『社会』が合科され『品德と社会』が創設された。これは「思想品德課程の15の徳目が社会課程の内容と関連あるいは重複」しており「不必要な重複学習を減らし」「中国共産党中央委員会と国務院が打ち出した学校德育教育強化の方針を貫徹

するため」だと説明する²。この改革で「課程内容と学生
の生活および社会科学技術の発展とを関連づけ、学生
の学習の興味と経験を重視し」「正確な価値観を形成す
る」とし³、「より学生を中心にすえたアプローチ (a
more student-centered approach)」⁴が試みられるこ
ととなった。それまでの中国の徳育が「具体的な『徳
目』の説教に偏りがちであり」⁵、教員が一方的に教授
するやり方では、子どもが「徳目精神の実質を理解でき
ず、…知識と行為が一致」せず⁶「学生の品徳発展の足
かせとな」⁷ったとの、反省に立つものであった。

上海市の教員や教科書編集者と我々の話し合いでも、
徳目を並べて教える道徳教育の実効性が疑問視された
と、変更の理由が語られた。こうして合科は、中国の道
徳教育が「生活を基礎」とする「活動型の総合課程」(小
学1-2年)⁸、「社会生活を基礎」とする「総合課程」
(3-6年)⁹になるように行われ¹⁰、中学の『思想政
治』は『思想品德』に改められた。それは、中国共産
党が推し進める中国の特色ある社会主義の世界観・人
生観・価値観の浸透を徹底するため¹¹だったと言えよう。
成立した総合課程としての道徳教育、すなわち地理、
歴史、政治と道徳教育を結びつけ、地理認識、歴史
認識、世界観を基盤に子どもの生活意識全体を統合し
ておこなう価値観の教育は、強力であるように思われ
る。

総合課程となった道徳教科書が子どもの自己形成に
どのような意味をもつのか、自己肯定感育成の観点から
分析することが本論の課題である。自分の良さを認めて
生きていこうと思える状態が、世界を肯定できる意識
状態、伸びていく意識状態であろう。自己肯定感の育
成は、日本の子どもの課題であり、日本の教育の課題
である。ところが、日本の子どもの自己肯定感は、中
国、アメリカ合衆国、大韓民国の子どもと比較して薄
いと報告されている¹²。長崎県における調査でも、
子どもが<自分>から「自分に否定的言葉を(92.2%)
が思い出しており『バカ』はその筆頭」である状況は
看過できない¹³。自分を否定する言葉を多く抱えたま
ま生きていくのは辛い。自己肯定感を育む重要性は、
心理学においても教育学においてもまた各教育委員会
でも取り上げられている¹⁴。

本論は、自己肯定感 (self-affirmative
consciousness) を、自己受容として、成長意欲として、
質的・量的な評価ができる事柄として、以下のように定

義する。1. 自分を受け入れる (自己受容)、2. 何か
ができる、何かになれる、感覚がある (成長する子
ども、夢や希望を持つ子ども)、3. 自分をふり返って
想起する言葉のうち、肯定が否定を上回る (自己肯定
感の評価)¹⁵。4. 点目として、4. 自己肯定感を励
ます方法、を加えて、中国道徳教科書における自己
肯定感を分析する。中国における道徳教育は、どの
ように子どもの自己肯定感を育成するのだろうか。

中国の道徳教育において、『品徳と生活』(1-2年)
ならびに『品徳と社会』(6・3制では3-6年、5・4
制では3-5年)は、教科書において歴史、地理、政
治と道徳を統合しており、道徳担当の教員が教え、
「社会主義に適合した公民」¹⁶の基礎の育成が行われ
る。中学校道徳教科書『思想品德』(6・3制では7-9
年、5・4制では6-9年)は、中国共産党の重要思想
と社会主義の中核的価値観及び科学的発展観の涵養
を目標とし¹⁷、試験結果が進学や就職に影響する。
歴史、地理、政治、道徳の統合された教科書記述の
受け入れは、教科書に統合されて示された世界観が
子どもに受け入れられることによって、中国共産党
の指導の正当性を受け入れるようになる構造をもつ。
言い換えれば教科書構造の受け入れは、教科書を記
述する意図の受け入れであり、それは教科書が、個
人のアイデンティティを国家へとつなぐ構造になって
いると仮説を立てることができる。教科書に書かれた
内容もさることながら、どのような構造において内容
が構成されているか、教科書を構成する意識を含め
て、道徳教科書を分析したい。

中国の道徳教育については、先行研究として、倪冬
岩 (2007)¹⁸が、道徳教育が再開された1977年から約
30年にわたる動態を、道徳教育の目標や内容だけで
なく家庭・地域社会・学校という三者の連携という視
点を盛り込んで考察し、中国の道徳教育は、家庭や
地域を巻き込んで「全社会の範囲で」繰り広げられ
ていると指摘する。山田美香 (2012)¹⁹は中国にお
ける道徳教育と社会科との合科の背景について分析
し、「1949年の中華人民共和国成立前から一貫して
共産党の根拠地では思想政治教育が教育の根っこに
あり、共産党のイデオロギーのもと、思想政治教育
が行われた背景があったからこそ」2001年の合科
が行われたのだという。那楽 (2015)²⁰は、2001

年の基礎教育課程改革の転換期に着目し、中国の小学校低学年における道徳教育の内容の変容について検討し、「教師が行動や型を一方的に押し付け、道徳的価値を単なる知識や行為として教え込もうとしている道徳教育から、児童の良い道徳性と習慣を育成させ、生活に情熱を持つように導く道徳教育へ転換している」と指摘し、同じく那楽（2016）²¹が、小学校段階の道徳教育の評価方法の変容について検討し、「基礎知識や基本技能の習得を目指した教師による一方的な評価を重視する方向から、自ら考え、自ら創造する能力を持つ人間を養成するために、学習過程において、児童の主体性を発揮する方向へ転換してきた」と指摘し、「大きな改善」として評価している。2001年以降の道徳教科書『品德と社会』を分析した研究としては、衣艶艶（2011）²²が、3種類の教科書を対象とし、教科書の内容構成を中心に分析し、王晓莉（2012）²³が、5種類の教科書を対象とし、課程標準の目標に照らし合わせて、教科書編成の特色を比較している。しかし両者とも、教科書記述内容を取り上げての分析、すなわち子どもが目にする場面での分析はおこなっていない。教科書研究において、分析が紹介に止まらないためには、子どもが目にする場面で意識に何をもちたらずか、すなわち子どもにとっての意味において記述と構成を論じたい。

2013年までの状況を背景にした道徳教科書分析として、武小燕（2013）が、中国の1978年12月の改革開放後の愛国主義教育を、教学大綱・課程標準及び教科書を通して分析し、考察している。武小燕は「中国の愛国主義教育で主に育てようとするものは、…まず立ち遅れた社会の現状を改善し、国の近代化に貢献する意欲と中華民族共同体への帰属意識だ」²⁴と言う。中華民族共同体の強調は、しかし、中国共産党の不人気を背景に採られた愛国心教育の方向であろう。改革開放以降の中国の経済発展は、経済格差の拡大と中国共産党の腐敗をもたらし、中国共産党不人気の根源になっている。そうした情勢を覆い隠し、人々の関心をそらすために愛国主義教育の強化が行われているように見える。

個人が経済格差を越えていく手段の一つは教育であろう。日本で2014年に制定された<子どもの貧困対策の推進に関する法律>が「教育の機会均等」を掲げ、「教

育の支援」を支援の冒頭に掲げるように、個人が経済格差を乗り越えるために教育が重要であり、自己肯定感は個人が教育を乗り越えるために重要である。中国では教育資本の争奪戦が激しく、経済弱者である社会の底辺層が教育によって上昇する可能性が阻まれ、教育が経済格差や不平等を拡大させてきたと指摘されている²⁵。

中国の愛国主義教育は、2013年3月に第7代国家主席になった習近平の5月の言葉、「中国の夢は、国家の夢であり、民族の夢であり、中国人一人ひとりの夢でもある」²⁶に沿って『思想品德』の内容が改訂され、個人と国家とを直線的に結んで進められている。中国の道徳教科書の特色として、中国社会の動向ならびに政権の意向が直接に反映する傾向がある。このような教科書改訂を通じて中国政府は、中国共産党への不満をそらしながら求心力を強めるために躍起になっているようにみえる。

本論は、中国の道徳教科書記述の分析を通して、どのように子どもの自己認識が形成される構造になっているか、子どもが自己を肯定し、中華民族の団結ならびに中国共産党を肯定し受容する意識が育成される構造になっているかを、子どもの自己肯定感に関する4つの視点から明らかにする。

第1章 中国の道徳教育と教科書の現状

総合課程として合科された道徳教科書は、江沢民のもと、2001年に国家教育部が「基礎教育課程改革綱要〔試行〕」²⁷を公布したことに始まる。これに基づき「義務教育課程標準（実験稿）」（以下、「課程標準」）²⁸が作成され、『義務教育課程実験教科書』が地方出版社も参入して編纂された。小学校では2002年9月、全国42の実験区で新たな道徳教科書『義務教育課程実験教科書 品德と生活』（以下、『品德と生活』）『義務教育課程実験教科書 品德と社会』（以下、『品德と社会』）を使った新課程が開始され、2003年9月に全国の半数以上の小学校で導入され、2007年9月までに全面的に導入された。中学校では、2003年9月から『義務教育課程実験教科書 思想品德』（以下、『思想品德』）を使う新課程が導入された。国家主席は2003年3月に胡錦濤に替わっていた。

中国の道徳教科書は多様である。全国版の小学校の教科書としては、2015年5月に国家教育部が発表した

「2015年義務教育用書籍目録」に掲載されている6・3制『品德と生活』『品德と社会』の教科書が15種類、5・4制教科書が1種類ある。本論が分析の対象としたのは、全国中小学教材審定委員会の審査を経て上記目録に掲載され使用されている6・3制教科書のうち7種類、○人民教育出版社版（以下、人教版）、○北京師範大学出版社版（以下、北師版）、○教育科学出版社版（以下、教科版）、○江蘇教育出版社版（以下、江教版）、○広東教育出版社版（以下、広教版）、○遼海出版社版（以下、遼海版）、○山東美術出版社版（以下、山美版）、ならびに、5・4制教科書1種類、○山東教育出版社版（以下、山教版）の計8種類。加えて、上海市が5・4制を実施し、中国全土とは別の課程標準「上海市小学品德と社会課程標準（試行稿）」をもっており、そのため教科書が独自に編纂され上海市中小学教材審定委員会の審査を経て使用されている。そこで○上海科技教育出版社（以下、上海：科技版）1種類を取り上げた。さらに北京市が独自に編纂し使用している○首都師範大学出版社版（以下、北京：首師版）1種類を加え、小学校の教科書として合計10種類を分析の対象とした。

中学校の『思想品德』については、「2015年義務教育用書籍目録」に掲載されている6・3制教科書9種類のうち6種類、○人民出版社版、○人民教育出版社版、○北京師範大学出版社版、○江蘇人民出版社版、○広東教育出版社版、○湖南師範大学出版社版、ならびに5・4制教科書1種類、○山東人民出版社版、及び上海の課程標準に基づく○上海教育出版社版の合計8種類を取り上げた。したがって本論は、総計18種類の道徳教科書を分析の対象としている²⁹。

2016年夏時点の課程標準と教科書との関係に言及しておく。2010年7月胡錦濤のもとで、『国家中長期教育改革と発展計画綱要（2010—2020年）』³⁰が新たに公布され、「課程標準（2011年版）」³¹が作成され、新しい教科書の編集・改訂作業が行われたが、道徳教科書に関しては2016年夏時点で中学校『思想品德』の一部改訂版が出されるに止まっている。本論は、新たに一部改訂された『思想品德』を分析対象に含んでいる。『思想品德』の一部改訂は、「課程標準（2011年版）」だけでなく、習近平のもとにある教育部の『中学校思想品德と高校思想政治課程は党の十八大精神を貫徹し指導する』³²

の要求に従っている。小学校の道徳教育に関わって、「課程標準（2011年版）」に基づく教科書は2016年夏時点で出版されていない。

教科書の採択は、国の教育部から示された教材目録の中から省や市があらかじめ数種類に絞り、最終的な選択は学校に任せられる。例えば、山東省は、6・3制と5・4制の両方が混在し、同じ煙台市内にある学校でも6・3制をとる小学校では山美版等を使用し、5・4制の小学校では山教版を使用している。筆者らが2015年3月に訪問した遼寧省瀋陽市では、公立の小学校は遼海版を使用し、私立の小学校は北師版を使用していた。また、2016年5月に訪問した河南省洛陽市の公立小学校は、広教版を使用していた。上海市では、使用する教科書が地域によって予め決められているとのことであった。2015年6月に訪問した際、虹口区の小学校は上海：科技版を使用し、普陀区の中学校は上海教育出版社を使用していた。

教科書の採択率は、中国教育部の直属で文化大革命後の国定教科書の出版を担っていた人民教育出版社が最も高いと言われる。新疆ウイグル自治区の小学校は、漢語で書かれた人民教育出版社・北京師範大学出版社・教育科学出版社版とウイグル教育出版社から出版されるウイグル語で書かれた教科書の中から選択し、使用している。モンゴル自治区では、人民教育出版社（漢語）が広く使用されている。また、西藏自治区拉薩市の新華書店では、小中学道徳教科書は人民教育出版社（印刷は西藏教育出版社による）のみが取り扱われ、中学教科書は白黒版であった。人民教育出版社は、中国各地に経済発展の不均衡があるため、経済負担を顧慮し、彩色版と白黒版の2種類を用意している³³。

第2章 中国の道徳教科書にみる自己肯定感の育て方

第1節 自分を受け入れること（自己受容）

1. 他者からの受容の自覚と他者受容

(1) 他者からの受容を自覚する

中国の小学道徳教科書では、家族やクラスの仲間や地域の人々に自分が愛されていることを意識させる内容が盛り込まれる。そこには、他者からの受容が自己受容につながるという構造が読み取れる。

全国で広く使用され、他者からの受容を手厚く書いて

いる**人教版**を例に示す。『品德と生活』1年下〈私の家族と仲間〉(pp.1-14)は、〈1.私の家族〉で、両親や祖父母、おじ、おばなど家族や親戚についてクラスで紹介する活動を盛り込み、〈2. 家族の愛〉で、〈一つ一つ全てが愛〉として、「あなたへの家族の思いやりについて話しましょう」と呼びかけ、自分が家族から受けている愛を一つ一つ観察し記録し、クラスで話し合う活動を盛り込む。さらに、〈これも愛〉と称して以下を挙げる。

「宿題が終わってから遊ぶって、約束しなかったかな？」という祖母の言葉、「おじいさんは、おまえに正直な子どもになってほしいと思うよ。正直な子どもはどうすべきかな？」という祖父の言葉、「もう一度やってみよう、きっとできるよ！」という父親の言葉など、両親や祖父母から注意されたり励まされたりする場面を絵と言葉で例示し、「あなたは同じような状況に出会ったことはありませんか？その中で家族の愛を感じることができましたか？」と問いかけ考えさせる。〈3. 家族を喜ばせる〉で、「家族は私たちのためにたくさんのことをしてくれます。私たちも家族の愛に報いることを学んでいきましょう！」と呼びかけ、家族を気遣い、喜ばせる工夫を例示し、「あなたはいつも家の中でどんなことをしていますか？花びらの中に書いてみましょう。それから自分の好きな色で塗ってみましょう」と紙に描かれた花に書き込む活動を促す。そして「特別な日に家族のために特別な愛をささげましょう！」と呼びかけ、祖父母や両親の誕生日、父の日、母の日、家族が病気の時などに感謝の気持ちを行動や言葉で表し、恩に報いることを促す。〈4. 私と仲間〉で、「仲間と一緒にいる時のおもしろい話をしてみましょう！」と呼びかけ、「もし仲間がいなかったら、どんな気持ちになるでしょう？」と問いかけ、仲間によって支えられている自覚を促す。『品德と社会』3年下第一単元(pp.1-20)は、〈愛の陽光の下〉の表題で、「私たち児童は未来を代表しています。私たちの健康な成長のために、家庭や学校、社会は私たちに愛情を注いでいます。私たちは愛の陽光を浴びています。このことを私たちは意識していましたか？」と問いかける。続けて「私が目を開いた時、最初に見たのはお父さんとお母さんの笑顔、歩くようになった時、耳にしたのはお母さんの励ましの声でした。私は他にも、病気になった時、お父さんが深夜私を抱いて病院へ行く情景

を覚えてますし、お祖父さんが手を取って習字を教えてくださいました時に書いた大きな字も、まだとってあります。私は家族の愛情の下で、一日一日成長してきました」と、教科書の中の私が成長してきた過程を写真と言葉でたどり、「家族が育ててくれて、あなたが大きくなった思い出を話しましょう」「あなたの名前は誰が付けてくれたのか、どんな意味が込められているのか、家族に聞いてみましょう」と、子どもたちに成長の過程で受けた愛を思い出し、追体験することを促す。教科書に、家族に大切に育てられ、愛されていることを確認する活動が手厚く盛り込まれている。また、「先生や学校で働く人々は、私たちのために一生懸命に仕事をしてくれています。私たちは彼らを尊重し、感謝しなければなりません。どのようにしたらいいのでしょうか？」と、周りの人々の労働の尊さや喜びを知り、併せて感謝するように促し、感謝をどう表すかを考えさせる。さらに視野を広げて、「社会という大家族からの愛も受け取っているのです」と子ども病院や公園など、写真を多用して紹介し、記者になって周りを調べて黒板新聞を作るように子どもたちを促す。そして「私たちの国の法律には、児童を特別に保護する条文がたくさんあります」と、法律が支配する中国社会に守られているとの自覚を促すように教科書を構成している。

この描き方は、自分を基点にして家庭・学校・地域・社会へと次第に意識の範囲を拡大しながら、それぞれの場において自分が愛され、守られているとの自覚を促し、愛されているとの自覚によって自己肯定感を支え、育成する構図になっており、体系的である。

筆者らが2016年に訪問した河南省洛陽市の公立小学校は、「幸福な生活を基礎とする」ことを学校経営の根本に据え、学校の掲げるスローガンは「陽光」（子どもたちがのびのびと成長できる温かな学びの空間）であった。洛陽市のニュータウンに移設された当校は、地域に開かれた学校を目指しており、訪問初日は、全校保護者会が開かれており、グラウンドで大勢の保護者と子どもたちと教員が交流する様子が見られた。学校行事もまた、学校経営方針の下で、道徳教育を支えている構図を読み取った。

(2) 他者受容の広がり

自分が愛され受容されている自覚は、他者を愛し受容することにつながる、そのように「課程標準」は構成されている。小学低学年で「親を愛し年長者を敬い、集団を愛し、故郷を愛し、祖国を愛する」「命を大切にし、自然を愛し、科学を愛する」（品徳と生活、p.6）を課程の目標に掲げ、中高学年で「命を大切にし、生活を熱愛する」「楽観的に向上し、科学を愛し、労働を愛し」「集団を愛し、団結して協力し」「祖国を愛し、祖国の歴史や文化伝統を大切にする」（品徳と社会、p.5）を課程の目標に掲げ、楽観的かつ積極的に生活し、「愛」³⁴する態度の育成を重視する。

低学年の教科書『品徳と生活』を見てみる。教科版 1 年上は、冒頭に「みなさんへ」として「みなさん、『品徳と生活』の学習が始まりました。これはとてもおもしろい授業です。みなさんに伝えたいことはたくさんありますが、簡単に言うと、それは『愛』です！家族を愛する、クラスメートを愛する、先生を愛する、大自然を愛する、…愛があってこそ、私たちは楽しく成長できるのです！あなたは『私たちはどうしてそれらを学ばなければなりませんか？』と尋ねるかもしれません。いいですね。私はあなたのその問いが好きです。しかし、答えは自分で探してください。なにか発見や収穫があったら、家族やクラスメート、先生と一緒に分かち合いましょ！」と、編集者からのメッセージを記す。

各教科書は、江教版 1 年下<私は家が好き> (pp.2-15)、北師版 1 年下<私は家を愛する> (pp.2-21)、2 年下<私は自分のクラスが好き> (pp.2-9)、広教版 2 年上<私は私たちのクラスが好き> (pp.36-53)、教科版 1 年上<私は同級生と一緒に好き> (pp.34-37)、広教版 1 年上<私は学校が好き> (pp.23-34)、人教版 2 年下<私は故郷の自然を愛する> (pp.2-15)、人教版 1 年上<祖国、私はあなたが大好き> (pp.22-29)、山美版 2 年上<愛する祖国> (pp.14-18)、北京：首師版 2 年上<祖国を愛し、誇りに思う> (pp.2-19)、上海：科技版 2 年 1 学期<祖国を祝福する> (pp.2-17) と、「好き」や「愛する」という低学年に向けた言葉で、絵・写真を多用し、家族や集団、祖国への愛に目覚めるように促す構成をとる。

中高学年の教科書『品徳と社会』では、自分を中心にしながら「愛」の対象を家族、故郷、そして祖国へと拡

大するように促し、さらに家族の愛、故郷の愛、祖国の愛に応える報恩の情が涵養される。

たとえば、教科版『品徳と社会』3 年上は、まず冒頭で「皆さんへ」として、「あなたたちは、この『品徳と社会』を開いてみて、この新しい教科は何を教えるのだろうか、私たちはどのように学習すればいいだろうか？と思うかもしれませんが、答えを急がなくて、まず自分に尋ねてみてください：あなたは自分を愛していますか？それなら自分を褒めてあげましょう！あなたは自分の家を愛していますか？それなら家の中を楽しくしましょう！あなたは自分の学校を愛していますか？それなら学校で自分のできることをしましょう！あなたは自分の故郷を愛していますか？それなら故郷の自然に親しみ、故郷の趣ある風情を発見しましょう！これがまさに私たちの『品徳と社会』なのです。この教科の学習は、私たちが熱心に参加し、注意深く探究し、一生懸命体験し、心から愛することが必要なのです！この本で学ぶみなさんが健康に楽しく成長することを、心から祈っています！」と編集者の言葉を記載する。そして、本文は<自分を誇る> (pp.2-13) <あたたかな家> (pp.14-25) <私たちは学校を愛する> (pp.26-39) <故郷の自然> (pp.40-51) <趣のある故郷の風情> (pp.52-65) と、自分から、家族、学校、故郷へと対象を同心円状に広げて理解を深め、3 年下で<第 1 単元 私は学習する、私は楽しい> (pp.2-17) <第 2 単元 家族は私がいてもっと美しくなる> (pp.18-31) <第 3 単元 友愛の陽光を分かち合う> (pp.32-45) <第 4 単元 ありがとう、故郷の労働者> (pp.46-61) <第 5 単元 56 の民族、56 の花> (pp.62-73) と、自分、家族、クラスや学校、故郷、祖国の素晴らしさを称え、愛し、感謝して、その団結と発展のために自らも貢献する方法を考えるように促す。

人教版は、『品徳と社会』4 年下<第 1 単元 気候風土は人を育む> (pp.1-24) で、「私たちは毎日故郷で生活します。その土地に暮らす人間として、あなたは自分の故郷が一体どんなところか考えたことがありますか？故郷にはどんな独特の環境や風土、人情があるでしょうか？この単元では、私たちは故郷の訛りや故郷への思い、独特な故郷文化を共に体験しながら、自分の故郷に対する理解を深めていきます」としたうえで、単元のねらいとして以下の 4 つの問いをあげて学習を展開する。①地

図はその特有の言語を用いて私たちの故郷の姿を描いています。では、私たちは地図を通して故郷の何を理解することができますか？②故郷にはどんな名所がありますか？その自然や文化にはどのような素晴らしい伝説や歴史物語が眠っていますか？③古代から現在に至るまで、故郷から私たちが誇れる人物が輩出していますか？故郷の人々はどのように故郷発展のために貢献しましたか？④故郷にはどのような独特な風俗習慣や文化がありますか？それらは故郷の地理環境や歴史とどのような関係がありますか？こうして体系的に故郷について学び、理解を深め、愛郷心を涵養する。

この学びは、5年では祖国へと拡大し、祖国の理解と愛国心へと繋げていく。5年上の冒頭に「親愛なるみなさん」と呼びかけて、「瞬く間に、あなたは高学年に上がり、5年生になりました。…これからの1年間、この本とともに祖国を遊覧し、壮麗な山河や多彩な民族風情を味わい、過去を回顧し、祖先の遺跡を探し求め、先人の智慧を理解しましょう。あなたは祖国のそれぞれの場所に、語り尽せない物語があり、ゆったりとした歴史の長流の中に、我々が誇るべき文化の至宝があることを発見するでしょう。少年時代は人生で最も鮮やかな色彩を伴う時期です。私たちは少年時代に踏み入り、生活の中の満ち溢れる喜びを感じるとともに、いくらかの困惑や悩みにも出会うでしょう。あなたはこの課程の学習を通して、生活を探索し社会を探索する中で、少しずつ分析し思考することを学び、生活に向き合うことを学んでいきます。あなたはこの1年間の中で、自分が一日一日進歩し、成長する…ことを感じとるでしょう」という編集者の言葉を記載し、続けて「親愛なる保護者様」として「自分の子どもが日に日に成長し、無邪気で幼い子どもが幾分成熟した『ませた子ども』になっていくのを見て、喜びと満足を感じていらっしゃるでしょう。この『ませた子ども』が更に次第に独立し、自分の意見や考えを持つようになると、また、その時々やや未熟な高ぶりや執着に憂慮を感じられることもあるでしょう。子どもの成長に伴い、品德と社会の課程は、あなたと一緒に子どもを生活の海の中に連れ出し、波と闘いながら前進し、彼らが生き、人と協調し、ものごとを処理していくことを学びとるよう導いていきます。わたしたちは彼らの深い内心世界に入り、社会生活の中の各種の現象に向き合

い、自己を認識し、社会を認識し、生活の中の困難を解決し、人と協調していく真理を探究するように導きます。彼らが祖国の壮麗な山河や多彩な民族風情、歴史ある中華文明や燦爛たる文化を理解するよう案内し、彼らに中国人としての誇りと責任を感じとらせませす。私たちは彼らのために世界に通じる大きな門を開き、彼らが自分の目で世界を観察し思考し、人類文化が豊かで多彩であることを感じとり、共通に直面している問題を研究討議するよう導いていきます。高学年に上がった子どもは更に学習の自主性を持つようになります。しかしながら、生活視野の拡大と学習の深まりに伴い、彼らは以前よりも更に多くの困惑や考えを持つようになり、助けや導きが必要になります。子どもが社会調査の中で臆病になった時は、彼らを励まし、方法を指導してやってください。子どもが生活の中の各種の問題に直面してどうしてよいかわからなくなった時、教示してやってください。子どもが学習の中で各種の社会問題に向き合ったとき、滔々として尽きない幼稚な考えを語るかもしれませんが、このようなときでも、少しだけ忍耐し、傾聴し、喜んで受け入れ、子どもと交流し、話をしてください。子どもの成長には同行する引率者が必要です。一緒に出発しましょう」と、保護者の理解と協力を呼びかける。すなわち子どもを共に育てましようと呼びかけて保護者との連携を図りながら、保護者教育もおこなっている。

人教版5年生の本文、＜第3単元 私は祖国の山水（自然）を愛する＞（pp.47-68）で「祖国の領土は広大で、地形も多様であり、山河は壮麗で、風景は秀麗です。誰が祖国を入念に飾っているのでしょうか？また誰が祖国を日夜防衛しているのでしょうか？この一単元の学習を通して、私たちは祖国に対する理解を更に進め、祖国への愛を深めていきましょう」として、単元のねらいとして、以下の4つの問いをたてて学習を展開する。①祖国の海陸の領域はどれだけあるのでしょうか？省級の行政単位は祖国のどこに存在していますか？②祖国の地形や地理はどうなっていますか？長江、黄河の物語をどれだけ知っていますか？祖国の名勝地についてはどうですか？③台湾は豊かで美しく、祖国の分割できない一部分であるのはなぜでしょうか？海峡の兩岸は深くつながっており、血は水よりも濃いという物語を知っていますか？④祖国の防衛は一人ひとりの公民の神聖なる職責で

す。国境の守備にあたる戦士は日夜祖国の領土を防衛しています。私たち小学生にはどのようなことができるでしょうか？

さらに、〈第4単元 私たちはみんな中華の子女〉(pp.69-98)で「私たちの祖国は多民族の大家族です。祖国の広大な土地の上に、各民族が共同で悠久の歴史と輝く文化を創造し、共同で民族大家族の団結と繁栄を維持してきました。海外で生活する中華の子女は、断ちがたい中華へのこだわりを持ちながら、いつも国家の発展を見守っています」と記し、単元のねらいとして以下の4つの問いをたてて学習を展開する。①祖国の広大な領土にどんな民族が生活していますか？②各民族人民はどのような独特の生活習俗を持っていますか？どのような多彩な文化を創造しましたか？③民族団結と国家発展のために、各民族の子女はどのような努力をしましたか？④海外に身を置く中華の子女はどのような生活や仕事をしていますか？彼らはどのような方法で祖国に尽くし、中華と心をつないでいますか？

すなわち道徳学習が、調べ学習を含み、共同や発表を含むアクティブな学びとなるように、学びの路線が敷かれている。

遼海版『品德と社会』も意識を同心円状に拡大していく記述をする。3年上で〈第1単元 仲の良い家〉(pp.1-20)〈第2単元 進んで協力する楽園〉(pp.21-44)〈第3単元 一緒に生活する〉(pp.45-68)3年下〈第1単元 かわいい故郷〉(pp.1-24)〈第2単元 故郷の物語はたくさんある〉(pp.25-52)〈第3単元 故郷は変化している〉(pp.53-70)と、家庭・学校・故郷についての理解と愛を深め、4年上〈第1単元 社会生活の中の規則〉(pp.1-22)〈第2単元 同じ太陽の下で〉(pp.23-38)〈第3単元 毎日を平安に暮らす〉(pp.39-68)で、社会生活を安全、平和に送るための規則や生活態度を学び、5年上〈第2単元 中国で成長する〉(pp.33-72)5年下〈第1単元 私たちは中華文明の伝承者〉(pp.1-28)6年上〈第1単元 文明繁栄に向かって歩む中国〉(pp.1-42)で祖国へと広げていく。

北京：首師版『品德と社会』は、3年上〈自分ではできると信じる〉(pp.2-23)〈温かい家〉(pp.24-45)〈愛は学校の中にある〉(pp.46-71)〈私が住んでいる地域〉(pp.72-94)と、家庭・学校・地域へと理解を広げ、3

年下〈道の歩き方を学ぶ〉(pp.2-29)〈毎日の安全な生活〉(pp.30-55)〈温かい社会という大家庭〉(pp.56-81)〈公共生活で道徳を重んじる〉(pp.82-107)では、社会で協力しながら安全に生きることを学び、4年下〈私は首都北京が好き〉(pp.52-77)〈郷里の北京は古い都〉(pp.78-110)で、自分たちが住むところであり、中国の首都でもある北京についての理解と愛を深め、5年上〈私たちの祖国〉(pp.2-27)〈美しい中華の大地〉(pp.28-57)〈歴史の古い民族〉(pp.58-75)〈民族が団結し、親密になる〉(pp.76-106)で、祖国の美しい自然や光り輝く歴史、多様な民族と団結する素晴らしさを学び、5年下〈忘れることのできない歴史〉(pp.80-106)で、中国人として忘れてはならない屈辱の歴史を学び、6年上〈世界の東方に屹立する〉(pp.2-27)〈中国が世界に歩み出す〉(pp.28-53)〈目を世界に向ける〉(pp.54-81)〈未来世界のあの星〉(pp.82-112)で、勢いよく発展する祖国の現在と世界の未来に目を向け、中国人である自分の未来を重ねて考え、中国人としての自覚と祖国を愛する心情へと向かう構造をとる。

その他の教科書も同様で、自分を基点に、家庭、学校、地域、故郷、祖国へと地理認識を拡大しながら理解を深め、大切にし、愛する心情を涵養するように構成される。他者からの受容を自覚し、自らを愛する自己肯定感、他者を受容し愛する心情へとつながり、愛の対象が自分から家族、故郷、祖国へと拡大され、愛国心に重ねられていく。

2015年に筆者らが訪問した遼寧省の私立学校の学校案内冊子の第1頁に「夢、それは愛とともに」と書かれていた。公立小学校から記念品としていただいた中国結は、この学校のテーマである「愛」を表現しているとの説明であった。学校の至る所に、「愛」の文字とともに、「愛」にまつわる子どもたちの作品や書籍などの展示が印象的だった。道徳教育は1時間の学級での学習に止まらず、学校の活動と結んで展開されている。

2. 自己評価、他者評価を通して、自己を受容する

自己認識の形成に関して「課程標準」は、小学段階で「自分や他の人の優れた点や長所を高く評価する」「自

分の成長や変化を見て、それを喜ぶ」「自分が中国人であることに誇りを感じる」（品徳と生活、p.8）、「自分の特徴を知り、優れたところを伸ばし、自信を持つ」「長所を伸ばし、短所を補い、他の人を高く評価し、尊重する」「自分を尊重し（中国語：自尊）、自分を大切に（中国語：自愛）」「自分の名誉を大切に（品徳と社会、p.7）を内容標準として挙げており、その指示を受けて各教科書は、他者からみた自分という視点を盛り込み、自分の優れた所や長所に焦点をあてる記述をする。中学段階では、「正確に自己を認識し」「客観的に自分を評価する」（思想品徳、p.5）、「自分を尊重し（中国語：自尊）、自分の足で立ち（中国語：自立）たゆまず努力し向上する（中国語：自強）精神を養う」（同上、p.6）を目標として掲げる。各教科書の記述も、より客観的に自分を観察して評価し、自分を全面的に受け入れるように導き、さらに理想や夢を持って努力し高みを目指すことを通して自己肯定感を高める構造となっている。

中国経済を牽引する広東省を始め、広く使用されている教科書、**広東教育出版社版**の記述を例に挙げる。『品徳と社会』3年上の第一単元（pp.1-14）は、<成長している私とあなた>の表題で、まず自画像を描かせ、クラスで発表する活動を行うように仕向ける。自分が最も好きな歌や活動、格言、最も得意なこと、際立って優れた点を書き込む欄を設け、「私は成長している！」と成長を喜ぶ言葉を添える。次に「他の人の目から見た私を知るとは素晴らしい」と、両親や先生、同級生から話を聞く活動を盛り込み、「あなたは歌を歌うのが上手で、礼儀正しくて、いい娘よ」と、教科書の私が母親に取材した状況を絵と言葉で紹介し、「私は努力してもっと良くなるから、みんな応援してください！」と結ぶ。4年下の第1単元（pp.1-14）は、<同じ青空のもと>の表題で、<1. 私たちはみんな同じだ>とし、「他の人を尊重することは、あなた自身を尊重することです」と記し、<2. 他の人のことを考える>で、障がい者や生活困窮者、被災者、孤独な老人などを取り上げ、「彼らが生活の困難さを克服するために、思いやり、尊重し、理解し、助けることが必要です」と、「思いやり活動」を促す。<3. 生活の強者になる>で、汶川大地震に際し「災害と闘い生き抜いた少年英雄」の話を取り上げ、「生活の強者に

なる」の意味を考えさせ、「人生の中で、誰もがみな困難や挫折に出会うが、それに打ち勝つてこそ、あなたは英雄であり、生活の強者だ」と励ます。『思想品徳』7年上の第2単元（pp.23-42）は、<自己を認識する>の表題で、「自己評価の重要性を知り、長所と短所を含め客観的に評価することを学び、全面的に自己を受け入れ（中国語：悦納自己）、自己像を形成し、十全な自己をたゆまず目指す」（p.23）を単元の目標に掲げる。まず、「あなたは自分を知っていますか？」と問い、自画像を描き、グループで発表し合い、質疑応答を通して互いの優れた点を発掘し合う活動を行う。次に、脳性小児麻痺のハンディと闘いながらアメリカのカリフォルニア州立大学で博士号（芸術）を獲得した黄美廉や、手先が不器用だったアインシュタインの物語を紹介し、欠点も含めて自己を受け入れる大切さをグループで話し合い、クラス全体で共有する活動を盛り込む（pp.24-25）。さらに、「一人ひとりがみな唯一無二の『自分』」を「欣然として受け入れる」ために3方面の努力が必要だという。①適切に自己を評価する。自己評価が低すぎると自分を見下し、高すぎるとうぬぼれやすくなる。適切な自己評価によって、自分を大切に（中国語：自愛）、尊重し（中国語：自尊）、十分に信じる（中国語：自信）ことができる。②自分の優れた点を高く評価する。自分の優れた所や長所を発掘し評価することは、自分に喜びと満足をもたらす体験となる。③自分の足りないところを受け入れる。全ての命は、それ自体かけがえなく、美しい。私たちは自分を大切に、勇気をもって自分の足りない点を受け入れ、私が唯一無二であることを喜び、誇りに思う（中国語：自豪）。「全面的に自己を受け入れると、他の人を受け入れやすくなる。自己を知り、全面的に自己を受け入れるとともに、自分を十全なものにする意識と行動が必要である」と記す。そのために①優れた点を伸ばし、②欠点を克服し、③進歩を追い求めることが大切であるとする。そして、「抱負や理想をもち、自分自身に高い要求を掲げて美しい青春の楽章を書いていこう」と励まし、「自分を十全なものにする」計画を作成し、グループで交流し、評価し合う活動が盛り込まれている（pp.26-29）。広東教育出版社版の記述は、小学から中学へと発達段階に応じ、グループやクラス全体での話し合いなどの活動を盛り込みながら、自己受容を促す

構造になっている。『思想品德』7年下の第6単元（pp.25-48）は、〈たゆまず励む〉の表題の下、生活の実践の中で挫折や逆境と向き合い、どのようにして自分の足で立ち（中国語：自立）、たゆまず努力し向上する（中国語：自強）精神を培っていくかを考えることを目標とする。まず、著名な教育者である陶行知の詩『自立歌』を示し、この詩から自分の足で立つ意味をグループで討論する（p.42）。次に、汶川大地震に遭遇し倒壊した校舎からクラスメートと共に救出された中学生甯加馳や、病気の親を看病しながら学業を全うした大学生洪戦輝の話を書き記述し、災難や困難に遭遇しても、あきらめずに粘り強く立ち向かう意義を感じとらせる（p.43）。さらに、他人に頼る心理を克服し、自分の足で立ち、自ら努力し向上する精神を培っていくためには、不断の努力が必要であり、高い「志」、すなわち人生の目標を掲げてそれを目指して奮闘することが大切だとする。「自立自強」をテーマに、自分が模範とする人物を探し、クラスメートに紹介する活動や、自らの体験を文章にまとめ、グループで交流する活動が盛り込まれる（pp.46-47）。

それぞれの教科書は、「課程標準」で示された内容標準や学習活動案に沿って編集され、取り上げる物語や事例、活動内容、学習する学年がやや異なるものの、小学から中学までの義務教育を通して、1. 他者からの受容を自覚し、2. 自己評価、他者評価を通して、自己を受容し、自らを大切に（中国語：自愛）、尊重し（中国語：自尊）、信じ（中国語：自信）、誇りとし（中国語：自豪）、自らの足で立ち（中国語：自立）、たゆまず努力し向上する（中国語：自強）価値を育成しようとする³²。さらに、「愛国主義・集団主義・社会主義教育、国情・歴史・文化教育、地理・環境教育などを有機的に結び付け」（品德と社会、p.1）ることによって、大切に、尊重し、信じ、誇りとする対象を、自分から家族・地域・民族へと拡大し、国家へと統合し、祖国の進歩と強大化のために努力し奉仕する自覚と責任を促そうとする。

第2節 何かになれる・夢の強調

「課程標準」は、課程の目標や内容標準として、以下のように記述する。「目標を持って自分の生活をおくる」「心の中に模範となるものを持ち、自分を励まし、絶え間なく進歩する」（品德と生活、p.8）。「困難を克

服する体験をし、成功の喜びを得る」「積極的に向上しようとする生活態度を形成」し（品德と社会、p.7）、「民族の誇りと自信」をもち、「中国共産党のもとで、滅亡から救い生存を図った抗争の事例を知り、…国家の富強を図る愛国の志を樹立する」（同、pp.13-14）。「改革開放以来、我が国が得た巨大な成果を感じ取り、中国共産党を熱愛する情感を強化する。全面的な小康（筆者注：少しゆとりのある）社会建設の奮闘目標及びその過程を理解し、中華民族の偉大なる復興に貢献する力と使命感を強化する。民族精神を培い、大いに発揚し、当代青年の社会的責任を認識し、中国の特色ある社会主義の共同理想を樹立し、祖国に奉仕する志を打ち立てる」（思想品德、p.13）。各教科書もこれに沿った内容構成をとっている。目標を持って向上することが大切であり、目標は祖国に奉仕するものでなければならないと強調され、個人のアイデンティティを国家へとつなぐ構造がみられる。以下に実際の教科書記述を見ていく。

1. 小学段階：中国人としての誇りと責任を自覚し、努力する

(1) 中国の子ども（少年先鋒隊員）としての自覚と責任

中国では、6歳から14歳の少年児童が、学校の少年先鋒隊組織に申請書を提出し、批准を受けて隊員となる。少年先鋒隊は中国共産党の下部組織であり、多くの小学校で学校全体が少年先鋒隊の一つの「大隊」であり、各クラスが「中隊」となり、さらにクラスのメンバーがいくつかの「小隊」に分かれている。筆者らが見せてもらった小学校の道徳授業では、学級のグループ分けが「小隊」と重なり、すぐれたグループのリーダー称揚が道徳授業に組み込まれていた。教科書にも、少年先鋒隊の活動が盛り込まれている。『品德と生活』では、**江教版** 2年上<紅領巾（少年先鋒隊員の印）の誕生日>（pp.12-15）、**広教版** 2年上<紅領巾を愛する>（pp.10-14）、**山美版** 2年上<星とトーチ（少年先鋒隊隊章）>（pp.28-31）などである。

人教版「品德と生活」2年下<楽しい少年先鋒隊員>（pp.36-47）、**山教版** 2年下<楽しい少年先鋒隊員>（pp.49-68）は、「少年先鋒隊は、私たちの名誉ある少年児童組織です。あなたは紅領巾を付けた時、どんな気

持ちでしたか？」と問いかけ、「お父さんやお母さん、お祖父さん、お祖母さんも、かつて少年先鋒隊員でした。彼らの当時の少年先鋒隊の話聞きましょう」と、家族への取材活動を促す。「紅領巾は、どうして赤色なのでしょう？それはなぜ三角形なのでしょう？」と問いかけ、革命の歴史の中で犠牲になった英雄を紹介し、「彼らは当時の少年先鋒隊員です。彼らは自分の行動を通して、紅領巾に栄光を添えたのです」と記す。「高学年のお兄さん、お姉さんに、彼らがどんな活動を展開しているか尋ねてみましょう」と、学校や地域の中での取材活動を促し、少年先鋒隊の様々な活動を紹介し、「あなたはどんな少年先鋒隊活動に参加しましたか。頭を働かせて、少年先鋒隊活動のために、アイデアを出しましょう。あなたのアイデアを書き出してみましょう」と、少年先鋒隊への積極的な参与を道徳授業で促す。「次のような状況に出会った時、少年先鋒隊員はどのようにしなければなりませんか？」と問いかけ、様々な状況下で少年先鋒隊員がどう行動すべきかを絵と言葉で示し、自覚と責任を促す。さらに、「愉快的『六一（国際児童デー）』」で「『六一』は私たち少年児童の祝日です。私たちは本当に愉快です」と、写真入りで子どもの日の祝日の活動を紹介し、「そのほかの国や地域の子どもたちは、どのようにこの祝日を過ごしているのでしょうか？調べてみて、みんなに話してあげましょう」と促し、「私たちが生活している世界には、本来の楽しさを享受できないたくさんの子どもたちがいます。私たちも彼らに関心を持ちましょう」と、戦争や貧困の中で暮らす外国の子どもたちを写真入りで紹介する。さらに、6年上<第二単元 屈服しない中国人> (pp.29-56) では、「一人一人が自分の過去、現在そして未来を持っており、一つの国家もまた同じです。人々はよく言います『過去を忘れることは背く（裏切る）ことだ』と。我々は過去を忘れることはできません、その中でも、中華民族がかつて受けた屈辱を忘れることはできません。我々の先人が一つ一つの侵略に抗い戦ってきたこと、また祖国の繁栄と強大化のために努力奮闘してきた思いやり深く正義を愛する人々のことを、忘れることはできません」と記し、1840年のアヘン戦争に始まる百年余にわたる屈辱の歴史を記述し「共産党がなければ、新中国はない」とする。そして、<第三単元 急速に発展する祖国> (pp.58-82)

で、「国家の衰退により、長年にわたり、中国人は頭を上げることができず、外国人には『東アジアの病弱な人』と嘲笑されました。今日の中国はすでに各方面で、世界に対し自らの雄姿を示しています」「小康社会の建設は全国人民の奮闘目標です」と記し、屈辱の歴史から立ち上がり、中華民族の繁栄のために奮闘し続けようと鼓舞する。

少年先鋒隊員として誇りをもって歴史を自覚し、中華民族の子どもとして努力し成長するように促す記述は、どのように自己肯定感を抱くかを教科書が決めている。

(2) 中華民族の偉大な復興のために努力する

教科版『品德と社会』5年下<第1単元 美しい命を愛する> (pp.2-23) は、命の誕生に始まり、「命はただ一つであり、大切だ。大きな困難に遭遇しても命を手放してはいけない」と記す。「命あるかぎり人生は無数の可能性がある。自分を大切に、絶え間なく命の価値を創造していくことができる」とし、「自信を持って自分を励まし、自分の素晴らしい人生をデザインする」というように、以下の5点を書き出してみるように求める。①私の優れたところと長所、②私がやったことで誇りに思うこと、③私がかつて他の人に喜びをもたらしたこと、④挫折に遭遇した時、私が自分に語りかけること、⑤私は将来どんな人になれるか。こうして自己を肯定する方向を指し示す。そして「成長の喜びは、命の最も素晴らしい贈り物です。記録していきましょう」と成長日記を書く欄を用意する。また「成長の過程で悩みに遭遇した時、あなたはどうしますか？」と問い、クラスでの話し合いを促し、「悩みはみんなが経験することであり、きっと乗り越えることができる」と励ます。<男の子・女の子>に焦点をあて、「男の子・女の子がいることで、この世界を多彩にしている」とし、「本当の男子とはどのようなものか？」「どのような女の子が最も可愛いか？」と問い、「あなたの心の中の最も素晴らしい男の子、女の子の像はどのようなものか？」「書いてみんなに話してみよう」と促す。この表現には多様性を認める観点から危うさはあるが、男女の異なりを通して「命に付与された異なる特長」に気づき、相互に理解し、評価し、尊重する素晴らしさを認め合おうとの意図であろう。

教科版『品德と社会』5年下において、こうした個人

の成長過程は、中国の成長過程と重なるように構成される。規則や法に依って自分たちが守られている社会生活を学ぶ第2単元を介し、〈第3単元 忘れられない歴史〉(pp.44-65)で、1840年のアヘン戦争から始まる中国の忘れられない歴史が語られ、中国の先人が如何に向き合い勝利したかが描かれる。〈中華を振興する私たちの責任〉(pp.61-65)は、「国の恥辱を忘れず、中華を振興することは、歴史の重い責任であり、革命に殉じた人々の遺志であり、私たちの責任なのです。今日、私たちが努力しなければならないことは、中華民族の偉大な復興のために勉強することです！」と記し、周恩来の少年時代の体験と言葉「中華の振興のために勉強する」や李四光の「私は炎帝と黄帝の子孫(中国人)であり、当然のことながら学んだすべての知識を我が親愛なる祖国のために捧げます」という言葉を載せ、さらに梁啓超の散文『中国少年説』の以下の一節「少年強ければ、すなわち国も強し、少年独立すれば、すなわち国も独立す、少年自由なれば、すなわち国も自由なり、少年進歩すれば、すなわち国も進歩す、少年地球を強大にすれば、すなわち国も地球を強大にす」を引用して子どもを祖国に向けて鼓舞する。

習近平も同じ一節を、「少年児童は祖国の未来であり、中華民族の希望だ。これはまさに『少年中国説』にある、『少年聡ければ即ち国も聡く、少年富めば即ち国も富めり、少年強ければ即ち国も強く、少年進歩すれば即ち国も進歩する』だ」³⁶と演説で引用している。リーダーの考えと教科書の直接の符合は、中国道徳教科書の特徴である。

江教版は『品德と社会』5年上の〈第1単元 私は誰〉(pp.1-24)〈第1課 私はもっと自分を知る〉において、「私はとても素晴らしい」と、高く評価できる自分を書き出し、両親や同級生、先生の話などに取材し話し合う。その上で「自分は決して完全ではない」ことを認め、「欠点を正視」し、克服できる欠点(宿題の提出が遅れるなど)と克服できない欠点(近視や身長が低いなど)を見極めるように促す。さらに「自分はもっと良くなると信じ」て克服できる欠点を補う努力をし、「潜在する力を掘り起す」として、①自分と向き合い、どのような方面でもっと素晴らしくなれるか考える ②グループ単位で、他の人の優れた所や長所を探し出し、そこか

ら学ぶ方法を考える ③お互いにもっと良くなるにはどうしたらよいかを考え、相互に激励する、ように促す。〈第2課 私は自分の主人である〉で、「自分で独立して思考すること」を学びく人の意見に盲目的に従わない〉で、「自分の正しい意見を堅持することの大切さ」を、物語や人の経験を聞き、グループで話し合い考える活動が盛り込まれる。〈第3課 私の心の中のあの“星”〉では、中国初の宇宙飛行士となった楊利偉やオリンピックメダリストが苦難を乗り越え成功を勝ち取った道のりを写真入りで紹介し、「私の心の中の星」を描き、目標に向かって進む大切さを示し、その過程として①正確に自分を認識する、②遠大な理想を確立する、③具体的な目標を制定する、④実際に行動する、⑤成功や失敗にきちんと向き合う、⑥経験から学んだことを総括する、ように促し、「理想を実現するためには、足が地についた具体的な行動が必要である」と記す。自己肯定感に至る過程を周到に描いていると読める。

さらに江教版は『品德と社会』5年上〈第2単元 私は人との付き合いを学ぶ〉〈第3単元 私はクラスの主人〉と続けて、〈第4単元 私たちはみな中華の子孫である〉(pp.75-113)で「四大発明」をはじめ、中華民族の輝かしい悠久の歴史を学び、中国人としての誇りと責任を自覚し、5年下〈第3単元 重大な災難から抜け出る(上)〉(pp.54-85)〈第4単元 重大な災難から抜け出る(下)〉(pp.86-122)で、アヘン戦争に始まる百余年の屈辱の歴史と「中華人民共和国が成立し、中華民族の偉大なる復興が始まった」希望の歴史へとつないでいく。個人の成長過程から他者への関わり、そして国家の歴史へと、成長過程を繋いで構成している。

北師版も、3年上〈暖かい家〉で自分の誕生からの歴史、4年上〈故郷の物語〉で故郷の歴史を振り返り、5年上〈ルーツを尋ねる〉〈可愛い祖国〉、5年下〈歴史は私たちに告げる〉〈人民の英雄に敬意を払う〉で中国の栄光の歴史を知り、アヘン戦争に始まる屈辱の歴史と中国人民が立ち上がった歴史を総観する構成をとっている。学年や学期を越える場合があっても、自分と国家をつなぐ教科書の構成は同様である。その他の教科書も同じような構成をとる。

小学段階で、地理、歴史、政治と統合された道徳教科書によって、個人が自己肯定感をもって目標に向かって

向上する大切さが示されるが、やがてその目標は、中華民族 5 千年余の輝かしい歴史と 1840 年のアヘン戦争に始まる百年余の屈辱の歴史を理解し、その歴史過程から中華民族を救った中国共産党の指導の下で小康社会を目指して進んでいく中国の一員としての誇りと責任の自覚のなかで「中華民族の偉大なる復興」という「中国の夢」に繋がれるように構成される。中学校段階では、この繋がりがさらに強固なものとして描かれている。

2. 中学段階：国情を理解し、祖国に奉仕する志を打ち立てる

北京師範大学出版社版（2012 年印刷）『思想品德』9 年＜第 4 単元 共同の理想を実現する＞（pp.131-151）＜民族復興の実現は中華民族の宿願であり、夢である＞は、「中華民族はかつて光り輝く人類文明を創造した。近代以来、国家は内憂外患により、極めて貧窮し、国運は日増しに衰微し、人民は国家の隆盛と民族の復興を切望した。19 世紀中葉から 20 世紀中葉までの 100 年にわたる中国人民の一切の奮闘は、祖国の独立と民族の開放を実現し、民族の屈辱の歴史を完全に終結させるためであった。20 世紀中葉から 21 世紀中葉までの 100 年にわたる中国人民の一切の奮闘は、即ち中国の富強、人民の富裕、そして民族の偉大なる復興の実現にある」（p.133）と記す。＜私たちの命運と国家の命運は全て結びついている＞は、個人の命運が、常に国家の盛衰や民族の栄辱と連結していると説く。「近代中国において中華民族は大きな屈辱を蒙り、列強の侵入、政治の暗黒、戦争による乱世によって人民は生活のよりどころを失い、国家滅亡の瀬戸際に立たされ、個人の生存は保障し難く、前途を語ることでできない状態だった。（しかし）新中国が成立し、中国人民は立ち上がり、改革開放は中国人民を豊かにし、国の繁栄により、一人ひとりがみな自己を十分に発揮し、自己を表現する機会を獲得した。私たちは素晴らしい時代に生きているのだ」（p.139）と、個人の自己実現は中国の歴史あってこそだと教える。＜私たちの理想は国家や民族の必要に符合することによってのみ現実となる＞は、「個人の理想の実現は社会の理想の実現と切り離せない。我が国の現段階において、全国の各民族人民の共同の理想は、我が国を富強・民主・文明・調和の社会主義現代国家にすることである。私たちは社会理

想の先導の下、個人理想を確立すべきであり、社会の必要から出発し、自己の前途を国家や民族の命運と連結させなければならない。自己の理想を確実に社会の基礎の上に築き上げることによってのみ、自己の人生の価値が実現するのである」（p.141）と全体社会の理想追求を優先した個人の自己実現を説く。

広東教育出版社版（2014 年印刷）『思想品德』9 年＜2. 民族の精神を発揚し輝かせる＞（pp.102-109）は、「中華民族の偉大な復興は、中華民族の近代以来の最も偉大な夢である。この夢は、国家の富強、民族の振興、人民の幸福を実現することであり、幾代におよぶ中国人の宿願を凝集したものであり、中華民族と中国人民の総体の利益を体現したものであり、一人ひとりの中華の子女が待望している夢である」（p.106）「愛国主義を堅持し、言葉にして言うだけにとどめるのではなく、自分の社会的責任感と歴史的使命感を強く心に持ち、絶えず個人の理想と祖国建設、民族振興を結び付け自覚しなければならない」（p.105）と、中国の民族の多様性を中華民族として一括して、中華民族の夢に個人の夢を統合しようとする。

習近平は、「中国の夢は、国家の夢であり、民族の夢であり、中国人一人ひとりの夢でもある。国が幸福で、民族が幸福でなければ、みんなが幸福になることはできない。…中華人民の偉大なる復興は、最終的には、広範な青年が努力をつないでいく中で実現するだろう」と語る³⁷。国家主席の言葉と教科書記述が直線的につながり、政権の意向が教科書に反映される。習近平の談話は 2013 年 5 月であるが、筆者らが 2015 年に遼寧省を訪れた際に、訪問した私立学校では『私の夢（我的夢）』と題した学校紹介が作られていた。校長にこれは習近平の言葉を引いた表題ですかと尋ねたところ、そうだと答えた。

第 3 節 自己肯定感の評価

中国道徳教科書には、自己肯定感に関わる評価について、以下の 3 点 that 取り上げられている。1. 自己評価と他者評価：自分と他者の良いところを評価し、評価してもらおう。2. 集団への貢献による評価：集団や国家の榮譽を守り、価値向上に貢献することを通して、自分や集団を評価する。3. 成長の記録をつける。各教科書は、自己肯

定感に関わる評価を、さまざまな活動を盛り込みながら展開する。

1. 自己評価と他者評価：自分と他者のよいところを評価し、評価してもらう

遼海版『品徳と生活』第三冊〈自分をほめる、みんなをほめる〉(pp.8-13)は、〈自分をほめる〉で、自分の長所を書き出し、〈他の人をほめる〉で、他の人の長所を書き出し、それらを黒板新聞に貼り出す活動を促す。

「自分や他の人の長所を探し出すことは、みんなが“天上の輝く星”になること」だと奨励する。

教科版『品徳と生活』1年下〈あなたは本当にすごい〉(pp.34-36)は、「友達の素晴らしいところを書き出し」「書き出したものを友達に送みましょう」と活動を促し、「他の人を素晴らしいと評価することは、楽しいことです」、また「友達の長所から多くを学ぶことで、私たちの進歩はより速くなります」と意味づける。

江教版『品徳と社会』3年上〈自画像〉(pp.2-7)は、自分の優れた点や特長を書き出し、クラスで発表し、他のクラスメートの特長や長所を評価する活動を盛り込む。

山美版『品徳と社会』3年上〈1. 自分を知る〉(pp.2-5)は、1、2年生の自分と比べて、どんな変化があったかを観察し、自分ができるようになったことを列挙し、「私は成長した!」と認識させる。さらに、私の優れた点と特長を書き出し、「本来、私はとても素晴らしい!」と、自己肯定を促し、「私たちは、どのようにして優れた点や特長をさらに伸ばしたらよいか?」と問い、クラスで討論させる。

中国の道徳教科書は小学校段階で、自分の優れた点や特長、長所に焦点をあて、それを高く評価し、クラスメートや両親からも評価してもらいながら自己肯定感を強くし、自分の優れた点を伸ばす方法について考えることに重点が置かれており、自己肯定感育成の基本を押さえている。

2. 集団への貢献による評価

(1) 集団に貢献することを通して、自己を評価する

集団主義³⁸をとる中国では、「課程標準」で、「学級の榮譽を大切に、仲間に配慮し」「他の人と協力し、交流して、感じたことや考え方、活動の成果を分かち合

う」(品徳と生活、pp.9-10)、「自分は集団の中の一員であることを理解し、集団に対して関心を持ち、集団活動に参加し、集団の榮譽を守り、…喜びを分かち合う」(品徳と社会、p.10)、「個人と集団の関係を認識し、祖国の発展や命運に関心を持つ」(思想品德、p.12)を目標や内容標準に掲げる。各教科書も、集団の素晴らしさを強調し、自分が集団のために何をできるか、集団にどのような榮譽をもたらし、貢献できるかに焦点をあてる。

広教版『品徳と生活』2年上〈私たちのクラスは本当に素晴らしい〉(pp.49-53)は、「私たちは本当に素晴らしい!」として、クラスで勝ち取った朗読会(第1位)、ラジオ体操(第2位)、…が吉報として記され、「あなたは自分のクラスのどんなところを誇りに思いますか?」と問いかけ、「私たちの榮譽の樹」に書き込む活動を促す。

北師版『品徳と生活』2年下〈私は集団に彩りを添える〉(pp.8-9)は、少年先鋒隊の活動を例示し、「集団の榮譽は、一人ひとりが実際の行動を通して守ることができる」と記す。『品徳と社会』3年上〈集団の榮譽はみんなにかかっている〉(p.38)では、一人ひとりの力を結集してクラスが得た紅旗(クラス対抗の競争に勝って得た赤い旗)の榮譽の印が示され、貢献する大切さを記す。『品徳と社会』5年下〈集団の榮譽を守る〉(pp.2-11)では、「自分にどんな特長があるか考えよう」と問いかけ、「私には集団のためにできることがある」として、自分がクラスの課題のためにできることを書き出すようにし、一人ひとりの力を結集して問題を解決できると確認させるようとする。

教科版『品徳と社会』4年上〈私たちの楽しい大本営〉(pp.18-33)は、「学習の楽しさ是一緒に分かち合うことができ、遊びの楽しさ是一緒に分かち合うことができ、成功の喜び是一緒に分かち合うことができ…他にクラスメートと何を分かち合うことができますか?」と問い、「クラスメートと協力し分かち合う素晴らしさを話しましょう!」と促す。〈『私』と『私たち』〉(pp.24-27)では、「これは私ができること」として、私がクラスのためにできることを書き出し、「一人ひとりの『私』は、皆『私たち』の中の一員です。私たちは大家族の楽しさを分かち合う時、自分がそのなかで力を

尽くすことも忘れてはいけません」と記す。さらにクラスのみならず協力して勝ち得た荣誉や解決した問題を話し合い、記録する欄が設けられる。そして「あなたはどんな集団が最も素晴らしいと思いますか?」と問いかけ、優れた集団を作り上げるには何をすればよいか考える活動が盛り込まれる。

集団の一員として存する自己に焦点を当て、集団に対する貢献と集団に向けられた評価を引き受けて、自己を評価し、自己肯定に到る構造が読み取れる。

筆者らが 2016 年 5 月に訪問した煙台市の小学校では、集団の最小単位としてのグループ活動を重視しており、校内には、各クラスの優秀グループを表彰し、写真、優秀項目、生徒の氏名を掲載した掲示板や展示コーナーが各所にみられた。

(2) 集団や国家の荣誉を守り、価値向上に貢献することで自己を評価し肯定する

上海：科技版は、『品德と社会』2 年第 2 学期<4. 集団の中で生活する> (pp.52-63) <集団は私の力を必要とする>で、「集団の荣誉は、私たちが協同して守らなければならない。集団のために私たちは『犠牲』にならなければならない時もある」(p.56) と書き、自分がやりたいことと集団の荣誉を守るためにやるべきことで葛藤する場面を提示し、考えさせる。5 年第 2 学期<4. 尊厳ある中国人になる> (pp.76-79) <積極的に交流し、世界に中国を理解してもらおう>は、「我が国近代の 100 年余りに及ぶ閉鎖と立ち遅れにより、国外の一部の人々は、我が国が優秀な民族文化を擁することや、我が国が改革開放後に得た成果を知らず、中国に対して依然として偏見を持ち、敵意すら抱いています。そのため私たちは積極的に世界各国の人々と交流し、優秀な民族文化を伝え、最新の発展の成果を紹介し、悠久の歴史があり勢いよく発展している中国を、世界に知らせなければならないのです」と記し、外国人の偏見を正す行動を例示する。さらに<尊厳を守り、世界に中国を尊重してもらおう>として「“おごらずへつらわず”は、人としての原則であり、一つの民族が対外的にとるべき態度でもあります。自分や同胞が他の人から無視や軽視、侮辱を受けた時、一人ひとりが積極的に権利を勝ち取り、自分の立場を主張し、自分や民族の尊厳を守らなければなりません」と

記し、「中華人民共和国の代表」としてどんな行動をとるべきかを例示し、「国を愛する人とは、国家の尊厳を守ることを理解している人で、そうしてこそ他の人からも尊重されると思います」と子どもの発言を記述する。<良好な形象を樹立し、世界に中国を心から愛してもらおう>は、「大多数の普通の人にとっては、世の中を非常に驚かせるような大きなことをする機会はとても少ないかもしれません。しかし、私たちは日常生活の中のちょっとした言動で、世の人々の中国人に対する見方に影響を与えることができます」として、身近な場面で取るべき行動を絵と文章で例示し、さらに、「1. 周囲の様々な業種で働く人々がどのように祖国の利益や安全、荣誉を守ってきたか調べましょう。2. 生活の中で、私たちはどのような小さなことから始めれば、自尊を勝ち取り、自ら努力し向上する、礼儀正しい中国公民になれるでしょうか?」と問いかける。そこには、集団や国家の荣誉を守り、価値向上に貢献することが自己の価値を高め、自己肯定感を高めるとの構造が読み取れる³⁹。

中華人民共和国の代表としての私から自分を振り返る形は、個人主義に対するアンチテーゼとしての集団主義というより、集団に包摂されて自分の意味を獲得する自己肯定感を涵養する構造である。教科書に登場する私の範囲は、クラスから学校、地域、祖国へと拡大するだけでなく、地球全体へと「地球村に暮らす私たち」へと広がる。分析した教科書全てにおいて「地球村」の表現が使われ、「世界市民」としての自覚を促す⁴⁰ 点は、国家に意識を閉じ込めるだけではない点で注目される。

(3) 互いに競争し協力する中で、自己を評価し価値を高める

中学校段階においては、個人と集団の関係で「競争」と「協力」の価値が取り上げられる。「思想品德課程標準(実験稿)」の<二、私と他の人の関係>で内容標準として、「競争と協力の関係を理解し、社会生活の中の協力と競争に正しく向き合い、一致団結して協力し、喜んで人を助ける品性を養成する」⁴¹ と記す。「思想品德課程標準(2011 年版)」では<二、私と他の人及び集団>の第 2 項<集団の中で成長する>に、課程内容として「競争と協力の関係を理解し、社会生活の中の競争に正しく向き合い、勇気を持って競争し、上手に協力する」⁴²

と記し、「競争」の価値に重きが置かれる。課程標準に従って各教科書も「競争」と「協力」の価値を取り上げている。

例えば、**人民教育出版社版**（2010年印刷）は、『思想品德』8年上<第8課 競争し、協力し、ウィンウィンを目指す>（pp.89-99）で、「21世紀は競争に満ちた世紀であり、共に協力する世紀でもある」（p.89）とし、まず、「競争」の利点をあげ、「競争は人を発展させ、社会の進歩を促す」「我々の潜在能力を最大限にかきたて、学習や仕事の効率を引き上げる」「我々は競争の中で客観的に自分を評価し、自分の限界を知り、自分のレベルを引き上げることができ」「我々の集団にさらなる生気を与え、生活を豊かにし、学習や生活に楽しみを添える」（p.90）と記す。次に、「協力」の利点をあげ、「協力は、事業成功の土壌である」とし、「お互いに協力し合うことによって、我々は最大の勝利を得ることができる」（p.94）と記す。さらに「我々は競争の中で協力し、協力の中で競争し、ウィンウィンを目指さなければならない」「個人の成功は最終的な成功ではなく、団体の成功こそが最終的な成功である」（p.99）と記述する。

北京師範大学出版社版（2012年印刷）は、『思想品德』7年下<第4単元 積極的に向上し、共に進歩する>（pp.95-131）<第10課 公平な競争>（pp.96-109）で、「競争」によって①より良く潜在能力が発揮される、②自分の優れた所や足りないところに気付き、優れた所をさらに伸ばし、欠点を補うことができる、③相互に刺激し合うことで、社会全体が不断に前進できる、④団体間の競争は集団の団結力を強めることができる、と記す。<第11課 上手に協力する>（pp.110-120）では、「協力」によって①個人の能力の不足を補うことができ、個人の成長の助けとなる、②衆知を集め、仕事の効率を不断に高めることができる、として、「他の人の長所を見て、その労働の成果を尊重することを学ばなければならない」と記す。<第12課 一致団結して助け合う>（pp.121-131）では、団結し助け合うことによって①良好な雰囲気を作りだし、人々の心理的な圧力を軽減し、自信を強化することができる、②喜んで人を助けることは、自分の成長を促す、③個人の力は極めて小さいが、多くの人的一致協力することで、極めて強大な力を形成できる、とし、「一致団結した大家族を作るためには、

一人ひとりが皆自分の力を差し出さなければならない」と説く。

江蘇人民出版社版（2013年印刷）は、『思想品德』9年<第2単元 協力し、誠実に約束を守る>（pp.46-74）<第4課 協力を学ぶ>（pp.47-61）で、中国と中華民族の運命を変えるために1934年10月から1936年10月まで中国共産党の指導の下で長征を行った事例をあげ、「協力は団結を強め」「心一つにすることによって、困難に打ち勝ち、成功への自信と勇気を強める」とし、「協力の価値」を説き、「発展には協力が欠かせない」と述べる。また、「社会生活の中では協力もあり、競争もある」「競争には、正当な競争と不当な競争がある」とし、「競争は創造と革新（中国語：创新）を促進する機能を持つとともに一定の負の影響ももたらす。…盲目的な競争は…国家や人民に損害をもたらす。…我々は正しく競争に向き合わなければならない」と注意する。さらに、ヒトゲノム計画においてアメリカ・イギリス・日本・フランス・ドイツ・中国の科学者が共同参画し、国際共同プロジェクトとして研究を行い、2003年に目標の実現に至った事例をあげ、「協力の中で競争し、競争の中で協力してこそ、事業の成功を得ることができる」と世界的な挙力のなかにあつて中国が成果を上げた具体例として、ヒトゲノム研究を語ろうとする。

各教科書は、「競争」と「協力」が個人と集団にもたらす成果を説きながら。競争の中で高め合い協力して集団に貢献する人材に成長するように子どもを促し、個人間の競争と協力を予定調和的に国家へと吸収する構成になっている。

3. 成長の記録をつける

小学校道徳教科書の全てに、以下のような成長の記録をつける活動が盛り込まれる。

山美版は、『品德と生活』1年上<私は一歳大きくなった>（pp.58-65）で「私は成長している、私は嬉しい」（p.60）と、自分の成長を確認し喜び、「私の成長記録」として「成長資料袋」に身長や体重など成長を示す写真や作品を収めていくように提案する。『品德と社会』3年上の最後では「実践活動」として「私の成長袋を整理する」ことを盛り込み、「自分の成長と進歩の跡を記録した成長袋は、私の誇りで満ちている」（p.59）

と記す。6年下<第4単元 卒業の前> (pp.71-84) の<私の小学成長報告>では、「私たちは一緒に自分の成長の過程を振り返りましょう!」と、成長の足跡をたどり、クラスで交流したのち、全員で「成長の過程」記念誌を編纂する活動を盛り込む (pp.72-75)。

北師版は、『品德と生活』1年上の最後で「成長記録袋 - あなたの成長の足跡を残す」として、成長を記録することを提案し、『品德と社会』6年下の最後<私はもうすぐ中学生になる> (pp.82-93) で、「小学校 6年間の学習の中で、どのような収穫がありましたか?」と問い、「成長記録袋」使って成長を振り返る活動を促す (pp.82-83)。

広教版は、『品德と生活』2年下<第4単元 成長の大空> (pp.52-67) の最後で、学習や労働・付き合いなど、成長の足跡を記録する活動を促し、『品德と社会』6年下<第4単元 卒業の歌> (pp.71-95) <成長の歩み>で、6年間の成長を振り返る活動を盛り込む (pp.71-79)。

上海：科技版は、『品德と社会』1年第2学期<4、私は成長した> (pp.50-61) で、自分が成長したことを確認し、「私の成長記念帳」 (p.58) の制作を促し、5年第2学期<3. 理想を羽ばたかせ、たゆまず追い求める> (pp.92-98) の最後で、成長過程で忘れがたいことや努力の末に得たものなどを振り返り、記録する活動を盛り込む (p.98)。

その他、人教版、山教版、教科版、江教版、遼海版、北京：首師版の全ての教科書が、6年生の最後の単元で、小学時代の総決算として成長を振り返る活動を盛り込んでいる。

中学教科書『思想品德』は、広東教育出版社が「私の成長記録」として、学んだことや進歩したことを自分だけでなく、教師や保護者にも評価してもらうページを7年上 (pp.92-93)、7年下 (p.97)、8年上 (pp.104-105)、8年下 (p.25) に設けている。5・4制教科書である山東人民出版社は6年上から8年下までの教科書の最後に<私は成長している>として「自分の進歩」「困惑や問題」「希望」「他の人の声に耳を傾ける」のテーマで振り返り、記入する欄を設けている。

こうした成長の記録は、ポートフォリオ評価である。そこには、個人で確認する自己評価だけでなく他者の目を通して記録し、評価し、確認することを通して、成長

の喜びや自らへの信頼を深め、自己肯定へと導く構成が見られる。他者や集団が介在する点で、子どもが傷つくことはないのか、他者評価がどこまで自己肯定となるかの問題はあるが、道徳教育において評価を自己肯定感育成に活用していると言える。

第4節 自己肯定感に至る方法

中国道徳教科書は、自己肯定感に至る方法を記述する。主な方法として3つ書いており、1. 私はできると信じる、2. 明確な目標を持つ、3. 暗示をかける、を取り上げる。それらは、いずれも励ます対応である。

1. 私はできると信じる

北京：首師版『品德と社会』3年上<第1単元 私はできると信じる> (pp.2-23) は、<1. 自分自身を褒める>で、自分の優れたところや長所を探し、「あなたはクラスメートの前で自分を褒めたことがありますか? どんな気持ちでしたか?」と問いかけ、「クラスメートの前で自分を褒めると、とても嬉しい気分になり、とても誇りに感じる」「自信が増し、さらに自分を好きになった」と文中で子どもに語らせ、クラスでの活動と体験を促す。さらに、クラスで互いに優れたところを探し、手紙にして交換し合うなどの活動を紹介し「クラスメートがあなたの優れたところをたくさん知っていることを知り、あなたはどんな気持ちですか?」と問いかけ、クラスメートとお互いを褒め合い、そこから得られる自信や自らを誇りとする気持ちを体験させ、「世界には同じ人間は二人といません。私たち一人ひとりが世界で唯一無二の存在なのです。自分を知り、みんなとは異なる自分を評価しましょう」と結ぶ。<2. 私の興味・趣味>で、著名な画家齊白石やロシアの偉大な作家マクシム・ゴーリキーなどの物語を例示し、「興味や趣味は、私たちに何をもたらしますか?」と問い、それらは学習や生活を多彩で豊かなものにし、喜びをもたらし、自信を強めることにもつながるとする。<3. 困難は何でもない>で、「生活や学習の中で、強者になりたいければ、困難に勇敢に立ち向かい克服しなければならない」と事例をあげ「たとえ99の困難があっても、1つの強固な意志さえあれば、それは困難ではない」と励ます。さらに困難を克服した経験やその時の気持ちをクラスで話し合い、困難

を克服し自分を鍛えることの素晴らしさをみんなで分かち合うことを促す。<4. 長所をとり、短所を補う>で、「他の人を評価することは愉快なことであり、他の人から評価されることは幸福なことである。他の人から評価されたければ、まず自分から他の人を評価しよう」と促し、他の人を高く評価し、模範を探す活動を促し、自らが模範となるように奨励する。

江蘇人民教育出版社（2011年印刷）『思想品德』7年上<第一單元 自尊自信>（pp.1-40）<私は自らを信じる私はできる>（pp.16-21）は、「自信を持つことは、人が成長し、有用な人材となるためには欠かすことのできない重要な心理的資質である。自信のある人は、自分が物事を立派にやり遂げることができ、成功を得ることができると確信することができる」「成功した人はまず自らを信じる心を持っている。自らを信じる心は自分で自分を肯定し、十分に評価し、そのうえで自分の力量を信じる心理状態である。…自分の優勢を探し出し、自分の潜在能力を掘り起し、現有の基礎をもとにして進歩すれば、私たちは次第に自らを信じる心を築きあげ、絶え間なく成功に向かって進むことができる」と記す。

2. 明確な目標を持つ

北京師範大学出版社版（2008年印刷）『思想品德』7年上<第四單元 少年は自らたゆまず励む>（pp.97-132）<第10課 自らを信じる人になる>（pp.112-122）は、「私はできると考える。たとえ今はできなくとも、努力することによって、必ずできる！」（p.114）「自信を心に根付かせ、発芽、成長させ、自分の欠点を正視し、自己肯定し、長所を伸ばし、短所を避けることを学ばなければならない」（p.119）と記し、<第11課 自らたゆまず励む人になる>（pp.123-132）で、「明確な目標があれば、成功は遠くない。目標が実現する日、成功も手にすることができる」（p.126）と語る。

山東人民出版社版（2012年印刷）『思想品德』7年上<第四單元 生活は私に「私はできる」と教える>（pp.77-114）は、自己を卑下する気持ちを克服する方法として、「『私は有能である』『私はできる』と、黙って念じる。念じる時、断固として反復して念じ、特に困難に遭遇した時は、さらに念じる。あなたが念じ続けさせれば、自分の積極的な心理暗示によって、次第に自

信が打ち立てられる。自分を客観的に評価する。自分の欠点にばかり目を向け、終日悩まされてはならない。自分の中のきらめきを発見し、掘り起こさなければならない」（p.85）とし、さらに、「たゆまず励まなければならない。まず、正確に人生の目標を立て、倦まずたゆまず奮闘しなければならない。人生の目標を粘り強く追い求める、これが努力してやまない人々の共通の特長である」（p.93）と記述し、「人生の目標」の大切さを説く。

日本における自己肯定感育成の視点からは、頑張れば達成できる式の励ましがもたらす逆効果を指摘せざるを得ないが、鬱々とした思いの子どもを支えようとする受容するカウンセリングは、中国の学校教育にカウンセリングの概念はあるけれども、道徳教科書に登場しない。

3. 自己暗示をかける

上海教育出版社版（2014年印刷）『思想品德』6年第2学期<自己を肯定し、自信を強化する>（pp.36-38）は、「自信は、自分の能力や価値に対する一種の肯定であり、自らを信じる人は、楽観的に向上し、自分や未来に対して確信を持つことができる。自信のある人は、自分の目標に専心し、学習や生活に全身全霊を投入することができる」とし、<自分に積極的に暗示をかける>で、「心理暗示の力は大きい。心理暗示は私たちの日常生活の中でよく見られる現象で、…積極的な心理暗示は、私たちに積極的な心の有り様をもたらす。例えば、『私はできる』『たいしたことではない』『努力さえすれば、成功する』などの言葉で、絶えず努力するように自らを激励することで、自分の潜在能力を発揮することができる」（p.38）と記す。

また、北京師範大学出版社版（2008年印刷）は「自己肯定（中国語：自我肯定）」について「自己肯定は、自分に向けて積極的な言葉を繰り返して暗示をかけ、人の頭の中にすでにある消極的な考えと入れ替えることによって、その人の習慣や生活態度、自己願望を変化させ、行動する中で自分に備わっている尽きない力を充分に感じ取れるようにさせる。積極的な自己肯定は、人の心の成長や生理発達に重要な働きをする。自己肯定は人が自分の潜在能力を掘り起し、困難を克服し、目標を達成して、自信を強化するのに有効である。」（7年上 p.120）と説明する。

「思想品德課程標準（2011年版）解説」も、自己をコントロールするために、「自己暗示を学習する」ことを提示している⁴³。

自己肯定（中国語：自我肯定）という言葉は、中国では主に心理学で使われており、鐘毅平ら（2014）⁴⁴が、自己肯定が自尊感情や自己評価に及ぼす影響を分析し、何垚ら（2012）⁴⁵が、自己肯定と防衛反応の関係について分析している。また、スポーツ心理学の分野で、張力為ら（2013）⁴⁶や陽海英ら（2015）⁴⁷がスポーツにおける ego-depletion との関係进行分析している。

中国の道徳教科書は、「私はできる」などの自己暗示を繰り返し、自己を鼓舞して向上し、他者に認められる方向を示している。中国の教科書に登場する「自己肯定（中国語：自我肯定）」は、他者の評価を介在させる点で、自己効力感（self-efficacy）（中国語：自我效能感）の意味が強い。自己効力感（self-efficacy）は、心理学者アルバート・バンデューラ（Albert Bandura）によって提唱された概念であるが、中国では、学生の自己コントロール能力を高め、目標の達成や学業成績に積極的な影響を与えるとして広く研究が行われている⁴⁸。学生の自己効力感を高め、自信を強化するために、自己暗示の研究や自己暗示が実際に学業成績の向上にどのような影響を与えるかの分析も行われている。中国道徳教科書の励まし方に、自らの心理状態を認めるよりも、暗示をかけた一時にせよ成果を得ようとするイメージトレーニングの思考が入り込んでいることに気づく。

第5節 愛国心育成のための国情教育

「課程標準」の『品德と社会』は、「品德・行為規範・法制教育、愛国主義・集団主義・社会主義教育、国情・歴史・文化教育、地理・環境教育などを有機的に結び付け」「学生の良好な品德形成と社会性発展を促す総合課程」であり、「自分の経験や情感、能力、知識を豊かに発展させ、自分と他人、社会に対する認識と理解を深め」、道徳観や価値観、道徳判断能力を形成し、「社会主義に適合した公民」の基礎構築⁴⁹を目標に掲げる。

『思想品德』は、中学段階を「思想品德と価値観を形成するうえで重要な時期」とし、以下の特長を挙げる。

①思想性：マルクスレーニン主義、毛沢東思想、鄧小平理論と「三つの代表」を重要思想とし、愛国主義と集団

主義により、中国の特色ある社会主義の共同理想を樹立し、正確な世界観、人生観、価値観を形成する。②人文性：民族精神と優秀な文化を培い、積極的に進歩向上を求める態度や粘り強い意志、団結して協力する精神を育成する。③実践性：生活経験や社会实践と結び付け、正確な思想観念と良好な道徳品性の形成と発展を促進する。④総合性：成長している自分、自分と他人、自分と集団や国家との関係を主軸にして、道徳や心理健康、法律や国情などの多方面の学習内容を有機的に結びつける。さらに「課程標準（2011年版）」で内容に若干の改訂が行われ、「社会主義の中核的な価値体系」へ導き、科学的発展観を重要思想に加え、中国共産党の教育方針を全面的に貫徹する方針が強化された⁴⁰。

中国の道徳教育は、小学段階で「総合課程化」され、中学段階で、中国共産党の教育方針強化を受けて「国情を認識し、我が中華を愛する」として、愛国心・愛党心育成の基礎となる国情教育が重視されている。

1. 科学技術や教育による国家振興

「課程標準」で「我が国の科学技術や教育方面における発展の成果を理解し、先進国との格差を知り、科学技術と教育による国家振興戦略の現実的な意義を理解し、科学技術の創造と革新（中国語：创新）、教育の創造と革新（中国語：创新）の必要性を感じ取り、自身の素質を高める努力をする」（思想品德、pp.13-14）ことを内容標準として掲げる。なお、「課程標準（2011年版）」では、「我が国の科学技術や教育方面における発展の現状を理解し、科学技術と教育による国家振興戦略の現実的な意義を理解し、科学技術の創造と革新（中国語：创新）の必要性を認識し、自身の素質を高める努力をする」と記し、一部語彙が変更及び削除されている。中国発展の認識に伴うのであろう、「先進国との格差を知り」が削除されている。改訂前の教科書には、アメリカや、ドイツ、日本などの「先進国」が例示されていた。

各教科書は主に9年生でこの内容を取り上げる。上海教育出版社版は、世界と比較する記述をしている。

人民教育出版社版（2012年印刷）『思想品德』9年<第2單元 祖国を理解し、我が中華を愛する>（pp.30-71）<科学技術と教育による国家振興の発展戦略>（pp.58-62）は、「現在の世界は、各国間の経済と科学

技術の競争が激烈であり、結局は教育の競争であり、人材の競争である。教育は国家と民族の未来を決定する、民族の最も根本となる事業である」(p.60)と記す。

北京師範大学出版社(2012年印刷)『思想品德』9年<第2単元 国家振興の道を行く>(p.47-84)は、1945年第二次世界大戦後にアメリカ軍とソ連軍がドイツに進攻し、ドイツ資源の略奪戦を展開したことを例示し、「アメリカ軍がドイツから多くの科学者を本国に連れ去った」ことが「戦後アメリカが科学技術と経済の繁栄で先頭に立った重要な貢献であった」と記し、人材の重要性について話し合う活動を盛り込む(p.69)。

湖南師範大学出版社(2012年印刷)『思想品德』9年<第3単元 科学技術を発展させ、教育を振興する>(pp.43-68)は、日本を例示する点が注目される:「国土が狭く、資源に乏しいことが、国民に危機感を抱かせ、…知的資源開発の原動力になった」とし、「もし高等教育の大衆化がなければ、今日のような日本経済の発展はなかった」という経済学者の言葉を紹介する。さらに「1.もし人が教育を受けなければどうなるか? 2.学校教育のほかに、どのような教育方法があるか?」と問い、「今日の教育、明日の科学技術、明後日の経済」の言葉をどのように理解したらよいかと重ねて問い、議論を促す(p.53)。さらに、「人は天性の違いがあるが、その違いは大きなものではなく、教育によって乗り越えることができる」とし、「教育を受ける権利を大切にし、まじめに、主体的に教育を受ける義務を履行し、国家の富強と社会の進歩のために、自分を有用な人材に作り上げなければならない」(p.65)と結論づけ子どもを励ます。

広東教育出版社(2014年印刷)『思想品德』9年<第3単元 科学が発展し、国は強くなり人民は安らくなる>(pp.61-92)は、中国の科学者であり教育者でもあった銭学森の「なぜ我々の学校が傑出した人材を養成できないのか?」という問いを紹介し、「中国が十全なる発展ができないのは、科学技術の発明に資する創造的な人材を育てる教学モデルをもった大学がないことが重要な原因であり、オリジナルな創造と革新ができず、傑出した人材が生まれない。これが大きな問題である」という言葉を紹介し、グループ討論を促し、さらに「銭学森の問い」に対する自分の考えを小論文にまとめるよう促している(p.67)。

江蘇人民出版社(2013年印刷)『思想品德』9年<第5単元 明日に向かって歩む>(pp.135-160)は、有用な人材になる要素として、「内因には徳・才・学・識・体等が含まれる。外因には、時代・チャンス・人間関係・物質的条件等が含まれる」とし「最も大切なことは、自分が勤勉に努力することである」と記す(p.156)。

山東人民出版社(2012年印刷)『思想品德』9年<第4単元 私たちの未来は夢ではない>(pp.113-150)は、何かをなすために必要な素質として①成し遂げようとする強烈な欲求を持つこと、②明確な目標を持って専念すること、③興味と責任感を持つことを挙げ、最も重要なこととして④創造と革新の精神と能力をもつこと、と記す(p.144)。

上海教育出版社(2015年印刷)『思想品德』9年<第1学期<第3課 科学技術と教育で国を振興し、志を立てて優秀な人材になる>(pp.41-59)は、「創造と革新型の国家として、アメリカや日本、フィンランド、韓国など20カ国くらいが世界で公認されている」とし、「我が国は先進国家との間に、なお大きな格差が存在するが、新中国成立以来、数代にわたる努力を経て、…生物、ナノ・テクノロジー、宇宙飛行など重要な領域の研究開発において世界水準に達している。我々は社会全体で苦難を乗り越え努力を重ねて、2020年には必ずや創造と革新型国家の仲間入りができると信じている」(p.49)と記す。「人材は多種多様であるが、一定の共通性もある。すべて一定の専門知識や技能を備えており、自分の創造的な労働をもって国家の繁栄と社会の進歩に貢献できる人、これが人材である」(p.53)とし、「興味は卒業証書より重要である」として、「あなたは中学を卒業した後、職業学校と高等学校のどちらを選ぶのが、よりふさわしいと思うか?」と問い、エジソン等の例をあげ、「どのような職場であっても、報国の心と学習の志を持ち、倦まずたゆまず創造と革新の精神を持ち続けられ、必ずや祖国のため、人民のために有用な人材になることができる」(p.58)と結ぶ。

人民出版社(2013年印刷)『思想品德』9年<第6課 心の中の天秤>(pp.69-79)は、「公平は個人の存在とその権利に対する承認であり、潜在能力をかきたてる動力であり、公平を獲得することで自分の尊厳と価値を見出すことができる」(p.69)。「個人の行動を通して

社会の公平を守る場合、個人の道徳的力量に頼ることになる。しかし、個人の力量には限界があり、人の力の及ばないところに制度の力が示されることになる」とし、「新中国成立後、特に改革開放以降、我が国の各種制度は不断に改善されてきた。制度作成の目的は社会の公平を守ることである。社会制度を列举し、それらが守っている公平の内容を分析しよう」として「義務教育制度」を例示している (p.79)。

人民教育出版社版 (2012 年印刷) 『思想品德』9 年 < 第 4 単元 心を希望で満たし、明日を迎える > (pp.108-144) は、「進学を選択するにしろ、就職を選択するにしろ、…私たちは、勇気を持って自分で選択し、その選択に責任を持たなければならない」 (p.139) とし、「生涯を通して学び続けることが素晴らしい未来をもたらし、一人ひとりが学ぶことが祖国の光り輝く明日を作る」 (p.144) と結んでいる。

中国がイノベーションへの意欲を道徳教育に盛り込んでいることは注目される。国情を理解し、教育を通して国家に貢献できる人材になることが大切であり、必要な教育を受ける機会を国家は公平に保障していると印象づける内容構成である。

2. 奮闘目標と共同理想

「課程標準」で「我が国の各民族人民の共同理想を知り、理想の実現には苦しく辛い奮闘を経なければならないことを感じ取り、将来祖国のために力を尽くし、社会に奉仕するために、努力して学習する志を打ち立てる」 (思想品德 p.14) ことを内容標準として掲げる。また、「課程標準 (2011 年版)」で「小康社会の全面建設という奮闘目標を理解する」「中国の特色ある社会主義理論体系を知り」「我が国の経済制度や政治制度を理解し、各民族人民の共同理想を理解する」 (pp.14-15) を課程内容として掲げており、各教科書もそれに沿って記述するとともに、その目標と理想を実現するために中国共産党の指導の正当性と必要性が強調されている。以下、教科書記述を示す。

山東人民出版社版 (2012 年印刷) 『思想品德』9 年 < 第三課 目覚ましく発展する東方の巨大な龍 > (pp.34-43) < 党は私たちの先導者 > は、「社会主義現代化建設の歴史過程を回顧するとき、改革開放と社会主義市場経

済の発展が国家と社会に巨大な変化をもたらしたことを感じ取り、私たちは偉大な中国共産党をさらに熱愛する。中国共産党の指導の堅持は、社会主義現代化建設を順調に進めることを根本的に保証するものである。共産党がなければ中国の特色ある社会主義はない」 (p.40)。

「『一意専心に党と共に歩み、万民が心一つにして小康にむけて疾走する』、これは私たち青少年学生を含む全国人民の共同の願いである」 (p.42) と記す。

江蘇人民出版社版 (2013 年印刷) 『思想品德』9 年 < 第 8 課 党の指導を擁護する > (pp.98-111) は、「中国共産党は、偉大であり、榮譽ある、正しいマルクス主義政党であり、中国の特色ある社会主義事業の指導の核心である。私たちは多民族の発展途上の国家であり、中国共産党の指導を堅持することによってのみ、全国の各民族人民の智慧と力を凝集し、順調に社会主義現代化建設という壮大な目標を実現することができるのである」 (p.98)。「中華民族は 5000 年余りの発展の歴史過程において、かつては人類に恥じない燦爛と光り輝く文明の成果を創造した。しかし、1840 年のアヘン戦争以後、西方列強は中国に対し凶悪極まる侵略と略奪を行い、中国を次第に半植民地、半封建社会へと陥らせ、中国人民は帝国主義、封建主義、官僚主義の圧迫を受け、極めて貧窮し衰微するところとなり、さんざん侮辱され、悲惨な境地に陥った。アヘン戦争開始から太平天国運動、戊戌変法、義和団運動、辛亥革命を経て、中国人民は帝国主義及びその手先と不撓不屈の闘争を行い、無数の思いやり深く正義を通す人々がひたすら救国救民の道を探し求めてきた。しかし、それらの闘争と模索はことごとく失敗した。1921 年中国共産党の誕生によって、はじめて中国革命は全く新たな歴史段階に入ったのである」 (p.99) と記し、中国共産党の功績や重要思想を記述する。さらに課外実践活動「党は私の心の中にある」と題して、中国共産党の歴史や中国共産党の指導の下、中国がたどってきた発展の道などを調査し、思考し、黒板新聞や校内新聞などを制作して展示し交流するよう詳細な活動案を提示する (p.111)。

上海教育出版社版 (2015 年印刷) 『思想品德』9 年 < 第 1 学期 < 第一課 祖国を熱愛し、文明を伝承する > は、「中国百年の巨大な変化から導き出される結論は、中国共産党だけが中国人民を指導し、民族の独立、人民の開

放、そして社会主義の勝利へと導くことができたということ、そして、中国の特色ある社会主義の道を切り開き、民族の振興、国家の富強、人民の幸福を実現させることができるということである。中国共産党の指導者としての地位は、中国人民が民族の独立、国家の富強、幸福な生活を追い求める長期にわたる闘争の中で形成されたものであり、歴史の選択、人民の選択である。『共産党がなければ新中国はない』、これは中国人民の長期の奮闘の歴史の中から得られた最も根本で最も重要な結論である」(p.12)。「全面的な小康社会を建設し、我が国を富強・民主・文明・調和の社会主義現代国家にし、中華人民の偉大な復興を実現するためには、私たちは長く苦しい奮闘を続けなければならない。…国家と人民の利益のために喜んで奉仕し、勇敢で頑強な闘争精神をもって勇んで献身する。…国家と人民の利益のために、功績を立て、事績を残す奉仕の精神を発揚する」(p.37)。「我が国の改革開放と現代化建設事業において、青少年が才能を発揮する広大な舞台が提供された。…私たちは努力し勉強しさえすれば、自分を現代化建設に必要とされる人材に育てあげることができる」(p.57)。「報国の心と学習の志を持ち、不断に創造と革新の精神を持っていれば、必ずや祖国や人民にとって有用な人材になることができる」(p.58)と記述する。

『思想品德』において、個人のアイデンティティは集団や国家へと強固に繋がれていく。習近平は、「広範な青年は、鄧小平理論、『三つの代表』重要思想、科学的発展観で常に理論武装に励むとともに、理想と信念を、科学理念の理性的認識、歴史の法則に対する正しい認識、そして基本的国情の正確な把握の上に打ち立て、絶えず道と理論と制度への自信を深め、党の指導を堅持する信念を強め、永遠に党にしっかりと従って中国の特色ある社会主義の偉大な旗じるしを高く掲げていかなければならない」⁵¹と述べる。中国の教科書は、国家主席の言葉すなわち中国共産党の指導理念をそのまま反映している。

第3章 中国の道徳教育の実情と教育の現場

第1節 中国の道徳教育の実情

2013年1月に長崎において中国遼寧省の教育関係者と交流したのを皮切りにして、これまで遼寧省瀋陽市、山

東省煙台市や河南省洛陽市、上海市などを訪問し、教科書編纂者や教育関係者との道徳教育に関する研究討論や授業交流などを行ってきた。その中でみえてきた中国の道徳教育の実情を子どもの意識実態とともに記す。

1. 中国には「大徳育」と「小徳育」という考え方があ
る。「大徳育」とは、家庭や学校、社会の各方面で徳育
を有機的に統合させて、愛国主義教育、思想道徳教育、
行為規範教育などを強化し、子どもたちの実践能力と創
造能力を育成しようとするもので、各種の行事や共産党
の下部組織である中国少年先鋒隊の儀式や活動、及び全
教科の授業の中で、網羅的に行われている徳育教育であ
る。それに対する「小徳育」は、一般に「教科徳育」と
言われ、小学校では『品德と生活』『品德と社会』、中
学校では『思想品德』の教科書を使用し、専門教科学習
を通して行われる所謂道徳教育である。2. 2001年の基礎
教育課程改革前の小学道徳教科書『思想品德』には、徳
目が並んでいたが、改革以後合科され『品德と生活』(1
-2年)『品德と社会』(3-6年)になってからは、徳
目は前面に出なくなった。しかし、教員は徳目を意識し
ながら授業を行っている。3. 道徳教育は、社会主義継承
者の育成から現代的な公民を養成するための公民教育に
比重が移ってきている。4. 各学校には、中国共産党の下
部組織である「少年先鋒隊」(略して「少先隊」)の専
任指導員がいて、少先隊活動を指導している。この指導
員は『品德と生活』『品德と社会』の教科担当教員を兼
任することも多い。5. 中国の小学校教育は、基本的には
教科専任制を採用しているが、『品德と生活』『品德と
社会』は、重点科目(統一試験の科目)ではないため
『国語』や『英語』の教員が兼任することも多く、専門
性の欠如による指導力不足などの問題も多い。6. 教学研
究委員会(略して「教研委」)が、省・市・区などで組
織されており、定期的に授業研究を行い、公開授業や授
業評価を行っている。公開授業で優秀授業に選ばれると
昇級の可能性が高まる。7. 中国の教員は、特級・高級・
中級…とランク付けされている。そのランクにより給与
も異なるため、研究会に積極的に参加し、高い評価を得
るために切磋琢磨している熱心な教員も多い。

第2節 教育の現場

1. 遼寧省瀋陽市の事例

遼寧省瀋陽市には2013年3月と2015年3月の2度訪れ、遼寧省人民対外友好協会や瀋陽市教育局及び学校関係者と日中相互の道徳教育の現状について意見交換を行い、私立と公立の2つの小学校で道徳授業を行った。

(1) S 私立学校

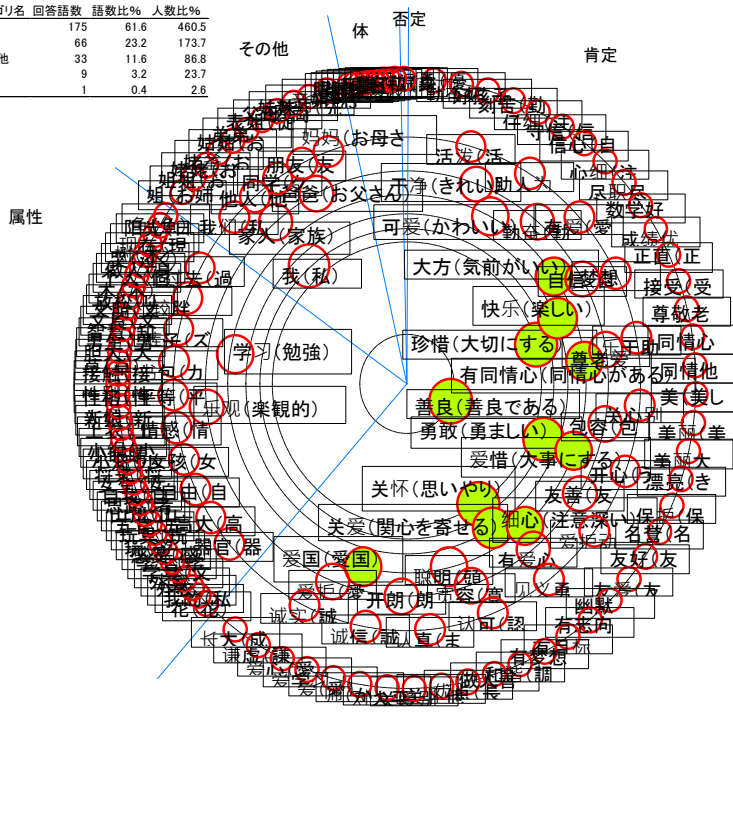
遼寧省の瀋陽市には公立・私立を合わせて2300校の学校がある。その中で7番目にランクされるエリート校S私立学校を、2013年と2015年の2度にわたって訪問し、2015年には、資料「へぶり嫁」を使った道徳授業を行った。この学校は2005年に創設され、小中一貫教育を行っており、中学の入学試験科目7教科の教育においては瀋陽市で1位となるなど、高い成果をあげており、さらに知識教育だけでなく、体育や芸術などの活動にも積極的に取り組んでいる。特に子どもたちの習慣形成に力を入れており、よりよい学習、行為、生活習慣を形成することと行為規則の遵守および礼儀を重んじていると

のことであった。小学校は24クラス(1クラス平均41人)、中学校は18クラス(1クラス平均51人)である。全カリキュラムに道徳を組み込み、子どもの徳育を行っている。教科としての道徳授業は、小学では北師版『品德と生活』『品德と社会』の教科書を使って週に2回、専任の教員が授業を担当している。小学では、主にしつけ、生活習慣、品德の養成を行う。特に2年生までは、①健康で安全に暮らす、②親を尊重する、③自信をつける、④誠実さを身に着ける、⑤家族や故郷・祖国に対する基本認識を養成することを重視している。3-4年では、①品德の形成、②社会に適応する力、③責任感と思いやりを養うことをめざし、個性を重視した授業を行っている。5-6年では、歴史をもとにし、中国伝統文化、東西文化、国際交流などの知識を生活と結び付けながら学ぶ。また、生命の尊重と、自信をもつことを大切にし、歴史を通して、押しつけではなく、自然に国を愛する気持ちを持つことができるような授業を展開している。3年生

連想マップ(Association Map)
Date: 2015年3月31日
沈陽尚品学校5年后
Module Version 5.01
Cue Word: 自己

回答者数: 38名, 回答語種数: 156種類, 回答語総数: 284語, エントロピー: 6.86, 連想量総和: 29.55

カテゴリ名	回答語数	語数比%	人数比%
肯定	175	61.6	460.5
属性	66	23.2	173.7
その他	33	11.6	86.8
体	9	3.2	23.7
否定	1	0.4	2.6



カテゴリ	回答語	語数	人数比%
肯定	善良(善良である)	21	55.3%
肯定	珍惜(大切に)	7	18.4%
肯定	关怀(思いやり)	7	18.4%
その他	我(私)	6	15.8%
肯定	勇敢(勇ましい)	6	15.8%
肯定	快乐(楽しい)	5	13.2%
肯定	关爱(関心を寄せる)	5	13.2%
肯定	可爱(かわいい)	4	10.5%
肯定	大方(気がいい)	4	10.5%
肯定	有同情心(同情心がある)	4	10.5%
肯定	爱惜(大事にする)	4	10.5%
肯定	细心(注意深い)	4	10.5%
肯定	聪明(頭がいい)	4	10.5%
肯定	爱国(愛国)	4	10.5%
属性	学习(勉強)	4	10.5%
その他	家人(家族)	3	7.9%
その他	爸爸(お父さん)	3	7.9%
肯定	干净(きれい)	3	7.9%
肯定	勤奋(勤勉である)	3	7.9%
肯定	自信(自信)	3	7.9%
肯定	尊老爱幼(お年寄りを尊敬し、子どもを可愛がる)	3	7.9%
肯定	包容(包容する)	3	7.9%
肯定	友善(友善)	3	7.9%
肯定	有爱心(愛の心がある)	3	7.9%
肯定	宽容(寛容である)	3	7.9%
肯定	开朗(朗らか)	3	7.9%
肯定	爱护(愛護する)	3	7.9%
属性	乐观(楽観的)	3	7.9%
その他	我们(私たち)	2	5.3%
その他	他人(他人)	2	5.3%
その他	同学(クラスメート)	2	5.3%
その他	朋友(友達)	2	5.3%
その他	妈妈(お母さん)	2	5.3%
肯定	活泼(活発である)	2	5.3%
肯定	助人为乐(人を助けることが好き)	2	5.3%
肯定	有爱(愛がある)	2	5.3%
肯定	梦想(夢)	2	5.3%
肯定	乐于助人(人を助けることが好き)	2	5.3%
肯定	关心别人(人に関心を持つ)	2	5.3%
肯定	开心(うれしい)	2	5.3%
肯定	爱护动物(動物を愛護する)	2	5.3%
肯定	见义勇为(正義のため勇敢に行動する)	2	5.3%
肯定	认可(認可する)	2	5.3%
肯定	认真(まじめである)	2	5.3%
肯定	诚信(誠実で信用できる)	2	5.3%
肯定	诚实(誠実)	2	5.3%
属性	器官(器官)	2	5.3%
属性	高大(高く大きい)	2	5.3%
属性	自由(自由)	2	5.3%
属性	女孩(女の子)	2	5.3%
属性	情感(情感)	2	5.3%
属性	平等(平等)	2	5.3%
属性	书包(カバン)	2	5.3%
属性	裤子(ズボン)	2	5.3%
属性	较胖(ちょっと太っている)	2	5.3%
属性	过去(過去)	2	5.3%
属性	1語以下は省略		

図1 瀋陽市S小学校5年生 思いやりをテーマに日本から持ち込んだ授業による授業後の〈自分〉意識

以上では、道徳の筆記試験を実施している。

この小学校に 2015 年 3 月に思いやりをテーマにした「へふり嫁」の授業を持ち込んで、5 年生に道徳授業をおこなった。連想法（上藺恒太郎、2011 を参照）による提示語（自分）意識の授業後の連想マップを図 1 に示す。この連想マップは回答語をカテゴリに分けてある。

「へふり嫁」の授業は、自己肯定感を育成することが実証されている授業であった。この授業によって、中国でどのような形で自己肯定感が表れるのか、に注目した。自己肯定する言葉《肯定》の割合が、人数比（回答者数比）で 460.5%と高いことが目につく。授業の前は（自分）についての肯定が 139.5%であり、一番多いカテゴリは《属性》であったから、「へふり嫁」がいかに自己肯定感を育てるために有効であったかを示している。460.5%という数字は、授業後に 1 人平均 4.6 語の自分を肯定する言葉を想起していることになる。そのうち、図 1 の薄緑の回答語が、授業後増加した言葉である。増加した回答語の種類と語数は多く、授業が子どもたちに浸透したことが伺える。授業後「善良（善良である）」が人数比にして 55.3%増加し、「珍惜（大切にする）」が 18.4%で新出の回答語、「关怀（思いやり）」「勇敢（勇ましい）」がそれぞれ 15.8%増加、「快乐（楽しい）」「关爱（関心を寄せる）」が新出で 15.8%、「有同情心（同情心がある）」「爱惜（大事にする）」「细心（注意深い）」「爱国（愛国）」がそれぞれ 10.5%で新出した回答語である。

注目したいのは思いやりをテーマにした授業において、10.5%の「愛国」の表現が新しく生まれた点である。自分を肯定する方向に中国において愛国心が直接に表現されることに、愛国心が自己肯定として出現することは今までなかった日本から訪問した我々としては、注目せざるを得なかった。「善良（善良である）」が何に対していい子であろうとするのか、家族や周りの人、地域などの共同体、社会、国家と異なるだろうが、発達段階から推察すると、周りの人や社会、その社会に国家を含むのであろうし、自分の内面を確立して自分の基準に従った善良さであるとはとらえがたい。すると、「善良（善良である）」ことのなかにも、愛国心につながる部分があると考えていい。そのとき、「愛国」と併せて、愛国心は中国の子どもに育っていることになる。中国において

愛国心は、教科書において教えられるに止まらず、子ども意識に組み込まれている。

(2) K 公立学校

同じく瀋陽市内にある K 公立小学校を 2013 年と 2015 年の 2 度にわたって訪問し、2015 年には資料「へふり嫁」を使った道徳授業を行った。この学校の校訓は「愛」で、学校の至る所に「愛」の文字や言葉、イメージマスコット、子どもたちの作品などが展示されていた。学校の廊下やホールには数々のコンクールやコンテストの優勝杯や写真などが展示されており、保護者が来校した際に、自分の子どもがコンクールで優勝した写真等が飾ってあると、励みになるためだとの説明を受けた。富裕層の子どもたちが多く通う上記の S 校とは対照的に、K 校はニュータウンにあり、外からの出稼ぎ家庭の子どもが多い。そのため、入学当初は、自分に自信が持てない子どもが多いが、K 校の自己肯定感を高める教育により、子どもも親も自信をもてるようになるという。親子の自信を高めるために、学校の図書館を保護者にも開放しており、夏休みなどには、保護者も本を借りて読み、読書感想文を提出することを義務付けている。子どもと保護者がともに成長することを目指している。

教員の平均年齢は 32 歳と若く、教員全体で討論を重ねながら、押しつけではない子どもの全面発達を目指した教育を行っている。道徳の授業は週に 2 回、遼海版の教科書を使って行うが、1 回は主に教科書の知識を習得し、1 回は活動を中心に授業を展開している。

2. 上海市の事例

上海市とは華東師範大学の研究者や教学研究基地のメンバーと共同で道徳教育研究を行っている。

上海市の学制は 5・4・3 制を取っており、義務教育 6 年生は「中学校予備学級」に通う。中国全土とは別に独自に課程標準「上海市小学品德と社会課程標準（試行稿）」を作成し、これに基づいて編纂され上海市中小學教材審査委員会の審査を経た教科書を使用している。上海市の教員は研修を受け、5 年間で 54 単位を取得し、実力をつけることが求められている。教科担任制で、国語・算数・英語などの重点教科は週 14 コマ、品德と社会などの教科は週 16 コマ、美術・体育・音楽などは

18 コマを担当する。宿題が多く、その採点など授業以外の仕事量が多い教科は、担当する授業コマ数が少ない。

道徳教育については、小学でも定期的な筆記試験があり、点数をつけ、通知表には、優秀・良好・中等・及第の4段階で評価を示す。上海市の中学道徳『思想品德』の授業は、確立された独自のスタイルがある。上海市では、2004年から中学3年生にのみ、「社会」という総合教科が設置されている。

(1) 小学校の授業と連想調査結果

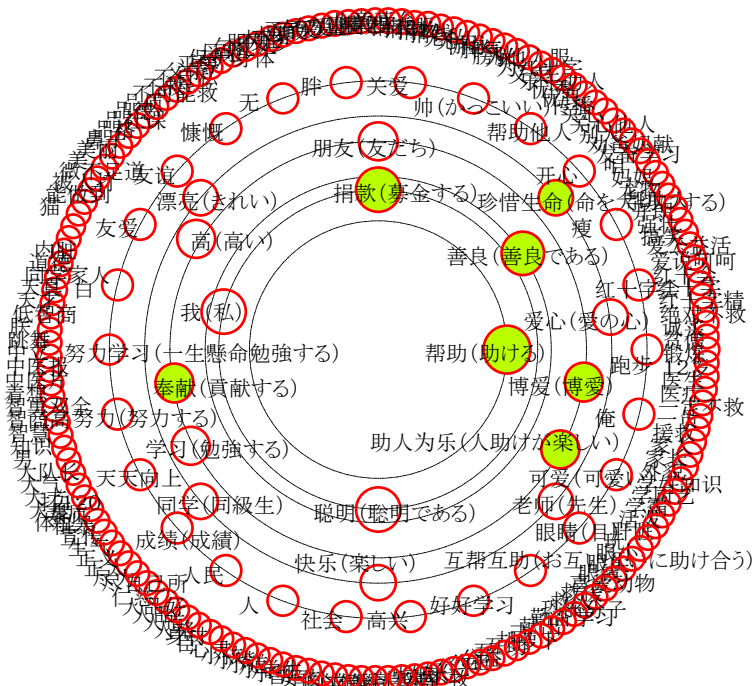
2015年6月に訪問した上海市虹口区の小学校では、教科書『品德と社会』上海：科技版を使った5年生の授業が行われた。テーマは「国境を越える援助」（5年第2学期 pp.70-73）であり、授業目標として以下の3点を挙げて進められた。①国際赤十字会（赤十字国際委員会

ICRC)の精神や国際事務の中における働きなどの概況を理解し、赤十字が生活に密接に関係していることを知る。②資料の収集、選択、整理、抽出を行い、協力して話し合い、問題について考え、討論する。③「人道・博愛・奉仕」の赤十字精神を理解し、寛容や忍耐して譲歩する態度を養い、いのちを大切にすることを意識を培う。そして、授業の最後に総括としてワークシート「私は…できる」が配られ、シートには「私は一人の小さな人道ボランティアです。私は自ら進んで赤十字精神を実践します。『私は…ができます。』」と書かれ、子どもたちが自ら実践できると思うことを書き込み、クラスで発表し、共有する活動が行われた。35分という限られた1コマの授業の中で、自分にできることを見出し、積極的に行動し、自信を高め、自己肯定感を育てようとする試みとして注目した。

連想マップ(Association Map)
Date: 2015.6.4
虹口区第四中心小学G5援助自己后测

Module Version 5.01
Cue Word: 自己

回答者数: 44名, 回答語種数: 198種類, 回答語総数: 286語, エントロピ: 7.33, 連想量総和: 30.12



回答語	語数	人数比
帮助(助ける)	10	22.7%
我(わたし)	7	15.9%
捐款(募金する)	7	15.9%
聪明(聪明である)	7	15.9%
善良(善良である)	6	13.6%
学习(勉強する)	4	9.1%
高(高い)	4	9.1%
助人为乐(人助けが楽しい)	4	9.1%
博爱(博愛)	4	9.1%
奉献(貢献する)	4	9.1%
朋友(友だち)	4	9.1%
快乐(楽しい)	3	6.8%
珍惜生命(命を大切に)	3	6.8%
同学(同級生)	3	6.8%
漂亮(きれい)	3	6.8%
老师(先生)	3	6.8%
爱心(愛の心)	3	6.8%
俺(わたし)	2	4.5%
可爱(可愛い)	2	4.5%
眼睛(目)	2	4.5%
互帮互助(お互いに助け合う)	2	4.5%
好好学习(よく勉強する)	2	4.5%
高兴(嬉しい)	2	4.5%
社会(社会)	2	4.5%
人(人)	2	4.5%
人民(人民)	2	4.5%
成绩(成績)	2	4.5%
天天向上(日々向上する)	2	4.5%
努力(努力する)	2	4.5%
努力学习(一生懸命に勉強する)	2	4.5%
白(白い)	2	4.5%
友爱(友愛)	2	4.5%
友谊(友情)	2	4.5%
慷慨(意気に燃えている)	2	4.5%
无(なし)	2	4.5%
胖(太っている)	2	4.5%
关爱(愛護する)	2	4.5%
帅(かっこいい)	2	4.5%
帮助他人(人を助ける)	2	4.5%
开心(楽しい)	2	4.5%
瘦(痩せている)	2	4.5%
红十字会(赤十字)	2	4.5%
跑步(ジョギングする)	2	4.5%
(1語の回答語は省略)		

図2 上海市虹口区の小学校 授業後の〈自分〉意識

上海で中国側が行った授業による結果である図 2 を見ると、自分が何をするかの回答語が増加、又は新出している。薄緑をつけた言葉が、増加または新出の回答語である。

自分は「帮助(助ける)」が 9 語、「捐款(募金する)」が 6 語、「善良(善良である)」が 5 語増加し、新しく出現した言葉として「助人为乐(人助けが楽しい)」「博爱(博愛)」「奉献(貢献する)」が 4 語、「珍惜生命(命を大切に)」が 3 語登場している。減ったのは「我(わたし)」という深い想起を必要としない言い換え、「聪明(聡明である)」といった自己表現がそれぞれ 5 語減少している。

中国の道徳教育では、最後に何をおこなうか行動を問う形が多く、それに応えた回答語が連想マップの中心を占めるように変化している。中国の道徳授業として、教員の意図に沿った授業後の連想マップである。

自己肯定感は、自分の内面の優れた性質を探すところに止まらず、何を行うかによって評価される。

中国において日本の道徳教育について講演すると、いつも発せられるのは、実行しなくていいのかとの質問である。道徳の実行を評価するこの方向は、鄧小平の「白い猫でも黒い猫でも、ネズミをとるのが良いネコだ」(不管黑猫白猫, 捉到老鼠就是好猫)と伝えられる方針を想起させる。

(2) 中学校の授業と連想調査結果

2015 年 6 月に訪問した上海市普陀区の中学校では、教科書『思想品德』上海教育出版社版を使った授業が行われた。テーマは「親の苦勞を分担しよう」(7 年第 1 学期 pp.47-50) であり、授業目標として以下の 3 点を挙げて進められた。①知識：親の苦勞を分担することは、子どもとして果たすべき家庭の職責であることを知る。家

連想マップ(Association Map)
Date: 2015.6.4
普陀区曹杨中学G7孝敬自己后测

Module Version 5.01
Cue Word: 自己

回答者数: 37 名, 回答語種数: 128 種類, 回答語総数: 205 語, エントロピ: 6.57, 連想量総和: 22.71

回答語	語数	人数比
父母(父母)	13	35.1%
孝敬(孝行をする)	9	24.3%
朋友(友だち)	8	21.6%
家務(家事労働)	6	16.2%
我(私)	6	16.2%
責任(責任)	5	13.5%
家人(家族)	4	10.8%
感恩(恩に感じる)	4	10.8%
善良(善良である)	4	10.8%
乐观(楽観的である)	4	10.8%
家庭(家庭)	3	8.1%
学生(学生)	3	8.1%
孝心(親孝行)	3	8.1%
分担(分担する)	3	8.1%
儿子(息子)	3	8.1%
长大(成長する)	3	8.1%
快乐(楽しい)	2	5.4%
感激(感激する)	2	5.4%
孝顺(孝行をする)	2	5.4%
自主(自分の意志で行う)	2	5.4%
努力(努力する)	2	5.4%
同学(同級生)	2	5.4%
独立(独立する)	2	5.4%
父亲(父親)	2	5.4%
母亲(母親)	2	5.4%
亲人(肉親)	2	5.4%
开心(嬉しい)	2	5.4%
诚实(誠実である)	2	5.4%
1語の回答語は省略		

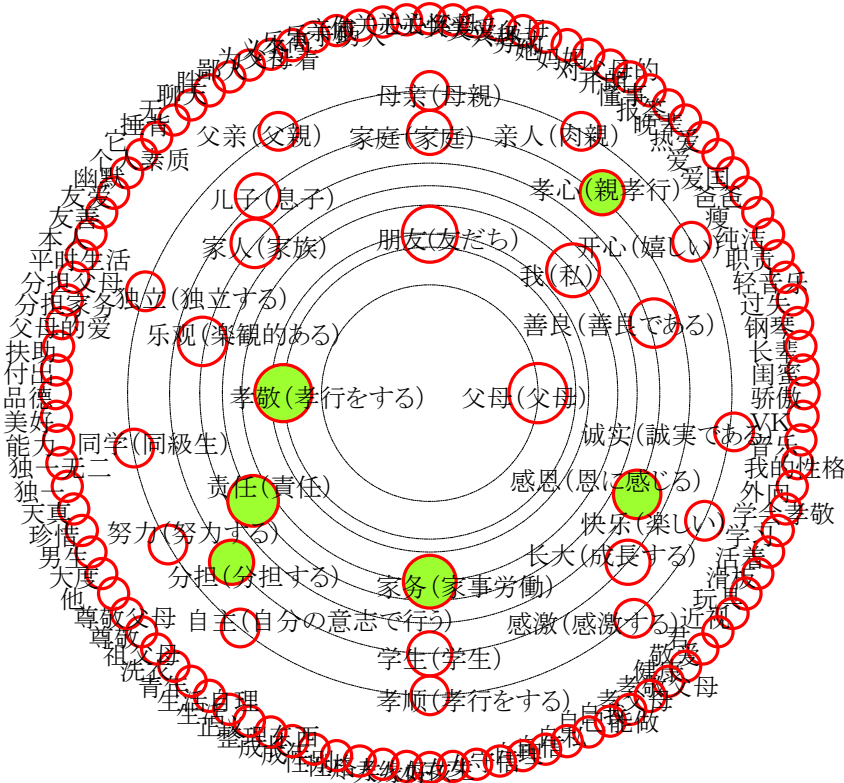


図 3 上海市普陀区の中学校 授業後の〈自分〉意識

事労働を受け持つことは、個人の健康的な成長に影響を与えることを知る。②過程、方法と能力：様々な例を分析したり、ワークシートを書き込んだり、家庭の日計画書を作成したり、話し合ったりする活動などを通して、生徒が自分の身の回りのことを自分で処理することの重要性を認識できるようにする。家庭において責任を果たし、社会において責任を担う意識を培う。③情感・態度と価値観：親の苦勞を感じ取り、分担し、親に孝行する感情をかきたて、親や年長者を実生活の中で大切にすることの重要性を感じ取り、家庭で責任を果たし、社会で責任を担う意識を培う。授業は、動画《感恩父母（両親に恩を感じる）》を放映するなど多媒体を駆使して進められ、教員から①私たちが成長する過程で、両親は私たちのためにどんなことをしてくれましたか？②両親がだんだんと年老いていくとき、私たちは彼らのためにどのようなことをして恩を感じていることを表現したらよいでしょうか？という発問がなされ、クラス討論を通してアイデアを共有する工夫がみられた。さらに、ワークシート「家事労働－私はできる」を作成し、自分にできることを見出し、家族に貢献する方法を考える活動が盛り込まれ、「自分のことをやるだけではなく、両親や祖父母、年長者の方々のために、進んで何かをやる」との総括をクラスで共有して終わった。ここでも、自分にできることを見出し、積極的に実践し、家族や社会に貢献し、自己肯定感の育成につなげる試みがみられた。

この道徳授業後の〈自分〉の連想マップ図 3 を見ると、道徳授業後のテーマに沿って自分が何を行うかに関わる回答語が増加している。薄緑で示した「孝敬（孝行をする）」が 8 語増加し、新しい回答語として「家务（家事労働）」が 6 語、「責任（責任）」が 5 語、「感恩（恩を感じる）」が 4 語、「孝心（親孝行）」と「分担（分担する）」がそれぞれ 3 語新出している。

減少したのは、「同学（同級生）」「学校」の自分が学校に通っていることに関わる回答語、ならびに「性格」「生活」「生命」といった自分に関する回答語が、それぞれ 3 語である。道徳の授業のテーマに沿って、何をするのかに対して、〈自分〉は「 」を行うとの形で答えている様子が見える。

3. 山東省煙台市の事例

2016 年 5 月に訪問し道徳授業を行った、山東省煙台市にある T 私立学校を紹介する。この学校は、国家級大型企業集団の投資によって 2002 年に創設された全日制の私立学校である。広い敷地内には、幼稚園、小学・中学校舎、芸術教育棟、大ホール、体育館や室内プール、運動場、生徒および教員用宿舎などの施設を備えている。煙台市には 6・3 制と 5・4 制の両方の学制が併存しているが、この学校は、中学課程の学習に余裕を持たせるため、小学 5 年、中学 4 年の 5・4 制を採用し、道徳教科書は、小学では山教版を、中学では山東人民出版社版を使用している。

この学校は徳育を優先させ、思想道德教育先進校に選ばれており、以下の 8 項目を大切にされた教育を積極的に行っている。①国を愛する、②荣誉と恥辱をわきまえる、③思いやりを持つ、④親や年長者を大切にすること、⑤「私はできる」と自信を持つ、⑥誠実で約束を守る、⑦謙虚さを持ち、礼儀をわきまえる、⑧粘り強く物事に取り組む。校長から、以下のような取り組みが説明された。良好な行為習慣を身に付け、「夢・道徳・文化・規律」の 4 つを兼ね備えた子どもの育成に励んでいる。素質教育に力を入れ、幼稚園から英語教育を行い、芸術教育（舞踏・ピアノ・声楽・絵画など）や体育教育（武術・水泳・感覚統合訓練・球技など）も重視している。カリキュラム開発を積極的に行い、調和のとれた、効果の高い、深く考えることを重視した対話型の授業を行っている。生徒一人一人の個性を尊重し、子どもたちが明るい笑顔を絶やすことなく教育を受けられる環境を提供している。校長や教員は、学習・活動・寮生活の全てにわたって指導を行い、生徒の健康で全面的な発達を目指している。幼稚園から中学までの生徒数は約 2000 人、教職員数は約 200 人。教師の平均年齢は 35 歳、修士以上の学位を持つ教師は 13.6%である。自宅から通学する生徒は、基本的に保護者が送迎を行い、寮生活を送る生徒は、校舎のすぐそばにある寮で生活し、週末や連休時に自宅に戻る。学校の広大な敷地の出入り口を、専門の保安官によって 24 時間体制で厳しく管理し、生徒の安全確保に努めている。生徒が外出する際には、校長の許可を得て、保護者や教師が同伴する必要がある。昼食は学校の中の食堂で取ることができるが、保護者が子どもを昼食のために迎えに来て、自宅で昼食を取らせ、再び学校に送り届

け、午後の授業を受けさせることも可能である。一人ひとりの子どもや保護者の状況に鑑み、公立学校にないきめ細かな教育環境作りを目指している。

学校の至る所に中国共産党の教育政策とそれに繋がる学校の教育方針が掲げられ、子どもや保護者、地域の人々に開示されていた。

資料「へふり嫁」を使った道徳授業では、子どもたちは明るく元気に発言し、積極的にグループ討論や活動に参加する姿が印象的だった。

4. 河南省洛陽市の事例

2016年5月に訪問し、道徳授業を行った河南省洛陽市のG公立小学校は、2014年6月に、現在の場所(新区:ニュータウン)に移転したばかりで、校舎の一部はまだ建設中であった。江蘇省南京市浦口区の学校と姉妹校としての関係を結び、協力して新たな教育理念を作り上げ、教育改革に取り組んでいる。江蘇省南京市浦口区の小学校は、農村の小学校から江蘇省の実験小学校、全国青少年郊外活動示範基地、国家漢語国際推進基地へと発展した学校で、英国やシンガポール、マレーシアなどとも長期の交流研究活動を行い、先進的な教育理念のもと、教学管理を行っている。両校は教授法やカリキュラムの開発、教員の育成、学校文化の建設などを共同で行っている。校長は、「専門的教育者になる」を方針として掲げている。「幸福生活を基礎とする」ことを学校経営の根本に据え、「手と頭を使ってことにあたり、知識と行為が一致した人になる」教育を提唱している。

学校の掲げるスローガンは「陽光」(子どもたちがのびのびと成長できる温かな学びの空間)である。地域に開かれた学校を目指しており、保護者だけでなく、地域の力を巻き込んで教育を行っている。授業では、グループ学習を日常的に行っているとのことで、道徳授業では、活発なグループおよびクラス討論が展開された。

第3節 大学における実態調査

大学においても思想政治教育は重視されており、「マルクス主義理論と建設工程」重点教材『マルクス主義基本原理概論』『毛沢東思想と中国の特色ある社会主義理論体系概論』『思想道徳修養と法律基礎』『中国近現代史綱要』を使った講義が必修である。

中国の大学、煙台南山学院において、2015年12月に学生の意識調査を実施した。対象は、2001年の教育課程改革以降の教科書『品徳と生活』『品徳と社会』『思想品徳』を使用して学んだ人文学院の学生105名である。

質問内容は以下のとおりである。1. あなたは、自分が好きですか。理由も書いてください。2. あなたは、家族が好きですか。理由も書いてください。3. あなたは、故郷が好きですか。理由も書いてください。4. あなたは、中国が好きですか。理由も書いてください。

1から4について①とても好き②好き③少し好き④少し嫌い⑤嫌い⑥とても嫌い、から1つを選択し、その理由も書いてもらった。図4に結果を積み上げ面グラフで示す。また中国と家族の項目には、百分率の数値を入れ

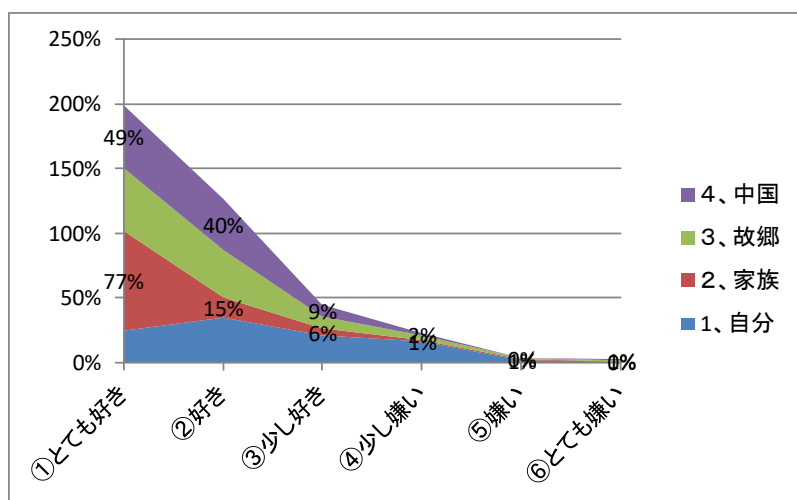


図4 煙台南山学院の大学生の意識

た。回答者のうち何パーセントがとても好きまたは好きなどと答えたかの数値である。

<理由>

1. 自分について

- ①とても好き：まず自分を愛することが大切だと思う。自分を愛してこそ他人を愛することができる。
- ①とても好き：自分がやりたいことを一生懸命にやっているから。
- ②好き：唯一無二の存在である。良くないところを改善し、もっと良くなれると信じている。
- ④少し嫌い：衝動的で、考慮にかけ、短気だから。
- ④少し嫌い：自信がなく、いつも他の人より劣っていると感じる。
- ⑤嫌い：とても脆弱で、いつも人の中で生きている。

2. 家族について

- ①とても好き：私のことを世界中で一番愛してくれている、そして私も彼らを最も愛している。
- ①とても好き：無私の愛で私を支えてくれる。
- ①とても好き：両親は私に命を与え、すべてを与えてくれる。どんな時でも家族は最も大切な存在。

3. 故郷について

- ①とても好き：私を育ててくれた場所であり、空気が澄んだ美しいところ。
- ③少し好き：歴史ある美しい街だが、大気汚染がひどい。
- ⑥とても嫌い：小さくて貧しく、発達していない。大都市の子どもが与えられているものを、私は何も与えられていない。落ちぶれている。

4. 中国について

- ①とても好き：私の母国であり、現在は大きく発展し、安定しているから。
- ①とても好き：一人の中国人として自分の国を愛するのは当然だ。
- ②好き：私の祖国であり、私はここで成長し、私に多くのものを与えてくれるから。
- ②好き：中国は平和で戦争がない。みんなが教育を受けることができる。問題もあるが、もっと良くなると信じている。
- ④少し嫌い：社会がとても複雑で、人々の間に誠意が感じられない。

⑥とても嫌い：人権がない。少数の人間だけが利益を得ており、腐敗がひどく、不平等である。

(以上は、理由として記されたものの一部である。)

図4で家族をととても好きと答える割合が77%と高いところを見ると、また好きとの合計が92%に及ぶ点を見ると、家族への愛着は、家族の崩壊と家族意識の希薄化が進む日本とは異なると思える。すると、中国の道德教科書が、自分から始まって、家族を愛し、家族に愛される自分を唱って自己肯定感へと進むように促す記述には正当性があると思える。家族から始まる拡がり、郷土そして中国へと、地理的広がりによって記述される教科書の構成は、発達年齢に沿った子どもの認識空間の広がりには止まらず、中国の学生の意識の広がりに沿っていることになる。学生の意識の広がり方が先にあるのか、愛国心へと集約しようとする道德教科書による教育の結果なのかはわからない。しかし、教科書記述と大学生が好きだと答える意識とは即応しているように思える。その結果、中国がとても好きまたは好きと答える学生が89%に及ぶ点は、中国の道德教育が成果を上げている査証であると考えられる。

煙台南山学院は中国山東省に位置する私立大学である。中国におけるいわゆる重点大学ではなく、大学のランク付けが明確に行われ、学歴が非常に重視される中国において、学生の多くは大学入学統一試験（高考）に失敗し、仕方なくこの大学に入ったという挫折感を味わっている。そのため自己を肯定しきれない心情を抱えた学生も多く、自己を卑下する心情を吐露する状況にもしばしば遭遇する。しかし、そうした状況にもかかわらず調査対象の学生の大多数が、自分を好きだと答えている。彼らにとって両親をはじめとする「家族」は、図4で見たように、かけがえのない存在であり、全寮制の大学生活において、長期休暇に帰省する「家」はオアシスであるようだ。また、「中国」については、中国人として祖国（母なる国）を愛するのは当然であるという回答が多くみられた。中国が抱える様々な問題を意識しつつも、経済発展し、日増しに強く豊かになる祖国を誇りに思う気持ちが表現されていると受け取った。

おわりに

中国における自己肯定感に関して、肖群忠（中国人民大学哲学系教授）（2004）⁵²は、「自愛」は肉体という物質としての自己と道徳的精神的存在としての自己の両方を愛することであるとし、「自愛は人の最も重要な基本となる美德」であり「人の道徳進歩の起点となり動力となるのが自愛の心である」と言う。韓傳信（2005）⁵³は、「自愛教育はまさに青少年に正しい生命観を樹立させ、他人や自分の命を大切にし、尊重する態度を培い、思いやりや社会に対する責任感を増し、生命の意義や人格の尊厳を体得させる」と重要性を認める。自己肯定感を支える必要は、中国においても認識されている。

しかし、これら論説と道徳教科書は、自己肯定感の低さが悪いわけではないとの側面に触れず、高い方がいいとの二分法の単純化に傾く、日本と同様の傾向がある⁵⁴。個人の向上心をやがて国家へと吸収する前提からは、向上しようとする自己肯定感が期待されるだろう。夢や希望を持って向上する感覚は自己肯定感を構成するが、自己肯定感に国家または大人が介入し、意図する方向へと引き上げようとする二分法の荒さがある。アンドレ・クリストフとルロール・フランソワ（2012）は『自己評価の心理学』で「自己評価が低くても心配することはない」（p.62）と、自己評価の低さの利点を挙げている（同書 pp.63-66）。そして「一般的に言って、学校のような競争的なシステムは自己評価の高い人に自信を与え、自己評価の低い人の自信を失わせる」と述べる（p.126）。競争によって一定の方向に子どもを引き上げようとする学校、また社会は、いつも向上心を自己肯定感として要求する傾向がある。だから自己肯定感を、他者にとって有用であることや、社会や組織の役に立つこととしての自己有用感と同一視するのだろう。

中国の道徳教科書は、1. 自分を受け入れる（自己受容）のために、他者からの受容を自覚し、自己評価、他者評価を通して、自己を受容し、自らを愛し自らを大切にすること、すなわち「自愛」を基本価値に据え、自らを尊重し（中国語：自尊）、自らを信じ（中国語：自信）、自らを誇りとし（中国語：自豪）、自らの足で立ち（中国語：自立）、自ら努力し向上する（中国語：自强）価値を育み、自分を肯定するよう導く。さらに愛し、肯定する対象を、自分を出発点として家族、集団、国家へと

広げる教科書構成によって愛国心を涵養し、祖国並びに中国共産党を肯定し受容するよう導く。2. 何かができる、何かになれる、感覚がある（成長する子ども、夢や希望を持つ子ども）として、成長する喜びを甘受し、英雄や模範を見習い、①正しい「人生の目標（理想・夢）」を持つことが大切であり、②それは社会の必要から出発し、国家や民族の命運とつながらなければならず、③中国共産党を擁護し指導を仰ぎ、中華民族が力を結集することによってのみ夢は実現すると説く。3. 自己肯定感の評価として、「素晴らしい」「すごい」などの言葉を添えながら、自分や仲間、地域や祖国の長所、優れたところを見だし、肯定できる点に目を向けるよう導く。さらに、集団への貢献を通して自己を評価する。4. 自己肯定感へと励ます方法として、「私はできる」などの自己を肯定する言葉を繰り返し自分自身に語りかけ、心理的な暗示を使って、自己を鼓舞し、自信を強化し、潜在能力を引き出し、困難を克服し、常に前向きに向上しようとする態度を涵養する。

中国における自己肯定感の育成は、自分の夢を中国の夢に重ねるように導かれる。個人の目標（理想・夢）を実現するために、自己を肯定し、集団の榮譽に貢献し、中国の夢に重ねて個人が有用であるとの構造を示す。それは、習近平の「中華民族の偉大な復興を実現することこそが、中華民族が近代以来抱き続けてきた最も偉大な夢である」と「中国の夢」を打ち出し、「二つの百年奮闘目標」を掲げ、「中国共産党結成 100 周年までの小康社会の全面完成という目標は必ず達成でき、新中国成立 100 周年までの富強・民主・文明・調和の社会主義現代化国家の完成という目標は必ず達成でき、中華民族の偉大な復興という夢は必ず実現できると私は確信している」と強調する⁵⁵政治的リーダーシップと重なる。

中国の道徳教育において、歴史認識、地理認識、政治、道徳が教科書において一つの世界観に統合されている。統合された力は、子どもの知識と思考とアイデンティティを形成する強さをもっている。歴史認識、地理認識、世界観と政治を道徳と統合して編纂するのは、教科書を編成し導こうとする意図が子どもに受けいられることを通じて、意図が正当化され、子どもの道徳教科書受容（acceptance）が中国共産党の正当性（legitimacy）を確立することになると期待するからである。道徳授業の

受け手である「私」が、教科書編成の意図として私に繋がれた中国共産党の世界観から抜け出すには、統合された世界観から己の世界観を外に出すほかない。中国道徳教科書に示される統合の結節点は、中国共産党が握っている。

翻って考えると、日本の道徳教育は、個人の形成において、自由と民主主義を許容する政治体制の正当性を示している。すなわち日本の道徳教育は価値を教科書において統合しない構成によって、価値をどのように統合するかを子どもに任せている。言い換えれば、価値の統合を子どもの主体性に預けて、統合の多様性を許し、民主主義における価値の多様性を保証しようとしている。価値統合の自由を子どもに保証するが故に、コンセンサスを求めて教室において話し合いをおこない、コンセンサス型民主主義⁵⁶の正当性を示すことになる構成を教科書において示している。

教えた価値の自分への統合と実行を子どもに委ねる道徳教育は、子どもを価値の主体として育てる意図を意味する。自分への価値の統合は、生活への統合でもあるし世界観への統合でもある。授業時間のねらいを理解するだけでなく、生きていくために、価値を自分において統合した理解へともたらずことを、道徳教育としては意識する深さを持つべきである。道徳教育が子どもを主体として育てるとは、個人における価値統合を意識することであろう。道徳教育は優れた価値を受け入れることが自己肯定感を育てるようにおこなわれて子どもの成長への糧となるし、子どもがどのような形で自分に価値を統合するかの過程を見通す必要がある。そして価値統合の多様性を相互に認め合う理解に到るために、協同で話し合う必要がある。

1つの授業は、授業の目標と授業素材、教員、子ども、教育方法の5つの要素によって成立するように見えても、どのように構成された教科書を配当するかを通じて、道徳教育の構成と背景にある政治体制の正当性を受けいれさせる営みになる。教科書の構成は、学校経営方針などと並んで教室の外にある第6番目の要素として、授業論において意識されてしかるべきである。

道徳教育がいじめや自死防止を志向するならば、教育の要として学校教育に位置を占め、民主主義を支える教科書構成をとっているとき、自己肯定感に支えられた個

人の育成が急務であろう。

中国の道徳教育の今後に言及しておく。中国では、2015年12月に、小中学生のバイブルともいえ、学校や教室の壁などにも貼られる『中小生守則』が改訂された。1981年に『小学生守則』が初めて公布され、2004年に改訂されて『中小生守則』となり、今回さらに改訂され、『中小生守則(2015年改訂)』が公布された⁵⁷。1981年版2004年版共に第1項目に「祖国を熱愛し、人民を熱愛し、中国共産党を熱愛する」と記述されていたが、2015年版では、「党を愛し、国を愛し、人民を愛する。党史・国情を理解し、国家の榮譽を重んじ、祖国を熱愛し、人民を熱愛し、中国共産党を熱愛する」と、愛する対象として筆頭に「党」が置かれ、説明が加えられたことは、中国共産党への求心力を強める動きとして注目される⁵⁸。

2012年1月「課程標準(2011年版)」が出され、教科書の改訂作業が始まり、2014年9月から、道徳・国語・歴史・科学教科以外の改訂版の使用が始まった。道徳教科書『品徳と生活』『品徳と社会』『思想品徳』については、「課程標準(2011年版)」に沿って、内容を一部改訂し、審査が行われる方向で進んでいた。しかし、2016年に入り、小学の『品徳と生活』『品徳と社会』、中学の『思想品徳』は全て『道徳と法治』という教科名に変更することが通知された。急遽編集・改訂作業が行われ、審査を経て、2016年9月の新年度は、小学1年と中学1年のみが新たな『道徳と法治』の表題をつけた教科書を使用し、そのほかはこれまでの実験教科書『品徳と生活』『品徳と社会』『思想品徳』を継続して使用し、順次新版の『道徳と法治』教科書を導入していくこととなった⁵⁹。

2016年6月28日には中国教育部から「青少年法治教育大綱」⁶⁰が公布され、法治教育の新しい体制が整えられた。その内容を見ると国家に関すること、法に関することのほかに、安全、自然・環境保護、司法制度、国際組織も入っている。順次出される新しい教科書に、こうした内容が盛り込まれていくと考えられる。

今後中国の道徳教育がどこへ向かうのか、教育現場で順次使用が始まる新版『道徳と法治』道徳教科書の内容構成に注目していきたい。また中国の統合された強い道

徳教科書に対して、やがて出される日本の道徳教科書は、控えめで民主主義を支える基本の形は変わらないとしても、子どもの自己肯定感育成がどのように図られる構造になるか、注目したい。中国も日本も、今、道徳教科書が書き換えられている。

(本論は、科学研究費基盤 C 課題番号 26381276 による成果である。)

註

¹ 国家教育委員会（1997）《九年义务教育小学思想品德课和初中思想政治课课程标准（试行）》人民教育出版社。

² 教育部基础教育课程教材专家工作组织编写（2012）《义务教育品德与社会课程标准（2011 年版）解读》高等教育出版社、p. 5。

³ 教育部基础教育司组织编写（2002）《走进新课程—与课程实施者对话》北京师范大学出版社、p. 2。

また、この改革に先立ち、教育部基礎教育司が課程の専門家を召集し、1996 年 7 月から 1997 年末までの間に、1993 年秋から全国で実施された九年義務教育の実施状況を調査研究し、全国 9 つの省や都市などから 16000 人の中小生、2000 名の校長や教師、社会各界の関係者に調査を行い、改革に必要なデータや資料を収集している。さらに 1998 年以降、教育部により組織された教育専門家により、英国・アメリカ・カナダ・ドイツ・日本…等から教育課程改革に関する経験や方法等の資料を収集し、広範な比較研究を行っている（同、pp.6-7）。

⁴ Edward Vickers (2009), Selling 'socialism with Chinese characteristics,' 'thought and politics' and the legitimization of China's development strategy.

International Journal of Educational Development, 29(5): pp.523-531.

⁵ 陈桂生（2003）＜“德目主义”评议＞《当代教育科学》2003 年第 8 期，p. 12。

⁶ 汪刘生, 白莉（1995）＜中小学德育模式评析＞《教育导刊》22 期 1，pp. 19-20。

⁷ 赵志毅, 李涛（2009）＜“德目主义”德育哲学引论＞《南京师大学报（社会科学版）》第 3 期，p. 84。

⁸ 中华人民共和国教育部（2002a）《全日制义务教育品德与生活课程标准（实验稿）》北京师范大学出版社，p. 1。

⁹ 中华人民共和国教育部（2002b）《全日制义务教育品德与社会课程标准（实验稿）》北京师范大学出版社，p. 2。

¹⁰ 1997 年 4 月に国家教育部が頒布した「九年義務教育小学思想品德と中学思想政治課程標準」に基づき編纂され、教育部小学教材審定委員會の審査を経て 1999 年秋季学期から全国に選択できる教科書として供された小学教科書（人民教育出版社版）と 2002 年の課程標準（実験稿）に基づいて編纂され、全国中小学教材審定委員會の審査を経て「義務教育教學用書籍目錄」に掲載されている小学教科書（人民教育出版社版）の目次を対照して以下に示す（表 1）。1999 年版の<>内は、教科書上部に示された徳目を表す。徳目を掲げ、その徳目にかかわる項目がそれぞれ 1-3 設けられている。さらにその項目の具体的な説明やそれにまつわる逸話や名言を載せる構成になっている。

表 1 : 1999 年版と 2002 年版（人民教育出版社）目次対照表

1999 年版	2002 年版
<p>『思想品德』第 1 冊</p> <p><よく学ぶ></p> <p>1、学校へ行くことはすばらしい</p> <p><親孝行をし、年長者を敬う></p> <p>2、先生 こんにちは</p> <p><固く団結し、仲良くする></p> <p>3、クラスメートと一緒にいるのが好き</p>	<p>『品德与生活』1 年上</p> <p>私は 1 年生になったよ</p> <p>1、新しいランドセルを背負ったよ</p> <p>2、学校のベル</p> <p>3、新しい友だち 新しい仲間</p> <p>4、安全に家へ帰る</p>

<p><規律を守る></p> <p>4、時間通りに学校へ行く</p> <p>5、授業の時は規律を守る</p> <p>6、休み時間は秩序を守る</p> <p><よく学ぶ></p> <p>7、まじめに勉強する</p> <p><一生懸命に精を出して励み、節約する></p> <p>8、学習用品を大切に</p> <p><公德を遵守する></p> <p>9、学校のいすや机を大事にする</p> <p><品位を保ち、礼儀を重んじる></p> <p>10、清潔を重んじる</p> <p>11、きちんと日直をつとめる</p> <p><祖国を熱愛する></p> <p>12、わたしは中国人だ</p> <p>13、五星紅旗を愛する</p>	<p>母なる国、私はあなたが大好き</p> <p>5、私たちの国慶節</p> <p>6、母なる国は私の心の中にある</p> <p>私の一日</p> <p>7、時計と友だちになる</p> <p>8、私は清潔にする</p> <p>9、私はよく食べる</p> <p>10、私は自分で整理整頓できる</p> <p>11、私は元気いっぱい</p> <p>新年を迎える</p> <p>12、新年おめでとう</p> <p>13、楽しい春節（お正月）</p>
<p>『思想品德』第2冊</p> <p><親孝行をし、年長者を敬う></p> <p>1、私は両親を愛する</p> <p>2、おじいさん、おばあさんは素晴らしい</p> <p><品位を保ち、礼儀を重んじる></p> <p>3、他人に礼儀正しくする</p> <p>4、礼儀正しい言葉遣いを学ぶ</p> <p>5、静かにして、じゃまをしない</p> <p>6、勝手に他人の物を持って行かない</p> <p><誠実で、勇敢である></p> <p>7、勇敢な子どもは、みんながほめる</p> <p>8、嘘をつく、大きな害をもたらす</p> <p><一生懸命に精を出して励み、節約する></p> <p>9、自分のことは自分でする</p> <p>10、生活用品を大切に</p> <p><公德を遵守する></p> <p>11、環境を衛生に保つ</p> <p>12、私は草花を愛する</p> <p><規律を守る></p> <p>13、学校の通例のやり方を遵守する</p>	<p>『品德と生活』1年下</p> <p>私の家族と仲間</p> <p>1、私の家族</p> <p>2、家族の愛</p> <p>3、家族を喜ばせる</p> <p>4、私と仲間</p> <p>大自然の中に歩み入る</p> <p>5、春が来た</p> <p>6、苗がどんどん大きくなる</p> <p>7、私たちは太陽と遊ぶ</p> <p>8、風が吹いた、吹いた</p> <p>毎日の健康生活</p> <p>9、歯が生え変わった</p> <p>10、私にはよく見える目がある</p> <p>11、気を付けて、けがをしないで</p> <p>12、夏、私たちは何に注意しますか</p>

<p>『思想品徳』第3冊</p> <p><よく学ぶ></p> <ol style="list-style-type: none"> 1、一心不乱に授業を聞く 2、一人で勉強をやり終える 3、今日のことは、今日やる <p><親孝行をし、年長者を敬う></p> <ol style="list-style-type: none"> 4、両親の言うことを聞く 5、先生は私のために良くしてくれる <p><固く団結し、仲良くする></p> <ol style="list-style-type: none"> 6、良い児童は、譲り合う 7、私はクラスメートをよく助ける <p><品位を保ち、礼儀を重んじる></p> <ol style="list-style-type: none"> 8、お客さんが家に来る 9、礼儀正しいお客になる 10、きちんと立って、きちんと座る 11、物を散らかさない <p><祖国を熱愛する></p> <ol style="list-style-type: none"> 12、私たちは指導者を愛する 13、愛国の小さな英雄 	<p>『品徳と生活』2年上</p> <p>私は集団の中で成長する</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、私は2年生に上がった 2、私のクラスには物語がいっぱい 3、私たちの教室を清潔に美しくする 4、良い本をみんなで読む <p>金色の秋</p> <ol style="list-style-type: none"> 5、秋はどこ？ 6、秋の収穫 7、秋の遠足 8、中秋節と重陽節 <p>私たちは本当にすばらしい</p> <ol style="list-style-type: none"> 9、私はすばらしい、あなたもすばらしい 10、“勇ましい鷹の子ども”に学ぼう 11、“快樂鳥”になろう
<p>『思想品徳』第4冊</p> <p><よく学ぶ></p> <ol style="list-style-type: none"> 1、“いいかげんなやつ”にならない 2、時間通りにやる <p><誠実で、勇敢である></p> <ol style="list-style-type: none"> 3、勇気を持ってまちがいを認める 4、間違いを知って、改める <p><固く団結し、仲良くする></p> <ol style="list-style-type: none"> 5、愛すべきクラス集団 6、団結した力は大きい 7、他の人のことを考える <p><一生懸命に精を出して励み、儉約する></p> <ol style="list-style-type: none"> 8、家の仕事を学んでやる 9、食糧を大切にする 10、水や電気を節約する <p><生命を大切にする></p> <ol style="list-style-type: none"> 11、交通安全を心に刻む 12、騙されない 13、火遊びをしない、感電を防ぐ 	<p>『品徳と生活』2年下</p> <p>私たちが暮らす場所</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、私は故郷の自然を愛する 2、故郷には産物がたくさんある 3、私の家の周りには新しいことがたくさんある <p>故郷をもっと美しくしよう</p> <ol style="list-style-type: none"> 4、私たちの母なる大地 5、故郷を美しくする 6、花や木が笑ってあいさつする 7、私は動物と友だちになる <p>楽しい少年先鋒隊員</p> <ol style="list-style-type: none"> 8、鮮やかな赤いスカーフ（少年先鋒隊員の印） 9、赤いスカーフが胸の前で翻る 10、楽しい“国際児童デー” <p>私たちは成長している</p> <ol style="list-style-type: none"> 11、私たちは大きくなった 12、私の夏休みの計画

<p>『思想品德』第5冊</p> <p><勇敢で、毅然としている></p> <ol style="list-style-type: none"> 1、誰が勇敢か？ 2、機知に富んでいることは勇敢だ 3、始めから終わりまでやり通す <p><一生懸命に精を出して励み、儉約する></p> <ol style="list-style-type: none"> 4、労働は榮譽であり、怠惰は恥ずべきこと 5、お母さんの小さな助っ人になる <p><たゆまず努力して学ぶ></p> <ol style="list-style-type: none"> 6、わき目もふらずにやる 7、自発的に学習する <p><集団を気遣う></p> <ol style="list-style-type: none"> 8、積極的に集団活動に参加する 9、集団のためにたくさん良いことをする <p><固く団結し、仲良くする></p> <ol style="list-style-type: none"> 10、クラスメートが困難に遭遇した時 <p><規律を守り、法を遵守する></p> <ol style="list-style-type: none"> 11、自覚して学校の規律を遵守する <p><品位を保ち、礼儀を重んじる></p> <ol style="list-style-type: none"> 12、民族の風俗習慣を尊重する 13、“中国の子どもは本当に素晴らしい！” 	<p>『品德と社会』3年上</p> <p>第1単元 家庭、学校と地域社会</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、私は自分の家が好き 2、私たちの学校 3、私が暮らす地域 <p>第2単元 私は学びながら大きくなる</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、私は学んだ 2、“誰”から学ぶ？ 3、学習の主人公になる 4、みんな誰もが学んでいる <p>第3単元 私は規則と仲良くなる</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、規則はどこにある？ 2、規則は何の為？ 3、私たちは自分たちのために規則を作る <p>第4単元 私の役割と責任</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、私は誰？ 2、私の責任 3、私はきちんとできる
<p>『思想品德』第6冊</p> <p><一生懸命に精を出して励み、儉約する></p> <ol style="list-style-type: none"> 1、労働の成果を大切にする 2、食べ物や衣服を比べない <p><誠実で、約束を守る></p> <ol style="list-style-type: none"> 3、自発的に間違いを認める 4、小さな利益に目を奪われない 5、拾得物は届け出る <p><たゆまず努力して学ぶ></p> <ol style="list-style-type: none"> 6、骨身を惜しまず勉強する 7、よく学び、頭を働かせる 8、良い本と友達になる <p><公德を遵守する></p> <ol style="list-style-type: none"> 9、公共施設が自ら語る 10、有益な動物を愛護する 11、希少な動物を保護する <p><祖国を熱愛する></p> <ol style="list-style-type: none"> 12、一心に人民のために奉仕する共産黨員 13、祖国の鋼鉄の長城（堅い守り） 	<p>『品德と社会』3年下</p> <p>第1単元 愛の陽光の下で</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、家族の愛 2、両親の心を理解する 3、社会から受ける愛 <p>第2単元 私たちは喜びを共にする</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、私とあなたと彼（彼女）は違う 2、角度を変えて考えてみる 3、喜びを分かち合う <p>第3単元 生活するには彼らが必要</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、私たちの生活には誰が必要？ 2、おばさん、おじさんお疲れさま 3、“ありがとう”と声をかけよう <p>第4単元 道を尋ねて、歩く</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、平面図（地図）の見方を学ぶ 2、校外に出て、道を探す 3、よその土地に行くことを学ぶ 4、大通りは遊び場じゃない

<p>『思想品徳』第7冊</p> <p><たゆまず努力して学ぶ></p> <ol style="list-style-type: none"> 1、時間老人の贈り物 2、学習、仕事は効率を重んじる <p><集団を気遣う></p> <ol style="list-style-type: none"> 3、必ず任務を完結する 4、集団の榮譽を守る <p><親孝行をし、年長者を敬う></p> <ol style="list-style-type: none"> 5、素晴らしい!“先生” 6、お年寄りを喜ばせる <p><公德を遵守する></p> <ol style="list-style-type: none"> 7、障がい者に愛の心を捧げる 8、古い城壁の保護から始める <p><規律を守り、法を遵守する></p> <ol style="list-style-type: none"> 9、主体的に公共の秩序を遵守する 10、交通法規を心に刻む 11、大通りは遊び場ではない <p><祖国を熱愛する></p> <ol style="list-style-type: none"> 12、中国人民は侵されない 13、祖国の忠実な子女 	<p>『品徳と社会』4年上</p> <p>第1単元 生命を大切にする</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、素晴らしい命 2、私たちの命 3、私たちの体を大切にする <p>第2単元 安全に生活する</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、今日、あなたは安全だろうか 2、公共の場で危険をはねつける 3、危険が発生したとき <p>第3単元 お金を遣うことの学問</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、家庭の帳簿 2、お金をどう使うべきだろう 3、買い物をする場所を知る 4、賢い消費者になる <p>第4単元 自分をいたわり、他の人を大切にする</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、祖父母を喜ばせる 2、愛の手を差し伸べる 3、私の町内や同郷の人 4、みんなのことは、みんなです
<p>『思想品徳』第8冊</p> <p><生命を大切にする></p> <ol style="list-style-type: none"> 1、身体を強くし、鍛えなければならない 2、小さなことで悩まない 3、生命を大切にする <p><誠実で、約束を守る></p> <ol style="list-style-type: none"> 4、言ったことは守る 5、親友が間違いを犯した後 <p><親孝行をし、年長者を敬う></p> <ol style="list-style-type: none"> 6、両親の恩は海のように深い 7、両親に愛を捧げる <p><たゆまず努力して学ぶ></p> <ol style="list-style-type: none"> 8、それぞれの教科をまじめに学習する 9、興味の樂園の中で <p><固く団結し、仲良くする></p> <ol style="list-style-type: none"> 10、小さい子を愛護する 11、同情それともからかい <p><祖国を熱愛する></p> <ol style="list-style-type: none"> 12、祖国の尊厳のために 13、競って“消息通”になる 	<p>『品徳と社会』4年下</p> <p>第1単元 気候風土は人を育む</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、私の故郷はどこ? 2、故郷の美しい景色と人々 3、濃い郷土愛 <p>第2単元 生産と生活</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、食べたり、着たり、使ったりするものはどこから来る 2、テレビの変化から話しはじめよう 3、生活の中のいろいろな職業 <p>第3単元 交通と生活</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、各種各様の輸送方法 2、交通と私たちの生活 3、古から今までの交通について話す 4、交通がもたらした問題を考える <p>第4単元 通信と生活</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、通信は家々をつなぐ 2、烽火台からインターネットまで 3、小さな窓口、大きな世界 4、テレビを見ることから、話しはじめよう

<p>『思想品德』第9冊</p> <p><自尊自愛（自らを尊重し、大切にする）></p> <ol style="list-style-type: none"> 1、満足は損を招き、謙譲は益を受ける 2、他人の長所に学び、己の短所を補う 3、自分の長所を伸ばす <p><一生懸命に精を出して励み、儉約する></p> <ol style="list-style-type: none"> 4、素晴らしい生活はどこから来る 5、一生懸命公益のために働く <p><品位を保ち、礼儀を重んじる></p> <ol style="list-style-type: none"> 6、礼儀正しく人に接し、人心を温める 7、礼節を重んじる <p><固く団結し、仲良くする></p> <ol style="list-style-type: none"> 8、固く団結し、協力する 9、他の人が自分を越えた時 <p><科学を心から愛する></p> <ol style="list-style-type: none"> 10、科学技術は人類に幸福をもたらす 11、小さい時から科学を愛する <p><祖国を熱愛する></p> <ol style="list-style-type: none"> 12、故郷を思う 13、人の恩を忘れない 	<p>『品德と社会』5年上</p> <p>第1単元 私は誠実で約束を守る</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、私を信じてください 2、誠実で約束を守ることは金なり 3、社会が誠実で約束を守ることを求めている <p>第2単元 私たちの民主生活</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、私たちの学級委員選挙 2、集団のことは誰が決める？ 3、私は参与者 4、社会生活の中の民主 <p>第3単元 私は祖国の自然を愛する</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、私の祖国は広々と果てしない 2、山河は美しい 3、祖国の宝島台湾 4、祖国の山河を守る人 <p>第4単元 私たちはみんな中華の子女</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、56の民族、56の花 2、各民族の子女が手を取り合う 3、世界各地で生活する華人
<p>『思想品德』第10冊</p> <p><自尊自愛（自らを尊重し、大切にする）></p> <ol style="list-style-type: none"> 1、自分の名誉を大切にする 2、是非をはっきり見分ける <p><勇敢で、毅然としている></p> <ol style="list-style-type: none"> 3、強い意志を持つ 4、勝っても己惚れない 5、負けてもしよげない <p><科学を心から愛する></p> <ol style="list-style-type: none"> 6、科学を信じ、迷信しない 7、曹冲象を量るの啓示 <p><一生懸命に精を出して励み、儉約する></p> <ol style="list-style-type: none"> 8、いろいろな業種の労働者を尊重する 9、儉約を榮譽とし、浪費を恥じる <p><集団を気遣う></p> <ol style="list-style-type: none"> 10、何かが起こったら、みんなで相談する 11、個人は集団に服従する <p><祖国を熱愛する></p> <ol style="list-style-type: none"> 12、中国人が奇跡を創造した 13、祖国よ、急成長しよう！ 	<p>『品德と社会』5年下</p> <p>第1単元 成長の喜びと悩み</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、生活の中の喜び 2、良い心を持つ 3、人生の苦みを味わう <p>第2単元 根源を追究する</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、衣食住の今昔（1） 2、衣食住の今昔（2） 3、炎の文化：陶と青銅 4、漢字と本の物語 <p>第3単元 独自で魅力的な中華文化</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、偉大な先人 2、我が国の国宝 3、私たちの文化の精華 <p>第4単元 私たちが生活する地球</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、真っ青な地球 2、私たちの地球村 3、地球村で生活する人々

<p>『思想品徳』第11冊</p> <p>個人生活の中の道徳規範</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、自立自強（自らの足で立ち、努力して向上する） 2、積極的に進歩向上を求める 3、誠実で約束を守る 4、人の身になって考える 5、喜んで人を助ける 6、人に対して寛大で思いやりがある 7、人柄が正しくまっすぐである 8、責任感がある 9、一生懸命に精を出して励み、節約する <p>家庭生活の中の道徳規範</p> <ol style="list-style-type: none"> 10、家庭の平安のために尽力する 11、両親や年長者を敬愛する 12、家庭に対して責任を持つ 13、隣人と仲良く付き合う 	<p>『品徳と社会』6年上</p> <p>第1単元 文明へ向かって歩む</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、科学技術は私たちに何をもたらしたか 2、社会文明をみんなで語る 3、健康で文明的な余暇生活 4、拒否することを学ぶ <p>第2単元 屈服しない中国人</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、忘れることのできない屈辱 2、立ち上がれ、奴隷になりたくない人々よ 3、中華民族のために立ち上がる <p>第3単元 急速に発展する祖国</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、立ち上がった中国人 2、日増しに豊かで強くなる祖国 3、貧困に別れを告げ、いくらかゆとりのある生活をする 4、国の門を開き、世界に向かって歩む <p>第4単元 世界を漫遊する</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、周辺を見てみる 2、世界中を旅する 3、文化風俗を収集する
<p>『思想品徳』第12冊</p> <p>学校生活の中の道徳規範</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、学校 - 私たちの成長の場 2、先生に敬意を表する 3、本当の友情 4、科学知識で頭脳を武装する <p>公共生活の中の道徳規範</p> <ol style="list-style-type: none"> 5、社会公德を遵守する良き少年になる 6、公衆の安全のために 7、公共財を大切に 8、人類が生存する環境を保護する <p>国家民族生活の中の道徳規範</p> <ol style="list-style-type: none"> 9、国家の興亡については、国民一人ひとりに責任がある 10、改革開放の新たなページが開かれる 11、祖国は必ず統一する 12、民族が団結し、大家族として親しむ 13、私たちは平和を愛する 	<p>『品徳と社会』6年下</p> <p>第1単元 私たちは道連れ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、男子と女子 2、友達同士 3、仲良く付き合おう <p>第2単元 人類の郷里</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、ただ一つの地球 2、私たちは地球のために、何ができるのか 3、災害が訪れたとき <p>第3単元 同じ青空の下で</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、戦時下の苦難 2、平和の鳩を飛ばそう 3、私たちは手をつなごう <p>第4単元 さようなら、私の小学生生活</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、私の成長の足跡 2、別れの言葉

- ¹¹ 上藺恒太郎・蒲池文恵（2016）「中華人民共和国の道徳教科書にみる戦争と平和—教科書を通じた統合—」『長崎総合科学大学紀要』第 55 巻 第 2 号、pp.81-82。
- ¹² 独立行政法人国立青少年教育振興機構（平成 27 年 8 月）「高校生の生活と意識に関する調査報告書—日本・米国・中国・韓国の比較—」http://www.niye.go.jp/kenkyu_houkoku/contents/detail/i/98/（2016/4/30 閲覧）。
- ¹³ 上藺恒太郎、森永謙二（2013）「自己肯定感を育てる道徳授業 - 共同で学ぶ思いやり -」『長崎大学教育学部紀要 教育科学』第 77 号、pp.1-18。
- ¹⁴ 榎本博明編著（2011）『自己心理学の最先端—自己の構造と機能を科学する』あいり出版（pp129-140）や梶田叡一（2005）『教師・学校・実践研究—人間教育の基盤を創る』金子書房、東京都教職員研修センター（2013）「自尊感情や自己肯定感に関する研究（第 5 年次）」東京都教職員研修センター紀要第 12 号（以下の web サイト）などを参照。http://www.kyoiku-kensyu.metro.tokyo.jp/09seika/reports/files/bulletin/h24/h24_01.pdf（2016/4/10 閲覧）。
- ¹⁵ 上藺恒太郎（2015）「子どもを支える道徳授業の必要」『教育哲学研究』第 112 号、p.140。
- ¹⁶ 中华人民共和国教育部（2002b）《全日制义务教育品德与社会课程标准（实验稿）》北京师范大学出版社、p. 1。
- ¹⁷ 中华人民共和国教育部《全日制义务教育思想品德课程标准（实验稿）》及び《义务教育思想品德课程标准（2011 年版）》北京师范大学出版社を参照。「社会主義の中核的価値観」「科学的発展観」については、習近平（2014）『習近平 国政運営を語る』（日本翻訳組訳）外文出版社が、以下のように説明する「社会主義の中核的価値観は、2012 年 11 月に行われた中国共産党第 18 回全国代表大会における報告『中国の特色ある社会主義の道に沿って揺るぐことなく前進し、小康社会の全面的実現のために奮闘する』で提唱された。基本的な内容は、富強、民主、文明、調和、自由、平等、公正、法治、愛国、勤勉、誠実、友好などである」（p.50）。「科学的発展観は、中国の特色ある社会主義の理論体系の重要な構成部分であり、中国共産党の指導思想である。科学的発展観について、その第一義とするところは発展であり、核心は人間本位であり、基本的要請は全面的でバランスが取れ持続可能であること、根本的な方法は統一的に配慮すること。主要創始者は胡錦濤である」（p.20）。
- ¹⁸ 倪冬岩（2007）「中国における道徳教育の動態」『現代社会文化研究』№38、pp.115-132。
- ¹⁹ 山田美香（2012）「中国における道徳教育と社会科の合科」『名古屋市立大学大学院人間文化研究科 人間文化研究』第 17 号、pp.99-110。
- ²⁰ 那楽（2015）「中国の小学校低学年における道徳教育の変容—『思想品德』から『品德与生活』への転換に着目して—」『道徳と教育』第 333 号、pp.17-30。
- ²¹ 那楽（2016）「中国の小学校における道徳教育の評価方法の変容—2001 年の基礎教育課程改革の転換期に着目して—」『道徳教育方法研究』第 21 号、pp.41-50。
- ²² 衣艳艳（2011）＜小学《品德与社会》教材比较与分析＞山东师范大学 教育管理，中国优秀硕士学位论文全文数据库。
- ²³ 王晓莉（2012）＜为了儿童道德成长的德育教材建设——基于五种版本《品德与社会》教科书的比较＞《思想理论教育》2012 年 10 期、pp. 31-35。
- ²⁴ 武小燕（2013）『改革開放後中国の愛国主義教育 社会の近代化と德育の機能をめぐって』大学教育出版、pp.318-319。
- ²⁵ 程平源（2013）は、実地調査を基に中国教育の抱える問題を分析し、「不平等な社会制度が質の高い教育を過度に求める風潮を生みだし、…教育資本化が保護者や生徒を資源争奪戦へと巻き込み、表面的には公平に見えるが、…不平等社会を激化させ、社会の底辺層が上昇する可能性を阻んでいる」（p.102）と指摘する。その他、牧野篤（2006）が、変動する社会構造と関連させながら中国教育を分析し、「国家制度としての教育は、民衆生活の社会的セーフティーネットであると同時に、国家権力の支配の永続化のためのいわばセーフティーネットでもある」（p.303）と指摘し、園田茂人・新保敦子（2010）が、教育をめぐる様々な格差・不平等の実態を調査データに基づいて明らかにし、「格差克服のための教育が、結果的に格差を生み出す皮肉な負の連鎖も存在」する（p.159）と指摘している。仲田陽一（2014）

は、現地調査を通して、格差社会の中国の子どもと学校の実像を紹介し、「『教育格差』の背景の一つに、地方の公教育予算の不足」がある（p.211）と言う。鮑傳友（2011）は、中国社会、特に都市部と農村部における経済及び教育の格差と教育制度や政策との関係を、アメリカやイギリス・フランス・日本・インドなどの政策や実践を参照しながら分析し、「教育格差は、社会の多様性や教育の多様性の反映であり、教育発展の動力である」としたうえで、中国において教育格差を縮小するためには、大変長い歳月と不断的努力が必要であるという。

²⁶ 中国中央文献研究室編（2013）《习近平 关于实现中华民族伟大复兴的中国梦 论述摘编》中央文献出版社 p. 16。

²⁷ 中华人民共和国教育部（2001）《基础教育课程改革纲要（试行）》

＜教育部关于印发《基础教育课程 改革纲要（试行）》的通知＞教基[2001]17号。

http://www.gov.cn/gongbao/content/2002/content_61386.htm（2016/4/10閲覧）。

²⁸ 中华人民共和国教育部（2002a）《全日制义务教育品德与生活课程标准（实验稿）》北京师范大学出版社。中华人民共和国教育部（2002b）《全日制义务教育品德与社会课程标准（实验稿）》北京师范大学出版社。中华人民共和国教育部（2003）《全日制义务教育思想品德课程标准（实验稿）》北京师范大学出版社。

上記の「課程標準（実験稿）」に記述されている自己認識の形成及び自己肯定感の育成に関わる部分をⅠ、『品德与生活』Ⅱ、『品德与社会』Ⅲ、『思想品德』の順に整理して以下に示す。

Ⅰ. 『品德与生活』（1-2年）

『品德与生活』は、「課程標準」序文で、「《公民道德建設實施綱要》の精神にのっとり」「良好な公民道德の素質」を形成する「我が国の重大な責任を担うべき基礎教育」と位置付けられる。「児童の生活を基礎とし、良好な品德を身に着け、喜んで探究し、生活を熱愛する児童を育成することを目的とした活動型の総合課程である」とし、座学をこえようとしている。児童が生涯を通して健康な心身の発達をするための基礎、楽観的に向上する生活態度の基礎、祖国を愛し、人民を愛し、労働を

愛し、社会主義を愛する公民の基礎を築くとする。

課程の目標には①親を愛し年長者を敬い、集団を愛し、故郷を愛し、祖国を愛する、②命を大切にし、自然を愛し、科学を愛する、③自信を持ち、誠実であり、向上心を持つ、ことなどがあげられ、楽観的かつ積極的に生活し、「愛」する態度の育成が重視される。

課程の内容標準に、「愉快に積極的に生活する」とし、以下の9項目をあげる。1、同級生や先生との付き合いを好み、喜んで学び、愉快に遊ぶ。2、自然に親しみ、大自然の中での活動を好み、自然の美しさを感じ取る。3、自分や他の人の優れた点や長所を、高く評価することができる。4、成人の助けのもと、自分の情緒を抑制し、調整することができる。5、自分の成長や変化を見て、それを喜ぶことができる。6、進んで計画し、目標を持って自分の生活をおくる。7、心の中に模範となるものを持ち、自分を励まし、絶え間なく進歩する。8、学習や生活の中で問題に遭遇した時、進んで解決の方法を考える。9、勇気をもって挑戦的な活動を試み、苦しさを怖れず、たとえ難しくても、臆病にならない。

「責任を負い、思いやりを持って生活する」とし、以下の7点をあげる。1、誠実である。2、忍耐強さを持つ。3、自分の任務を全うし、学級の榮譽を大切にす。4、両親や年長者を愛し、進んで家事労働を行う。5、秩序をわきまえ、礼儀正しく振舞う。6、学校の規律を遵守する。7、公共物や他の人の労働の成果を大切にし、資源を節約する。8、故郷の発展や変化に関心を持つ。9、環境保護のためにできることをする。10、国旗や国章を敬い、国歌を歌うことができ、人民の英雄を尊敬し、自分が中国人であることに誇りを感じる。

『品德与生活』では、自分を中心として、親・学校・故郷・祖国へと対象を生活圏の拡大に対応して同心円状に広げながら、対象を「愛」し、積極的に関わっていくこと、さらに対象に対して責任を持つ態度を培おうとしていると読み取れる。

Ⅱ. 『品德与社会』（6・3制：3-6年、5・4制：3-5年）

『品德与社会』は「品德・行為規範・法制教育、愛国主義・集団主義・社会主義教育、国情・歴史・文化教育、地理・環境教育などを有機的に結び付け」「学生の良好

な品徳形成と社会性発展を促す総合課程」であり、「自分の経験や情感、能力、知識を豊かに発展させ、自分と他人、社会に対する認識と理解を深め」、道徳観や価値観、道徳判断能力を形成し、「社会主義に適合した公民」の基礎を構築することを目的としている。

課程の目標には、①自らを尊び、楽観的に向上し、科学を愛し、労働を愛し、勤勉で儉約する態度、②公平公正であり、集団を愛し、責任感のある品性、③民主・法制観念と規範意識、④祖国愛と国際意識、⑤生態環境保護意識の形成が価値項目として並ぶ。

課程の内容標準は、<一、私は成長している><二、私と家庭><三、私と学校><四、私と故郷（地域）><五、私は中国人><六、世界に近づく>と、子どもの意識を自分から家庭、学校、地域、祖国、世界へと地理認識を拡大する形で記述する。自己意識の形成に関わる部分を以下に記す。（数字は「内容標準」に記述されたもの。授業活動案が提示されているものは、各項目の下に記す。）

<一、私は成長している>

1、自分の特徴を知り、自分の優れたところを伸ばし、自信を持つ。人にはそれぞれ長所があることを知り、長所を伸ばし、短所を補い、他の人を高く評価し、尊重することができるようになる。人に対して寛容になる。

*授業活動案：「身近な同級生の長所を探す」や「私はできる」等の活動を展開する。生活の中で人に寛大に接する話を探し集める。嫉妬により良くない結果が生じる事例を調べる。

2、人と協調していくためには、自尊（自らを尊重すること）や自愛（自らを大切にすること）が必要で、羞恥心を持ち、自分の名誉を大切にすることを心得る。自己の生活や行為を反省することを学ぶ。

*授業活動案：実例を結び合わせ、善悪、美醜、榮譽と恥辱等をはっきり区別し、是非を弁別し分析する活動を行う。

3、生活や学習の中には困難があり、困難に遭遇しても委縮せず、困難を克服する体験をして、成功の喜びを得ることを知る。積極的に向上しようとする生活態度を形成する。

*授業活動案：自分や他の人が困難を克服した実際の事例を話し、相互に交流する。

4、生活の中の問題やプレッシャー、衝突、挫折に適切に対処することを学習し、自我を調節する方法を学習し、適応能力を高める。

*授業活動案：自分がプレッシャーや衝突、挫折を経験した時の考え方や態度を思い出し、グループで各自の経験や体験を話し合う。衝突した状況を役割演技し、グループやクラスで評価分析する。

5、人と協調していくためには、誠実であり、約束を守らなければならないことを理解し、体験し、人を尊重することができるようになる。

*授業活動案：自分の生活の中の事例と結び付け、自分が尊重された時の気持ちを話し合う。社会生活の中で誠実で約束を守ることに関する事例を収集し、比較分析する。

<二、私と家庭>

1、自分の成長は家庭と切り離せないことを知り、両親、祖父母に育ててもらっている恩を感じ、家庭の中における肉親の情を感じ取る。家族に対してふさわしい方法で感謝や尊敬、関心を表現し、親や祖父母に孝行する。

*授業活動案：両親や祖父母に対して、彼らのおかげで自分が成長していることをわかってもらう。関係のある祝日や記念日と結び付け、手紙を書いたり、そのほかの方法を使ったりして、両親や祖父母などに感謝の気持ちを表す。また、印象に残っている親や祖父母への孝行の物語を語る。

2、自分の生活をきちんと管理し、できる限り両親に迷惑をかけないようにし、家庭生活に関心をもち、すすんで家事を分担し、ある程度において、家庭に責任を持つ。
*授業活動案：日常生活の中の両親が苦勞して懸命に働いていることを観察し、体験し、自分が負担できる家事労働を選んで、やり続ける。

3、家庭の収入が多種にわたることを知り、家庭生活に必要な支出を理解する。合理的消費と勤勉儉約を学習する。

*授業活動案：両親に質問して、彼らが従事している仕事や家庭の収入、支出の状況を理解する。

5、家庭生活の中で、道徳を重んじ、家庭に責任を持つことが大切で、家族で相互に意思の疎通をはかり、平等に待遇すべきであることを理解し、自分と家族の間で生じた問題を正しく処理できるようになる。

*授業活動案：「両親、祖父母との意思疎通をはかろう」という主題の活動を展開し、両親や祖父母と一緒に参加してもらおう。穏やかな態度や正しい方法を用いて、どのようにして両親祖父母との間に生じた問題を処理して言ったらよいか討論する。

<三、私と学校>

3、同級生間の友情を感じ取り、同級生との平等な付き合いや相互の助け合いができるようになる。

*授業活動案：同級生間で相互に関心のあることや自分の気持ちを話し合う。また同級生間でよくある摩擦や衝突について、状況を設定し、解決する方法を話し合う。

4、誠実な付き合いや相互理解、信用を重んじることの尊さを体験する。同級生や友人間で本当の友情を築き、男女の同級生間の友好的な付き合いや相互に尊重することをわきまえる。

6、自分は集団の中の一員であることを知り、集団に対して関心を持ち、集団活動に参加し、集団の榮譽を維持し守り、自分が引き受けた任務に責任を負う。人との交流や協力ができ、喜びを分かち合う。

*授業活動案：同級生と一緒に協力して一つのことを完成させ、学級内で自分の体験や感想を話し合う。

<四、私と故郷（コミュニティ）>

4、周囲の異なる業種の労働者を観察し、彼らの労働が人々の生活を便利にしていると感じ取り、彼らを尊重し、感謝し、彼らの労働の成果を大切にす。

*授業活動案：身近な労働者を観察或いは訪問し、彼らの労働の状況を調べ、相互に交流する。

8、公共の秩序を守ることを自覚し、公共安全に注意する。礼儀正しい、教養のある人になる。

*授業活動案：日常生活の中で、公共の場所での公共秩序の状況や人々の話の内容や言い方、ふるまい、行動の仕方などを観察し、自己で評価する。

<五、私は中国人>

3、我が国は数千年の歴史を持つ文明的な古い国であることを知り、中華民族の世界文明に対する重大な貢献を感じ取り、民族の誇りと自信を芽生えさせる。

*授業活動案：我が国の歴史上重大な発明や重要文化遺産を映した映像を見たり、関係ある資料を収集したりして報告会を行う。我が国の労働者たちの聡明才知や発明創造を具体的に表す物語について語る。

4、近代以降の列強の中国に対する侵略が中国人民に与えた屈辱と危害を知り、中国人民、なかでも中国共産党の指導者のもとで国家を滅亡から救い存続を図った戦いの事例を知り、革命の先人を敬愛し、奮って国家の富強を図る愛国の志を打ち立てる。

*授業活動案：条件が整う地域では、歴史博物館を参観してもよい。また、関係する映像を見たり、日本に抗し、滅亡から救った歌曲を学んで歌ったりする。

5、新中国の成立と改革開放以降に得た成果を知り、中国共産党に対する熱愛を深める。

*授業活動案：実物や写真を採集し、保護者などの大人に取材したうえで、生活の変化や祖国発展の変化を反映した小展示を行う。

6、人民解放軍が祖国を防衛し平和を維持する重要な力であることを知り、解放軍を熱愛する。

7、我が国は一つの統一した多民族国家であることを知る。異なる民族の生活習慣と風土人情を知り、異なる民俗文化を理解し尊重し、民族の団結を深める。

*授業活動案：代表的な民族文化の実例（例：伝統的な祝祭日、歌曲、民間伝説、歴史物語、服飾、建築、飲食等）を選択、列挙し、展示して交流する。

<六、世界に近づく>

3、いくつかの国と地域と民族の生活習俗や伝統的な祝祭日、服飾、建築、飲食等の異なる様子を比較し、多種の文化の違いや豊かさについて知り、異なる民族や異なる文化の創造に対し、尊重し敬意を表する態度を持つ。

*授業活動案：グループに分かれてテーマを選択し、ある国家或いは地域の人々の特色ある生産や生活方式の資料を収集し、様式ごとに整理した後、学級全体で紹介する。自分が探出した世界の異なる文化や習俗に関する図版、切手、はがき等を同級生と交流する。

6、環境の悪化、人口の急激な増加、資源の欠乏は現在世界が直面している共同の問題であることの初歩を理解し、人と自然、人と人が調和して共存することの重要性を理解し、「人類はただ一つの地球をもつ」に含まれる意味を感得する。

*授業活動案：グループに分かれて、異なるテーマを選び、資料を採集し、切抜き帳を作成し、小展示会を行い、交流する。さらに、授業活動として「良好な品德形成と社会性発展を促進する総合課程」を実現するために、

調査・閲読・体験・探究・思考・討論・発表・制作などの活動が提示されている。

Ⅲ. 『思想品德』（6・3制：7-9年、5・4制：6-9年）

『思想品德』は、中学段階を「思想品德と価値観を形成するうえで重要な時期」と位置づけ、以下の特長をあげる。1、思想性：マルクスレーニン主義、毛沢東思想、鄧小平理論と「三つの代表」を重要思想とし、愛国主義と集団主義により、中国の特色ある社会主義の共同理想を樹立し、正確な世界観、人生観、価値観を形成する。2、人文性：民族精神と優秀な文化を培い、積極的に進歩向上を求める態度や粘り強い意志、団結して協力する精神を育成する。3、実践性：生活経験や社会实践と結び付け、正確な思想観念と良好な道徳品性の形成と発展を促進する。4、総合性：成長している自分、自分と他人、自分と集団や国家という関係を主軸にして、道徳や心理健康、法律や国情などの多方面の学習内容を有機的に結びつける。

課程の目標には、① 命を愛し、自分を大切にし、自分を信じ、楽観的に向上し、意志を強固にする。② 親孝行をし、他の人を尊重し、喜んで人を助け、誠実で約束を守る。③ 集団を愛し、責任感を持ち、競争の意識と団結して協力し、奉仕する精神をもつ。④ 社会主義の祖国を愛し、平和を愛し、世界に目を向ける、などの価値項目が並ぶ。

内容標準は以下のような構成となっている。

<一、成長している私>

(1) 自分を認識する：自己を正確に認識し、生理的な変化を受け入れ、青春期の真理を認識する。情緒を整え、自分をコントロールすることを学び、困難や挫折を受け入れ環境に適応する能力を養い、楽観的に向上する精神態度を形成する。客観的に自己を評価し、健全な人格や良好な品性を培う。

(2) 自尊・自強：生命の尊さを体得し、生活を愛する。自尊・自立・自強の精神を培う。是非を分別し、自分の行為に責任を負うことを学ぶ。

(3) 法を学び、法を用いる：法律は特殊な行為規範であることを知り、法律の社会生活における働きを理解する。我が国の法律は、未成年者を特別に保護しているこ

とを知り、

法律を運用し合法の權益を擁護することを学ぶ。我が国の法律は未成年者の犯罪予防を規定していることを知り、自己防犯意識を強化する。

<二、私と他人の関係>

(1) 付き合いとコミュニケーション：基本的な交際のマナーを身に付け、人との付き合いやコミュニケーションを学ぶ。人とうまく協力し、努力して良好な人間関係を築く。

(2) 付き合いにおける品徳：親孝行をし、誠実で約束を守ることが人と協調していくうえでの基本であることを知り、父母や年長者を敬い、誠実な人になる。人を理解し、思いやり、尊重し、包容することを学び、喜んで人を助ける。

(3) 権利と義務：憲法や法律が公民の権利や義務を規定していることを理解し、正しく権利を行使し、義務を履行できる。

<三、私と集団や国家、社会との関係>

(1) 積極的に社会の発展や進歩に適応する：成長する社会環境を認識し、生活適応能力を高める。個人と集団の関係を認識し、祖国の発展や命運に関心を持つ。

(2) 社会の責任を担う：公平は社会の安定に利することを知り、公平意識を樹立する。

(3) 法律と社会秩序：法治国家である我が国の方略を知り、法律意識を強める。法律が社会秩序の維持のために重要な作用を果たしていることを認識し、法律の權威を維持し保護する自覚を持つ。

(4) 国情を認識し、我が中華を愛する：改革開放以来、我が国が得た巨大な成果を感じ取り、中国共産党を熱愛する情感を強化する。全面的な小康社会建設の奮闘目標及びその過程を理解し、中華民族の偉大なる復興に貢献する力と使命感を強化する。民族精神を培い、大いに発揚し、当代青年の社会的責任を認識し、中国の特色ある社会主義の共同理想を樹立し、祖国に奉仕する志を打ち立てる。

『思想品德』は、マルクスレーニン主義、毛沢東思想、鄧小平理論と「三つの代表」を重要思想とした中国共産党の教育方針を全面的に貫徹した内容となっており、中華民族の偉大なる復興に貢献する人材の精神的礎を強固に築き上げる構成となっている。「課程標準（2011年

版)」で内容に若干の改訂が行われ、「社会主義の核心の価値体系」へ導き、科学的発展観を重要思想に加え、中国共産党の教育方針を全面的に貫徹するという方針が強化された。

²⁹ 中华人民共和国教育部（2015）〈教育部办公厅关于2015年中小学教学用书有关事项的通知〉教基二厅[2015]1号。

<http://www.moe.edu.cn/publicfiles/business/htmlfiles/moe/s5972/201503/185287.html>（2016/4/10 閲覧）。

石鸥・吴小鸥（2015）《简明中国教科书史》知识产权出版社、pp. 276-292。

³⁰ 中共中央国务院（2010）《国家中长期教育改革和发展规划纲要（2010-2020年）》人民出版社。

³¹ 中华人民共和国教育部（2012a）《义务教育 品德与生活课程标准（2011年版）》北京师范大学出版社。中华人民共和国教育部（2012b）《义务教育 品德与社会课程标准（2011年版）》北京师范大学出版社。中华人民共和国教育部（2012c）《义务教育 思想品德课程标准（2011年版）》北京师范大学出版社。

³² 新华网（2013年2月21日）〈教育部关于印发《初中思想品德课和高中思想政治课贯彻党的十八大精神的教学指导建议》的通知〉 http://education.news.cn/2013-02/21/c_124373472.htm（2016/4/30 閲覧）。

³³ 新疆ウイグル自治区に関しては新疆维吾尔自治区中小学教科书征订单 <http://www.docin.com/p-831137130.html> と新疆维吾尔自治区中小学教科书征订单 <http://www.doc88.com/p-2972990922376.html> を参照（2016/4/30 閲覧）。内モンゴル自治区に関してはオルドス市の新華書店にて、西藏自治区に関しては拉薩市の新華書店において2016年8月に聞き取りを行った。

³⁴ 肖群忠（2014）〈谈仁德〉《中国德育》2014年14期，明德讲堂 pp. 33-37。

肖群忠（中国人民大学哲学院教授）は、「愛」は私たちの生活の中で最もよく使われる語彙であり、儒家学説の範疇や徳目で表現すれば、それは「仁」であると述べている。

³⁵ 註10の表1で示した通り、2002年以降に普及していった教科書で自己肯定感育成の基本となる価値「自尊・自愛」「自立・自強」は、1999年版の小学道徳教科書『思想品德』にも徳目として掲げられている。1999年

版の「自尊・自愛」の内容を見ると、「うぬぼれていい気になると、自分が損害を蒙ることになり、謙虚で慎重であることが自分に利益をもたらす」とし、自重することをまず挙げ（第9冊 p.1）、「荣誉を得た時に絶対にうぬぼれていい気にならない。慢心は繼續して前進する動力を失わせ、他人を侮る。これは、自分の進歩の妨げになるだけでなく、他人との関係にも影響を与える」「謙虚は人としての美德であり、慢心は無知の表れである」（p.3）とする。また、「名誉は人にとっての第2の生命である」とし「私たちは命を大切にすると同じように、自分の名誉を大切にしなければならない」（第10冊 p.2）とし、『品德と社会』に比べ、謙虚さと名誉を大切にすることが強調されている。また、第11冊の冒頭には、現在も雷鋒精神として知られ模範的英雄である雷鋒の言葉「生きる目的はただ一つ、人民にとって有用な人になることである - 雷鋒」を掲げ、さらに本文の冒頭には、有名な教育者である陶行知の言葉を掲げ、「自立とは自分の労働によって生活し、他人に頼らないことであり、自強とは、現状に甘んじることなく、一生懸命に励み、進歩向上を求め、自分の努力によって不断に向上することである」（p.3）と説明する。

1999年版人教版『思想品德』と比較すると、2001年の教育改革により2002年以降普及していった『品德と生活』『品德と社会』は、謙虚さよりも、自分を大切にし、自分を誇りとし、自分はできると信じることで、より自己を肯定的に捉えることに比重が置かれている。

³⁶ 習近平（2014）p.200。

³⁷ 習近平（2014）p.51。習近平に至るまでの流れは、以下ようになる。1840年のアヘン戦争から始まる屈辱の歴史の中で、1894年に孫文が「中華の振興」という言葉を初めて打ち出した。1949年屈辱の歴史に勝利し中国共産党による新中国が誕生し、「中華の振興」は1980年代の中国で最もポピュラーな政治スローガンとなった。その後1993年に国家主席となった江沢民は「振興」に代わって「復興」という言葉を使い、新たなキャッチフレーズ「中華民族の偉大なる復興」を掲げ「党の教育方針を全面的に貫徹して、教育が社会主義現代化建設に奉仕し、人民に奉仕するよう努めること」とし、教育を「優先的発展の戦略的重点に位置づけるべき」（江沢民、2012、pp.362-371）と述べ、そ

の中でも思想・モラル教育を重視した。2003年に国家主席となった胡錦濤は「中華民族の偉大なる復興」は共産党の歴史的使命であると言明し、政治報告で「改革と開放は中華民族復興の唯一の道」であり、「教育が民族復興の礎石」であるとし、「科学的発展観」や「社会主義榮辱観」（「八榮八辱」）を打ち出し、「マルクス主義の中国化したざん新な成果をもって全党を武装し、国民を教育することをたゆむことなく堅持し、中国の特色のある社会主義の共通の理想をもって力を結集し、愛国主義を核とする民族精神および改革・革新を中核とする時代精神をもって闘志を励起し、社会主義の榮辱観をもって気風を導き、全党、全国各民族人民が団結奮闘してきた共通の思想的基盤を打ち固める必要」を説き、「中国の特色のある社会主義理論体系の宣伝・普及活動を展開し、現代中国のマルクス主義の大衆化を促」し、「イデオロギー面の活動を能動的におこない、差異を尊重し、多様性を受容する一方、いろいろの誤った思想や腐り果てた思想の影響を力強く食い止める」（胡錦濤、2007、p.29）と強調した。2013年に国家主席となった習近平は、「中華民族の偉大な復興を実現することこそが、中華民族が近代以来抱き続けてきた最も偉大な夢である」と述べ、「中国の夢」を打ち出し、「二つの百年奮闘目標」を掲げる。

³⁸ 中华人民共和国教育部（2002b）p. 1。

³⁹ 華東師範大学沈曉敏教授の協力を得て、中国浙江省寧波市の中学2年生131人に対し提示語を<榮譽>として連想調査を行った。その結果を概括すると、生徒にとって、<榮譽>とは、試合（「比赛」：16.0%、その他の試合：6.1%）や試験（「考试」：10.4%）で、努力（「努力」：19.8%）、奮闘（「奋斗」：6.8%）して勝ち取る（「争取」：3.8%）成功（「成功」：12.1%）であり、また、その結果得られるトロフィー（「奖杯」：13.7%、その他のトロフィー：16.0%）やメダル（「奖牌」：9.2%、その他のメダル：12.2%）であり、賞状（「奖状」：19.8%）や賞品（「奖品」：5.3%）であり、100点（「100分」：3%）や三好学生（「三好生」：3.8%）の称号であることがわかった。

⁴⁰ 蒲池文恵・上藺恒太郎（2016）「中華人民共和国の道

徳教科書における戦争と平和」『道德教育方法研究』第21号、pp.1-10。

⁴¹ 中华人民共和国教育部（2003）p. 9。

⁴² 中华人民共和国教育部（2012c）p. 11。

⁴³ 教育部基础教育课程教材专家工作委员组织编写（2012）《义务教育思想品德课程标准（2011年版解读》高等教育出版社、p. 79。

⁴⁴ 钟毅平他（2014）<自我肯定对自尊及自我评价的影响>《中国临床心理学杂志》2014年3期、pp. 390-393。

⁴⁵ 何垚・黄希庭（2012）<自我肯定的潜在机制与影响因素>《西南大学学报（社会科学版）》2012年2期、pp. 53-61。

⁴⁶ 张力为・张连成（2013）<自我损耗的控制：竞技运动领域的研究与应用>《体育科学》2013年6期、pp. 3-13。

⁴⁷ 阳海英他（2015）<认知失调与大学生运动员自我损耗：自我肯定的预防作用>《体育科学》2015年05期、pp. 29-37。

⁴⁸ 庄可（2005）<自我效能感在心理素质优化中的作用及强化策略>《现代中小学教育》2005年12期、pp. 52-54。

曹珺玮（2013）<自我效能理论及其对学校道德教育的启示>山东师范大学 教育学原理，中国优秀硕士学位论文全文数据库。明文・张振新（2011）<积极自我暗示对高三学生自我效能感的影响>《中小学心理健康教育》2011年6期、pp.13-15。徐惠（2007）<心理暗示对高一学生数学学业自我效能感的影响>首都师范大学 课程与教学论，中国优秀硕士学位论文全文数据库。刘岚（2009）<心理暗示对大学生英语学习自我效能感的影响>西南大学 英语语言文，中国优秀硕士学位论文全文数据库。陈婷・孟斌（2015）<心理暗示对大学生英语口语自我效能感的影响>《河北广播电视大学学报》2015年1期、pp. 84-86。

⁴⁹ 中华人民共和国教育部（2002b）p. 1。

⁵⁰ 义务教育思想品德课程标准修订组编（2012）《义务教育思想品德课程标（2011年版）解读》北京师范大学出版社 pp. 47-50。

⁵¹ 習近平（2014）p.53。

⁵² 肖群忠（2004）<论自爱>《道德与文明》第4期、pp. 17-22。

⁵³ 韩传信（2005）<论青少年自爱教育>《安徽教育学院学报》，第23卷第4期、pp. 95-98。

⁵⁴ 上藪恒太郎・森永謙二（2013）p.4。「単純化」として記述。

⁵⁵ 習近平（2014）p.36。

⁵⁶ アレンド・レイプハルト（2014）『民主主義対民主主義 多数決型とコンセンサス型の 36 カ国比較研究（原著第 2 版）』粕屋祐子、菊池啓一訳、勁草書房。

アレンド・レイプハルトは、日本がコンセンサス型民主主義だという。

⁵⁷ 中華人民共和国教育部（2015）〈教育部关于印发《中小学学生守则（2015 年修订）》的通知〉教基一[2015]5 号。

http://www.moe.gov.cn/srcsite/A06/s3325/201508/t20150827_203482.html（2016/4/30 閲覧）。

⁵⁸ さらに、2014 年 9 月、国務院から「大学入試制度改革実施に関する意見」が発表され（中央政府门户网站 国務院印发《关于深化考试招生制度改革实施意见》

http://www.gov.cn/xinwen/201409/04/content_2745653.htm）、大学入試（中国語：高考）制度改革の実施

が発表された。「中国の特色ある社会主義の偉大な旗幟を掲げ、鄧小平理論、『三つの代表』重要思想、科学的發展觀を指針とし、党の基本方針を全面的に貫徹し、徳育を重視した教育を堅持し、経済社会發展に適応した多様な高い素質を持つ人材の必要に応え」「人材資源強国建設を保障」し「『二つの百年』奮闘目標と中華民族の偉大なる復興という中国の夢を実現するために強力な人材」を提供することを改革の指導思想に掲げる。この改革における最大の改変は、高校学業水準試験（中国語：高中学業水平考试）を大学入試の評価に加えることである。大学入試の総合成績は、統一大学入学試験（国語・数学・外国語）の点数に、高校学業水準試験（思想政治・歴史・地理・物理・科学・生物の 6 科目の中から受験生が選択した 3 科目の成績）を加え総合点数とする 3+3 制度の実施、さらに高校における総合素質評価が大学入試の参考にされることになった。上海と浙江省を試点として、2017 年の大学入試から実施される（楊東平、2015、p.2）。高校学業水準試験に「思想政治」が加わり、高校における総合素質評価を大学入試の参考とすることになった。

大学においても思想政治教育は重要視されており、

「マルクス主義理論と建設工程」重点教材『マルクス主義基本原理概論』『毛沢東思想と中国の特色ある社会主義理論体系概論』『思想道德修養と法律基礎』『中国近現代史綱要』が使用されているが、実効性が問題視されてきた。2015 年 2 月 12 日、教育部は《教育部 2015 年工作要点》の通知を行い、大学における思想政治教育が強化され、教材が改訂され《2015 年修订版》が出版された。（2016 年 12 月には、国家主席習近平が、教育分野の掌握強化の一環として、大学に共産党への忠誠を求める方針をあらためて示した。）

また、言論や思想の統制の動きとして、2015 年 7 月 1 日、全国人民代表大会常務委員会で「国家安全法」（第 1 条：国家の安全を守り、人民民主専制の政權と中国の特色ある社会主義制度を防衛し、人民の根本の利益を守り、改革開放と社会主義現代化建設を順調に推し進め、中華民族の偉大なる復興を実現するために本法を制定する）と「憲法宣誓制度」を發布し、毎年 4 月 15 日を「全民国家安全教育日」とすることを決定した。2016 年 4 月 15 日初めての「全民国家安全教育日」を迎え、中国中央電視台などのメディアを通して、国家と人民の安全を守る必要性が強調され、2014 年 11 月 1 日に第 12 回全国人民代表大会常務委員会第 11 次会議で決定された「中華人民共和国反間諜法（反スパイ法）」について解説し、大学では学習会が行われるなど、学校教育の現場でも、関連する様々な取り組みが行われた。

以下の web サイトなどを参照。

法律图书馆

http://www.lawlib.com/law/law_view.asp?id=506526

中華網（2016. 4. 15）〈4. 15 全民国家安全教育日〉

<http://news.china.com/focus/gjaqjyr/>

新民主網（2016. 4. 16）〈首个全民国家安全教育日 高校学生学习反间防谍〉

<http://news.xinmin.cn/shehui/2016/04/16/29852153.html>

鳳凰網（2016. 4. 16）〈河北开展首个“全民国家安全教育日”宣传活动〉

http://news.ifeng.com/a/20160416/48478399_0.shtml（2016/4/17 閲覧）。

⁵⁹ 中華人民共和国教育部（2016）〈教育部办公厅关于

2016 年中小学教学用书有关事项的通知〉教基二厅函 [2016]12 号。

http://www.moe.edu.cn/srcsite/A26/moe_714/201604/t20160428_241261.html (2016/5/30 閲覧)。

⁶⁰ 教育部 司法部 全国普法办关于印发 (2016)《青少年法治教育大纲》的通知。

http://www.gov.cn/xinwen/201607/18/content_5092493.htm (2016/9/30 閲覧)。

2016 年 6 月 28 日公布的中国「青少年法治教育大纲」小学段階の教学内容を記しておく。

* 小学校低学年 (1-2 学年)

1. 国家の象徴および標章を知る。
2. 国家・国籍・公民の概念を初歩的に形成し、家族関係における法律認識の初歩を形成する。
3. 規則意識の初歩を形成し、規則の遵守、公正な競争、規則の公平の意義と必要を初歩的に理解する。
4. 法の前にすべての人が平等であるという理念を初歩的に形成する。
5. 消防安全に関する知識、基本的な交通規則を理解し、利用可能な公共サービスの電話を知る。
6. 自然を初歩的に理解し、動植物を大切にし、資源節約・環境保護のためにできる限りのことをする。

* 小学校中高学年 (3-6 学年)

1. 憲法の法的地位と権威の初歩的な認識を形成する。人民代表大会制度を理解し、主要な国家機関、国家主権と領土を初歩的に分かり、国防の意義を認識し、民族団結の意識を強化する。
2. 公民の基本権利と義務を初歩的に理解し、重要な民法上の権利の概要を知り、法律が未成年者を特別に保護していることを知る。権利行使の規則を初歩的に理解し、法による権益保護の意識を樹立し、権利があれば義務があるという理念を確立し、学校におけるいじめ行為の認識と防衛の意識を形成する。
3. 規則の作成が一定の順序によるべきであることを知り、規則意識をさらに深め、公共生活の規則を遵守する。契約と契約行使を初歩的に理解し、誠実に約束を履行することや友好的であることの価値と意義を理解する。
4. 消費者権益保護・道路交通・環境保護・消防安全・禁止薬物・食品安全などに関する常用法律の基本

規則を初歩的に理解する。

5. 未成年者が理解でき、よく見られる違法行為や犯罪行為及びその危害と負うべき法的責任を初歩的に認識する。
6. 司法制度を初歩的に理解し、裁判所・検察庁・弁護士の機能と役割を理解する。
7. わが国が加入する重要な国際組織と国際条約を知る。

参考文献

1. 日本語文献 (アルファベット順)
アンドレ・クリストフ&ルロール・フランソワ (2012) 『自己評価の心理学 Le' stime de soi』 紀伊國屋書店。
アレンド・レイプハルト (2014) 『民主主義対民主主義 多数決型とコンセンサス型の 36 国比較研究 (原著第 2 版)』 粕屋祐子・菊池啓一訳、勁草書房。
武小燕 (2013) 『改革開放後中国の愛国主義教育 社会の近代化と徳育の機能をめぐって』 大学教育出版。
倪冬岩 (2007) 「中国における道德教育の動態」 『現代社会文化研究』 No38、pp.115-132。
榎本博明編著 (2011) 『自己心理学の最先端—自己の構造と機能を科学する』 あいり出版。
梶田叡一 (2005) 『教師・学校・実践研究—人間教育の基盤を創る』 金子書房。
蒲池文恵・上藺恒太郎 (2016) 「中華人民共和国の道德教科書における戦争と平和」 『道德教育方法研究』 第 21 号、pp.1-10。
上藺恒太郎 (2015) 「子どもを支える道德授業の必要」 『教育哲学研究』 第 112 号、pp.130-150。
上藺恒太郎 (2011) 『連想法による道德授業評価 教育臨床の技法』 教育出版。
上藺恒太郎・蒲池文恵 (2016) 「中華人民共和国の道德教科書にみる戦争と平和—教科書を通じた統合—」 『長崎総合科学大学紀要』 第 55 巻 第 2 号、pp.81-82。
上藺恒太郎・森永謙二 (2013) 「自己肯定感を育てる道德授業 - 共同で学ぶ思いやり -」 長崎大学教育学部紀要 教育科学第 77 号、pp.1-18。
胡錦濤 (2007) 『中国共産党第十七回全国代表大会にお

- ける報告』。
- 江沢民（2012）『江沢民文選第二巻』（中共中央マルクス・エンゲルス・レーニン・スターリン著作翻訳編集局訳）外文出版社。
- 仲田陽一（2014）『知られざる中国の教育改革—超格差社会の子ども・学校の実像』かもがわ出版。
- 習近平（2014）『習近平 国政運営を語る』（日本翻訳組訳）外文出版社。
- 沈曉敏（2005）「中国の道徳・社会科の再編成における『公民意識』『公共意識』の形成—『品徳と社会』教科書（上海）を中心に—」『東京大学大学院教育学研究科紀要』第45巻、pp.257-266。
- 園田茂人・新保敦子（2010）『教育は不平等を克服できるか』岩波書店。
- 那楽（2015）「中国の小学校低学年における道徳教育の変容—『思想品德』から『品徳と生活』への転換に着目して—」『道徳と教育』第333号、pp.17-30。
- 那楽（2016）「中国の小学校における道徳教育の評価法の変容—2001年の基礎教育課程改革の転換期に着目して—」『道徳教育方法研究』第21号、pp.41-50。
- 牧野篤（2006）『中国変動社会の教育—流動化する個人と至上主義への対応』頸草書房。
- 文部科学省（2008）『小学校学習指導要領解説総則編』東洋館出版社。
- 文部科学省（2015）「特別の教科 道徳」の教科書検定について（報告）。
- 山田美香（2012）「中国における道徳教育と社会科の合科」『名古屋市立大学大学院人間文化研究科 人間文化研究』第17号、pp.99-110。
- 2、中国語文献（中国語ピンインをアルファベット順に配列）
- 鲍传友（2010）《教育公平与政府责任》北京师范大学出版社。
- 本书编写组（2015）《马克思主义基本原理概论（2015年修订版）》高等教育出版社。
- 本书编写组（2015）《毛泽东思想和中国特色社会主义理论体系概论（2015年修订版）》高等教育出版社。
- 本书编写组（2015）《思想道德修养与法律基础（2015年修订版）》高等教育出版社。
- 本书编写组（2015）《中国近现代史纲要（2015年修订版）》高等教育出版社。
- 曹珺玮（2013）〈自我效能理论及其对学校道德教育的启示〉山东师范大学 教育学原理，中国优秀硕士学位论文全文数据库。
- 陈婷・孟斌（2015）〈心理暗示对大学生英语口语自我效能感的影响〉《河北广播电视大学学报》2015年1期，pp.84-86。
- 陈莹（2010）〈自尊，自信，自强，自豪理性爱国的四个境界〉《金陵科技学院学报（社会科学版）》第24卷第3期，pp.41-44。
- 韩传信（2005）〈论青少年自爱教育〉《安徽教育学院学报》，第23卷第4期，pp.95-98
- 何焱・黄希庭（2012）〈自我肯定的潜在机制与影响因素〉《西南大学学报（社会科学版）》2012年2期，pp.53-61。
- 胡慧敏（2014）〈论思想政治教育的自觉，自信，自强〉湖南师范大学 思想政治教育，中国优秀硕士学位论文全文数据库。
- 基础教育教学研究课题组编（2015）《小学品德与生活（社会）教学指导》高等教育出版社。
- 教育部基础教育课程教材专家工作委员组织编写（2012）《义务教育品德与社会课程标准（2011年版解读）》高等教育出版社。
- 教育部基础教育课程教材专家工作委员组织编写（2012）《义务教育品德与生活课程标准（2011年版解读）》高等教育出版社。
- 教育部基础教育课程教材专家工作委员组织编写（2012）《义务教育思想品德课程标准（2011年版解读）》高等教育出版社。
- 教育部基础教育司组织编写（2002）《走进新课程—与课程实施者对话》北京师范大学出版社。
- 刘岚（2009）〈心理暗示对大学生英语学习自我效能感的影响〉西南大学 英语语言文学，中国优秀硕士学位论文全文数据库。
- 马冰星・林建成（2012）〈道德双重人格和道德重建〉《学术探索》No.1，pp.26-29。
- 明文・张振新（2011）〈积极自我暗示对高三学生自我效能感的影响〉《中小学心理健康教育》2011年6期，pp.13-15。

- 沈嘉祺（2006）＜论道德教育中的自爱＞《湖南师范大学教育科学学报》第5卷第2期，pp.5-12。
- 上海市教育委员会（2004）《上海市小学品德与社会课程标准（试行稿）》上海教育出版社。
- 石鸥・吴小鸥（2015）《简明中国教科书史》知识产权出版社。
- 王晓莉（2012）＜为了儿童道德成长的德育教材建设——基于五种版本《品德与社会》教科书的比较＞《思想理论教育》2012年10期，pp.31-35。
- 肖群忠（2004）＜论自爱＞《道德与文明》第4期，pp.17-22。
- 肖群忠（2014）＜谈仁德＞《中国德育》2014年14期，明德讲堂，pp.33-37。
- 徐惠（2007）＜心理暗示对高一学生数学学业自我效能感的影响＞首都师范大学课程与教学论，中国优秀硕士学位论文全文数据库。
- 阳海英他（2015）＜认知失调与大学生运动员自我损耗：自我肯定的预防作用＞《体育科学》2015年05期，pp.29-37。
- 杨东平（2015）《中国教育发展报告（2015）》社会科学文献出版社。
- 衣艳艳（2011）＜小学《品德与社会》教材比较与分析＞山东大学教育管理与教学论，中国优秀硕士学位论文全文数据库。
- 张方力・张连成（2013）＜自我损耗的控制：竞技运动领域的研究与应用＞《体育科学》2013年6期，pp.3-13。
- 钟毅平他（2014）＜自我肯定对自尊及自我评价的影响＞《中国临床心理学杂志》2014年3期，pp.390-393。
- 中共中央国务院（2010）《国家中长期教育改革和发展规划纲要（2010-2020年）》人民出版社。
- 中共中央文献研究室编（2014）《十八大以来重要文献选编（上）》中央文献出版社。
- 中国共产党中央委员会（1994）《爱国主义教育实施纲要》。
- 中国社会科学院语言研究所词典编辑室编《现代汉语词典》。
- 中华人民共和国教育部（2002a）《全日制义务教育品德与生活课程标准（实验稿）》北京师范大学出版社。
- 中华人民共和国教育部（2002b）《全日制义务教育品德与社会课程标准（实验稿）》北京师范大学出版社。
- 中华人民共和国教育部（2003）《全日制义务教育思想品德课程标准（实验稿）》北京师范大学出版社。
- 中华人民共和国教育部（2012a）《义务教育品德与生活课程标准（2011年版）》北京师范大学出版社。
- 中华人民共和国教育部（2012b）《义务教育品德与社会课程标准（2011年版）》北京师范大学出版社。
- 中华人民共和国教育部（2012c）《义务教育思想品德课程标准（2011年版）》北京师范大学出版社。
- 中华人民共和国教育部（2015）《2015 义务教育教学用书目录》。
- 中华人民共和国教育部（2016）《2016 义务教育教学用书目录》。
- 庄可（2005）＜自我效能感在心理素质优化中的作用及强化策略＞《现代中小学教育》2005年12期，pp.52-54。

3、英語文献

- Edward Vickers (2009), Selling 'socialism with Chinese characteristics,' 'thought and politics' and the legitimization of China's development strategy. *International Journal of Educational Development*, 29(5): pp.523-531.
- Kohtaro Kamizono (2008), Reticence towards Moral Lessons in Japanese Schools -Moral education at a crossroad- 『長崎大学教育学部紀要－教育科学－』第72号、pp.1-12.

＜分析に使用した中国の道德教科書＞

全て日本語で表記し、理解のために（）内に、出版社の所在地を示す。

*人民教育出版社版（北京市）

- 課程教材研究所・綜合文科課程教材研究開発中心編著
『義務教育課程標準実験教科書 品德与生活 1年級 上冊』2007年（第2版）
『義務教育課程標準実験教科書 品德与生活 1年級 下冊』2007年（第2版）
『義務教育課程標準実験教科書 品德与生活 2年級 上冊』2007年（第2版）
『義務教育課程標準実験教科書 品德与生活 2年級 下冊』2007年（第2版）
『義務教育課程標準実験教科書 品德与社会 3年級

- 上冊』2009年(第3版)
『義務教育課程標準実験教科書 品徳と社会 3年級
下冊』2003年(第2版)
『義務教育課程標準実験教科書 品徳と社会 4年級
上冊』2010年(第3版)
『義務教育課程標準実験教科書 品徳と社会 4年級
下冊』2007年(第2版)
『義務教育課程標準実験教科書 品徳と社会 5年級
上冊』2010年(第4版)
『義務教育課程標準実験教科書 品徳と社会 5年級
下冊』2009年(第4版)
『義務教育課程標準実験教科書 品徳と社会 6年級
上冊』2007年(第2版)
『義務教育課程標準実験教科書 品徳と社会 6年級
下冊』2009年(第3版)

***北京師範大学出版社** (北京市)

北京師範大学出版社 「品徳と生活」李季涓主編、「品徳と社会」高峽主編

- 『義務教育課程標準実験教科書 品徳と生活 1年級
上冊』2006年(第3版)
『義務教育課程標準実験教科書 品徳と生活 1年級
下冊』2003年(第1版)
『義務教育課程標準実験教科書 品徳と生活 2年級
上冊』2006年(第2版)
『義務教育課程標準実験教科書 品徳と生活 2年級
下冊』2003年(第1版)
『義務教育課程標準実験教科書 品徳と社会 3年級
上冊』2002年(第1版)
『義務教育課程標準実験教科書 品徳と社会 3年級
下冊』2003年(第1版)
『義務教育課程標準実験教科書 品徳と社会 4年級
上冊』2003年(第1版)
『義務教育課程標準実験教科書 品徳と社会 4年級
下冊』2008年(第2版)
『義務教育課程標準実験教科書 品徳と社会 5年級
上冊』2004年(第2版)
『義務教育課程標準実験教科書 品徳と社会 5年級
下冊』2004年(第1版)
『義務教育課程標準実験教科書 品徳と社会 6年級

- 上冊』2005年(第1版)
『義務教育課程標準実験教科書 品徳と社会 6年級
下冊』2011年(第2版)

***教育科学出版社** (北京市)

教育科学出版社 戚万学・傅国亮・劉建效 主編

- 『義務教育課程標準実験教科書 品徳と生活 1年級
上冊』2002年(第1版)
『義務教育課程標準実験教科書 品徳と生活 1年級
下冊』2003年(第1版)
『義務教育課程標準実験教科書 品徳と生活 2年級
上冊』2003年(第1版)
『義務教育課程標準実験教科書 品徳と生活 2年級
下冊』2004年(第1版)
『義務教育課程標準実験教科書 品徳と社会 3年級
上冊』2002年(第1版)
『義務教育課程標準実験教科書 品徳と社会 3年級
下冊』2003年(第1版)
『義務教育課程標準実験教科書 品徳と社会 4年級
上冊』2003年(第1版)
『義務教育課程標準実験教科書 品徳と社会 4年級
下冊』2004年(第1版)
『義務教育課程標準実験教科書 品徳と社会 5年級
上冊』2004年(第1版)
『義務教育課程標準実験教科書 品徳と社会 5年級
下冊』2004年(第1版)
『義務教育課程標準実験教科書 品徳と社会 6年級
上冊』2005年(第1版)
『義務教育課程標準実験教科書 品徳と社会 6年級
下冊』2005年(第1版)

***江蘇教育出版社** (江蘇省南京市)

江蘇教育出版社・中国地圖出版社 魯潔主編

- 『義務教育課程標準実験教科書 品徳と生活 1年級
上冊』2002年(第1版)
『義務教育課程標準実験教科書 品徳と生活 1年級
下冊』2002年(第1版)
『義務教育課程標準実験教科書 品徳と生活 2年級
上冊』2003年(第1版)
『義務教育課程標準実験教科書 品徳と生活 2年級

下冊』2003年(第1版)
『義務教育課程標準実験教科書 品德と社会 3年級
上冊』2002年(第1版)
『義務教育課程標準実験教科書 品德と社会 3年級
下冊』2002年(第1版)
『義務教育課程標準実験教科書 品德と社会 4年級
上冊』2003年(第1版)
『義務教育課程標準実験教科書 品德と社会 4年級
下冊』2010年(第3版)
『義務教育課程標準実験教科書 品德と社会 5年級
上冊』2009年(第2版)
『義務教育課程標準実験教科書 品德と社会 5年級
下冊』2010年(第2版)
『義務教育課程標準実験教科書 品德と社会 6年級
上冊』2009年(第2版)
『義務教育課程標準実験教科書 品德と社会 6年級
下冊』2005年(第1版)

*** 広東教育出版社** (広東省広州市)

広東省教学教材研究室・広東省出版集團課程教材研究中心編著

『義務教育課程標準実験教科書 品德と生活 1年級
上冊』2003年(第1版)
『義務教育課程標準実験教科書 品德と生活 1年級
下冊』2003年(第1版)
『義務教育課程標準実験教科書 品德と生活 2年級
上冊』2004年(第1版)
『義務教育課程標準実験教科書 品德と生活 2年級
下冊』2004年(第1版)
『義務教育課程標準実験教科書 品德と社会 3年級
上冊』2003年(第1版)
『義務教育課程標準実験教科書 品德と社会 3年級
下冊』2003年(第1版)
『義務教育課程標準実験教科書 品德と社会 4年級
上冊』2004年(第1版)
『義務教育課程標準実験教科書 品德と社会 4年級
下冊』2004年(第1版)
『義務教育課程標準実験教科書 品德と社会 5年級
上冊』2005年(第1版)
『義務教育課程標準実験教科書 品德と社会 5年級

下冊』2006年(第1版)
『義務教育課程標準実験教科書 品德と社会 6年級
上冊』2006年(第1版)
『義務教育課程標準実験教科書 品德と社会 6年級
下冊』2007年(第1版)

*** 遼海出版社** (遼寧省瀋陽市)

遼海出版社 鐘啓泉主編 沈曉敏副主編

『義務教育課程標準実験教科書 品德と生活 第1冊』
2005年(第2版)
『義務教育課程標準実験教科書 品德と生活 第2冊』
2002年(第1版)
『義務教育課程標準実験教科書 品德と生活 第3冊』
2003年(第1版)
『義務教育課程標準実験教科書 品德と生活 第4冊』
2003年(第1版)
『義務教育課程標準実験教科書 品德と社会 3年級
上』2003年(第2版)
『義務教育課程標準実験教科書 品德と社会 3年級
下』2003年(第1版)
『義務教育課程標準実験教科書 品德と社会 4年級
上』2005年(第1版)
『義務教育課程標準実験教科書 品德と社会 4年級
下』2004年(第1版)
『義務教育課程標準実験教科書 品德と社会 5年級
上』2005年(第1版)
『義務教育課程標準実験教科書 品德と社会 5年級
下』2004年(第1版)
『義務教育課程標準実験教科書 品德と社会 6年級
上』2005年(第1版)
『義務教育課程標準実験教科書 品德と社会 6年級
下』2004年(第1版)

*** 山東美術出版社** (山東省済南市)

山東美術出版社 李培林・韓緒金主編

『義務教育課程標準実験教科書 品德と生活 1年級
上冊』2004年(第1版)
『義務教育課程標準実験教科書 品德と生活 1年級
下冊』2004年(第1版)
『義務教育課程標準実験教科書 品德と生活 2年級

- 上冊』2005年(第1版)
『義務教育課程標準実験教科書 品徳と生活 2年級
下冊』2004年(第1版)
『義務教育課程標準実験教科書 品徳と社会 3年級
上冊』2005年(第1版)
『義務教育課程標準実験教科書 品徳と社会 3年級
下冊』2004年(第1版)
『義務教育課程標準実験教科書 品徳と社会 4年級
上冊』2004年(第1版)
『義務教育課程標準実験教科書 品徳と社会 4年級
下冊』2004年(第1版)
『義務教育課程標準実験教科書 品徳と社会 5年級
上冊』2005年(第1版)
『義務教育課程標準実験教科書 品徳と社会 5年級
下冊』2005年(第1版)
『義務教育課程標準実験教科書 品徳と社会 6年級
上冊』2006年(第1版)
『義務教育課程標準実験教科書 品徳と社会 6年級
下冊』2006年(第1版)

***首都師範大学出版社(北京市)**

北京教育科学研究所・首都師範大学出版社合編

- 『北京市義務教育課程改革実験教材 品徳と生活 1年級
上冊』2010年(第2版)
『北京市義務教育課程改革実験教材 品徳と生活 1年級
下冊』2004年(第1版)
『北京市義務教育課程改革実験教材 品徳と生活 2年級
上冊』2010年(第2版)
『北京市義務教育課程改革実験教材 品徳と生活 2年級
下冊』2005年(第1版)
『北京市義務教育課程改革実験教材 品徳と社会 3年級
上冊』2010年(第2版)
『北京市義務教育課程改革実験教材 品徳と社会 3年級
下冊』2006年(第1版)
『北京市義務教育課程改革実験教材 品徳と社会 4年級
上冊』2010年(第2版)
『北京市義務教育課程改革実験教材 品徳と社会 4年級
下冊』2010年(第2版)
『北京市義務教育課程改革実験教材 品徳と社会 5年級
上冊』2010年(第2版)

- 『北京市義務教育課程改革実験教材 品徳と社会 5年級
下冊』2008年(第1版)
『北京市義務教育課程改革実験教材 品徳と社会 6年級
上冊』2010年(第2版)
『北京市義務教育課程改革実験教材 品徳と社会 6年級
下冊』2009年(第1版)

***山東教育出版社(山東省済南市)**

山東教育出版社

- 『義務教育課程標準実験教科書 品徳と生活 1年級
上冊』2012年(第2版)
『義務教育課程標準実験教科書 品徳と生活 1年級
下冊』2013年(第2版)
『義務教育課程標準実験教科書 品徳と生活 2年級
上冊』2012年(第2版)
『義務教育課程標準実験教科書 品徳と生活 2年級
下冊』2013年(第2版)
『義務教育課程標準実験教科書 品徳と社会 3年級
上冊』2011年(第2版)
『義務教育課程標準実験教科書 品徳と社会 3年級
下冊』2013年(第2版)
『義務教育課程標準実験教科書 品徳と社会 4年級
上冊』2011年(第2版)
『義務教育課程標準実験教科書 品徳と社会 4年級
下冊』2013年(第3版)
『義務教育課程標準実験教科書 品徳と社会 5年級
上冊』2012年(第2版)
『義務教育課程標準実験教科書 品徳と社会 5年級
下冊』2013年(第2版)

***上海科技教育出版社(上海市)**

上海市中小学(幼稚園)課程改革委員会 鐘啓泉主編
沈曉敏副主編

- 『九年義務教育課本 品徳と社会 1年級第1学期(試用本)』2014年(第1版)
『九年義務教育課本 品徳と社会 1年級第2学期(試用本)』2005年(第2版)
『九年義務教育課本 品徳と社会 2年級第1学期(試用本)』2005年(第2版)
『九年義務教育課本 品徳と社会 2年級第2学期(試用本)』2005年(第2版)

用本)』2005年(第2版)
『九年義務教育課本 品德と社会 3年級第1学期(試用本)』2004年(第2版)
『九年義務教育課本 品德と社会 3年級第2学期(試用本)』2005年(第2版)
『九年義務教育課本 品德と社会 4年級第1学期(試用本)』2005年(第1版)
『九年義務教育課本 品德と社会 4年級第2学期(試用本)』2008年(第2版)
『九年義務教育課本 品德と社会 5年級第1学期(試用本)』2008年(第2版)
『九年義務教育課本 品德と社会 5年級第2学期(試用本)』2008年(第2版)

以下の「思想品德」に関しては、印刷された年度を記す。

***人民出版社版**(北京市)

教育部人文社会科学重点研究基地南京師範大学道德教育研究所編著

『義務教育課程標準実験教科書 思想品德 7年級 上冊』2010年(第2版)2010年。
『義務教育課程標準実験教科書 思想品德 7年級 下冊』2009年(第2版)2014年。
『義務教育課程標準実験教科書 思想品德 8年級 上冊』2010年(第2版)2014年。
『義務教育課程標準実験教科書 思想品德 8年級 下冊』2009年(第2版)2014年。
『義務教育課程標準実験教科書 思想品德 9年級 全一冊』2009年(第2版)2013年。

***人民教育出版社版**(北京市)

課程教材研究所・思想品德課程教材研究開発中心編著

『義務教育課程標準実験教科書 思想品德 7年級 上冊』2008年(第3版)2010年。
『義務教育課程標準実験教科書 思想品德 7年級 下冊』2008年(第3版)2010年。
『義務教育課程標準実験教科書 思想品德 8年級 上冊』2008年(第3版)2010年。
『義務教育課程標準実験教科書 思想品德 8年級 下冊』2008年(第4版)2010年。

『義務教育課程標準実験教科書 思想品德 9年級 全一冊』2008年(第3版)2012年。

***北京師範大学出版社版**(北京市)

義務教育思想品德課程標準実験教材編集組・北京師範大学出版社 編著

『義務教育課程標準実験教科書 思想品德 7年級 上冊』2007年(第2版)2008年。
『義務教育課程標準実験教科書 思想品德 7年級 下冊』2007年(第2版)2012年。
『義務教育課程標準実験教科書 思想品德 8年級 上冊』2007年(第2版)2014年。
『義務教育課程標準実験教科書 思想品德 8年級 下冊』2007年(第2版)2013年。
『義務教育課程標準実験教科書 思想品德 9年級 全一冊』2009年(第2版)2012年。

***江蘇人民出版社版**(江蘇省南京市)

江蘇省中小學教學研究室編著

『義務教育課程標準実験教科書 思想品德 7年級 上冊』2010年(第4版)2011年。
『義務教育課程標準実験教科書 思想品德 7年級 下冊』2010年(第5版)2012年。
『義務教育課程標準実験教科書 思想品德 8年級 上冊』2009年(第2版)2011年。
『義務教育課程標準実験教科書 思想品德 8年級 下冊』2010年(第4版)2011年。
『義務教育課程標準実験教科書 思想品德 9年級 全一冊』2012年(第4版)2013年。

***広東教育出版社版**(広東省広州市)

広東省教育研究院教研室・広東教育出版社課程教材研究開発中心編著

『義務教育課程標準実験教科書 思想品德 7年級 上冊』2003年(第1版)2014年。
『義務教育課程標準実験教科書 思想品德 7年級 下冊』2004年(第1版)2013年。
『義務教育課程標準実験教科書 思想品德 8年級 上冊』2004年(第1版)2014年。
『義務教育課程標準実験教科書 思想品德 8年級 下冊』2004年(第1版)2014年。

冊』2004年(第1版)2014年。

『義務教育課程標準実験教科書 思想品德 9年級 全一冊』2005年(第1版)2014年。

***湖南師範大学出版社**(湖南省長沙市)

《思想品德》教材編集グループ 編著

『義務教育課程標準実験教科書 思想品德 7年級 上冊』2003年(第1版)2013年。

『義務教育課程標準実験教科書 思想品德 7年級 下冊』2003年(第1版)2014年。

『義務教育課程標準実験教科書 思想品德 8年級 上冊』2004年(第1版)2012年。

『義務教育課程標準実験教科書 思想品德 8年級 下冊』2004年(第1版)2012年。

『義務教育課程標準実験教科書 思想品德 9年級 全一冊』2005年(第1版)2012年。

***山東人民出版社**(山東省済南市)

山東省教学研究室編著

『義務教育課程標準実験教科書 思想品德 6年級 上冊』2004年(第1版)2011年。

『義務教育課程標準実験教科書 思想品德 6年級 下冊』2005年(第1版)2010年。

『義務教育課程標準実験教科書 思想品德 7年級 上冊』2004年(第2版)2012年。

『義務教育課程標準実験教科書 思想品德 7年級 下冊』2004年(第2版)2012年。

『義務教育課程標準実験教科書 思想品德 8年級 上冊』2004年(第1版)2012年。

『義務教育課程標準実験教科書 思想品德 8年級 下冊』2005年(第1版)2012年。

『義務教育課程標準実験教科書 思想品德 9年級 全一冊』2005年(第1版)2012年。

***上海教育出版社**(上海市)

上海市中小學(幼稚園)課程改革委員會編著

『九年義務教育課本 思想品德 6年級第1学期(試用本)』2014年(第1版)2014年。

『九年義務教育課本 思想品德 6年級第2学期(試用本)』2014年(第1版)2014年。

『九年義務教育課本 思想品德 7年級第1学期(試用本)』2014年(第1版)2014年。

『九年義務教育課本 思想品德 7年級第2学期(試用本)』2014年(第1版)2014年。

『九年義務教育課本 思想品德 8年級第1学期(試用本)』2007年(第2版)2014年。

『九年義務教育課本 思想品德 8年級第2学期(試用本)』2008年(第2版)2013年。

『九年義務教育課本 思想品德 9年級第1学期(試用本)』2015年(第1版)2015年。

『九年義務教育課本 思想品德 9年級第2学期(試用本)』2015年(第1版)2015年。

***人民教育出版社**(北京市)

小学思想品德と中学思想政治教材編集委員会編著

『九年義務教育六年制小学教科書 思想品德 第一冊』1999年(第1版)2001年。

『九年義務教育六年制小学教科書 思想品德 第二冊』1999年(第1版)2001年。

『九年義務教育六年制小学教科書 思想品德 第三冊』1999年(第1版)2001年。

『九年義務教育六年制小学教科書 思想品德 第四冊』1999年(第1版)2000年。

『九年義務教育六年制小学教科書 思想品德 第五冊』1999年(第1版)2000年。

『九年義務教育六年制小学教科書 思想品德 第六冊』1999年(第1版)2000年。

『九年義務教育六年制小学教科書 思想品德 第七冊』1999年(第1版)1999年。

『九年義務教育六年制小学教科書 思想品德 第八冊』1999年(第1版)2000年。

『九年義務教育六年制小学教科書 思想品德 第九冊』1999年(第1版)2000年。

『九年義務教育六年制小学教科書 思想品德 第十冊』1999年(第1版)2001年。

『九年義務教育六年制小学教科書 思想品德 第十一冊』1999年(第1版)1999年。

『九年義務教育六年制小学教科書 思想品德 第十二冊』1999年(第1版)1999年。